

平成12年度

# 神戸市立博物館年報

No.17



# ☆目 次☆

沿 革 .....	2
事業概要（平成12年度） .....	5
1 特別展示	
(1) 第71回特別展 海の考古学 .....	6
(2) 第72回特別展 びいどろ・ぎやまん・ガラス .....	13
(3) 第73回特別展 平戸・松浦家名宝展 .....	25
(4) 第74回特別展 大古墳展 .....	30
2 企画展示	
(1) 南蛮紅毛美術企画展示 .....	37
(2) 古地図企画展示 .....	47
(3) ギャラリー .....	51
(4) デュオこうべーアートインフォメーションー .....	55
3 学習室・図書室 .....	56
4 普及事業 .....	57
5 平成12年度事業一覧 .....	58
6 刊 行 物 .....	59
収蔵資料	
1 新収蔵資料	
(1) 受贈資料 .....	62
(2) 購入資料 .....	62
2 館蔵品のうち指定文化財一覧 .....	64
3 資料補修 .....	64
4 資料の特別利用	
(1) 館外貸出 .....	65
(2) 特別利用 .....	68
入館者数	
1 経 年 .....	69
2 年齢・階層別 .....	70
3 特別展 .....	71
日 誌 .....	72
予 算 .....	73
博物館協議会 .....	73
組織・職員 .....	74

## 沿 革

- 昭和48. 9 神戸市立図書館・博物館等調査委員会設置（52.3までに博物館部会を19回開催、視察調査を6回実施）
50. 3 同委員会博物館部会が「神戸における博物館の基本構想」を答申
52. 3 東京銀行と同行神戸支店建物の博物館転用計画について合意
53. 4 教育委員会事務局社会教育部内に新中央図書館・博物館創設準備室を設置
- 7 博物館資料収集協力員を委嘱（各区1名、計9名）
- 8 神戸市立博物館創設準備会議を設置（以降7回開催）
54. 6 博物館展示計画検討会を設置（以降15回開催）
55. 3 東京銀行より同行神戸支店建物を受贈及び土地を買収
- 4 博物館創設準備室と改称。博物館創設担当参与に渡辺昭三就任
- 12 改造及び新築工事、着工
57. 3 竣工
- 4 神戸市立博物館条例公布。博物館組織発足。館長に井尻昌一前助役就任
- 7 神戸市立博物館規則公布
- 11 神戸市立博物館条例及び規則施行。開館記念式典、一般公開。南蛮美術館、考古館閉館
- 11～12 開館記念特別展「海のシルクロード」開催
58. 1～2 受贈記念特別展「南波松太郎収集 古地図の世界」開催
- 2 神戸市立博物館規則一部改正（博物館協議会）。神戸市立博物館協議会を設置
- 2 副館長に檀上重光就任
- 4～5 第3回特別展「神戸の文化財」開催
- 8～9 第4回特別展「びいどろ・ぎやまん」開催
- 10～11 第5回特別展「古地図にみる世界と日本」開催
59. 4～5 第6回特別展「眼鏡絵と東海道五拾三次展」開催
- 8～9 第7回特別展「中国蘇州年画展」開催
- 10～11 第8回特別展「更紗の世界展」開催
- 12 第9回特別展「ヨーロッパのジュエリー展」開催
60. 6～8 第10回特別展「中国五千年の秘宝展」開催
- 8～9 第11回特別展「秘蔵の至宝を一堂に展」開催
- 11～12 第12回特別展「高句麗文化展」開催
61. 1～2 第13回特別展「桃山時代の祭礼と遊楽」開催
- 4～5 第14回特別展「ワーダベ写真展」開催
- 6～7 第15回特別展「西洋の風景展」開催
- 7～8 第16回特別展「狩人の夢」開催
62. 1～2 第17回特別展「甦る幕末写真展」開催
- 4～5 第18回特別展「日本絵画名作展」開催
- 6～7 第19回特別展「神戸はじめ物語展」開催
- 8～9 第20回特別展「ジョルジュ・ピゴー展」開催
- 10～11 第21回特別展「明治のガラス展」開催
63. 4～5 第22回特別展「ジャワ更紗展」「江戸城障壁画の下絵」開催

- 6～7 第23回特別展「中世を旅する聖たち展」開催
- 10～12 第24回特別展「アイルランド・チェスター・ビーティー・コレクション日本絵画名  
作展」開催
- 平成1. 2～3 第25回特別展「神戸ゆかりの巨匠たち展」開催
- 4～5 第26回特別展「桂林百景展」開催
- 7～8 第27回特別展「大三彩展」開催
- 9～11 第28回特別展「松方コレクション展」開催
- 11 井尻昌一館長退任
- 12～2 受贈記念特別展「秋岡古地図コレクション名品展」開催
- 平成2. 2～3 受贈記念特別展「小磯良平展」開催
- 4 名誉館長に宮崎辰雄前市長就任。船田史郎事務局長、副館長を兼務
- 7～9 第31回特別展「THE びいどろ展—江戸時代のガラス・粋と美—」開催
- 10～11 第32回特別展「手塚治虫展」開催
- 11～12 第33回特別展「没後100年記念 チャールズ・ワーグマン展」開催
3. 2～3 第34回特別展「隠元禅師生誕400年記念 隠元禅師と黄檗宗の絵画展」開催
- 4～5 第35回特別展「ルイス・C・ティファニー展」開催
- 7～9 第36回特別展「ポスター芸術100年展」開催
- 9～10 第37回特別展「神戸市立博物館名品100選」開催
- 10～11 第38回特別展「ジャンニ・ベルサーチ衣裳文化展」開催
4. 2～3 第39回特別展「南蛮見聞録」開催
- 3 檀上重光副館長・船田史郎副館長兼事務局長退任
- 4 副館長兼事務局長に林伸次郎就任
- 4～5 第40回特別展「中国明清名画展」開催
- 5 副館長に崎山昌廣就任
- 6～7 第41回特別展「正倉院の故郷—中国の金・銀・ガラス展」開催
- 10～12 第42回特別展「森英恵とパリオートクチュール」開催
5. 1～3 第43回特別展「銅鐸の世界」開催
2. 20 開館10周年記念講演会（講師 陳舜臣氏）開催
- 3～5 第44回特別展「ルーヴル美術館200年展」開催
- 5～6 第45回特別展「花と鳥たちのパラダイス展」開催
- アーバンリゾートフェア'93「トーマス・マックナイト展」開催
- 7～9 第46回特別展「栄光のオランダ絵画と日本展」開催
- アーバンリゾートフェア'93「アーキテクチュア・フェア KOBE タイムトンネル神  
戸展」開催
- 9～10 アーバンリゾートフェア'93「印象 神戸絵画展」開催
- 11～12 第47回特別展「太山寺の名宝展」開催
6. 2～4 第48回特別展「アイルランド国立美術館展」開催
- 6～7 第49回特別展「装飾古墳の世界」開催
- 7～9 第50回特別展「鎖国・長崎貿易の華」開催
- 10～11 第51回特別展「横山大観・菱田春草展」開催
7. 1. 17 阪神・淡路大震災により休館（再開までの間、館外企画展を6回開催）
- 4 林伸次郎副館長兼事務局長退任、三輪忠副館長兼事務局長就任

- 8. 1. 17 再開
- 4～6 第52回特別展「オルセー美術館展」開催
- 7～9 第53回特別展「マリー・ローランサン展」開催
- 9～10 第54回特別展「柳原義達展」開催
- 11～12 第55回特別展「司馬江漢 百科事展」開催
- 9. 2～4 第56回特別展「砂漠の美術館 永遠なる敦煌」開催
- 4 三輪忠副館長兼事務局長退任、藤村邦夫副館長兼事務局長就任
- 5～7 第57回特別展「デイル・チフリー展」開催
- 8～9 第58回特別展「日中歴史海道2000年」開催
- 11 第59回特別展「発掘された日本列島'97」開催
- 10. 1～3 第60回特別展「日蘭交流のかけ橋」開催
- 3～5 第61回特別展「大英科学博物館展」開催
- 5～6 第62回特別展「MOA 美術館名品展」開催
- 7～8 第63回特別展「夏休み子ども博物館 コメはじめ物語」開催
- 9 博物館建物（旧横浜正金銀行神戸支店）が登録文化財になる
- 9～11 第64回特別展「有馬の名宝」開催
- 11. 1～3 第65回特別展「唐の女帝・則天武后とその時代展」開催
- 6～8 第66回特別展「オルセー美術館展1999」開催
- 9～10 第67回特別展 居留地返還100周年記念「神戸・横浜“開化物語”」展開催
- 10～12 第68回特別展「大英博物館 古代エジプト展」開催 開館以来の来館者数が400万人突破
- 12. 1～2 第69回特別展「源平物語絵セレクション」展開催
- 2 宮崎辰雄名誉館長逝去（2月22日）
- 3～4 第70回特別展「絵図と風景」展開催
- 11年度 年間来館者数過去最高の925,945人を記録する
- 4 藤村邦夫副館長兼事務局長退任、神内良彦副館長兼事務局長就任
- 4～5 第71回特別展 文化財保護法50年記念「海の考古学」開催
- 7～9 第72回特別展「びいどろ・ぎやまん・ガラス」開催
- 8 笹山幸俊神戸市長が名誉館長に就任
- 10～11 第73回特別展「平戸・松浦家名宝展」開催
- 13. 2～3 第74回特別展「大古墳展」開催

## 事業概要

平成12年度の事業報告として、神戸市立博物館年報第17号を発行いたします。神戸市立博物館は、「国際文化交流－東西文化の接触と変容－」を基本テーマとして、以前からあった神戸市立南蛮美術館と考古館を統合し、人文系の博物館として1982(昭和57)年11月に開館しました。博物館の建物は、建築家・桜井小太郎が旧外国人居留地に設計し、1935(昭和10)年に建てられた旧横浜正金銀行神戸支店を増改築したものです(平成10年度登録文化財)。

開館以来、当館は常設展をはじめ、年4～5回の特別展、企画展を開催し、講演会など各種の催しを企画してまいりました。1995(平成7)年1月17日の阪神・淡路大震災では、建物などに被害を受けて一年間の休館を余儀なくされましたが、平成8年度以降は従前通りの活動をおこなってきました。

平成12年度は、特別展として文化財保護法50年記念「海の考古学」・「びいどろ・ぎやまん・ガラス－江戸時代から明治・大正－」・「平戸・松浦家名宝展－はるかなる1000年の歴史－」・「大古墳展－ヤマト王権と古墳の鏡－」の四展覧会を開催いたしました。また、南蛮紅毛美術企画展として「渡辺鶴洲と長崎の御用絵師」・「南蛮紅毛美術名品展」・「西洋への憧憬」を、古地図企画展として「館蔵古地図名品展」・「描かれた中国」、ギャラリーでは「昇外義素描展」・「山下摩起展」・「別車博資水彩画展」・「神戸の書展」を開催しました。

普及事業としては博物館たんけん隊、こうべ歴史たんけん隊、ミュージアム講座、ジュニア・ミュージアム講座、博物館講座「古地図を読むⅡ」を昨年度に引き続き開催しました。なお、文部省の『親しむ博物館づくり事業』の委嘱を受けたため、夏休み土器づくり教室は、内容も拡大して「縄文再発見」と名前を変えて開催いたしました。そのほか、共催事業も開催いたしております。

刊行物としては、特別展図録・館蔵品目録・研究紀要・年報・博物館だよりを発行しております。

平成12年度の開館日数は287日、うち常設展は124日、特別展は163日。入館者総数88,585人でした。入館者の内訳は、常設展14,941人、特別展70,090人、普及事業参加者3,554人です。また、学校団体の来館は130校でした。館外貸出は35件473点、特別利用は987件3,157点でした。

なお、8月1日付で笹山幸俊〔前〕神戸市長が名誉館長として就任いたしております。

また、従来重要美術品に指定されていた「聖フランシスコ・ザウリエル像」が6月27日付で重要文化財に指定されました。よって、指定文化財は、国宝1件21点、重要文化財(付属指定を含む)7件76点、重要美術品2件12点となりました。

この年報により、平成12年度の当館の事業の概要を知っていただけると幸いに存じます。

## 1. 特別展示

### (1) 第71回特別展

## 海の考古学

#### ・内 容／

海は、古代人にとって生活の基盤の1つであっただけではなく、縄文時代以来広範な交流を行う際の交通路としても機能していたし、文化を結びつける海の道としての役割も果たしてきたともいえる。弥生時代開始期の稲作文化の朝鮮半島からの伝播など、その後の日本の文化に多大な影響を残すことになった国際的な文化交流も、海を介してのものであった。

そして、古代から人々は畏敬と畏怖の念を持って海に接してきたことが、遺跡の立地や出土した遺物などから窺うことができる。古墳時代になると、海の道を掌握することは政治的・軍事的な重要性を持つまでになり、五色塚古墳のように明石海峡の海上交通を支配した豪族の墓ではないかといわれるような、シンボリックな古墳も築かれるようになる。

このような海と密接な関わりを持ってきた遺跡と、その出土資料にスポットをあて、古代人の海への想いを再認識する展覧会として開催された。

また、会期初日には初めての試みとして、小中学生を対象として特別展会場において、「子どもスケッチ大会」を開催した。作品は、子どもたちの作ったキャプションとともに会期中会場内で展示し、好評を得ている。

・会 期／平成12年4月22日（土）～5月28日（日）

・会 場／特別展示室2・南蛮美術館室

・主 催／神戸市立博物館・文化庁

・協 賛／三菱電機株式会社兵庫支店

・入 館 料／（当日・一般）600円

・開催日数／32日

・入館者数／7,928人

・出品点数／約450点

・講演会／会場 当館地階講堂 午後2時～

5月6日（土） 間壁葎子氏（神戸女子大学教授）

『塩づくりや海のまつり』

5月20日（土） 櫃本誠一氏（兵庫県立歴史博物館館長補佐）

『前方後円（方）墳の発生から消滅まで—六甲山南麓を中心にして』

・同時開催／ギャラリー 神戸ゆかりの芸術家たち展Ⅰ 4月22日（土）～7月18日（火）



B2ポスター



図 録

## 特別展「海の考古学」

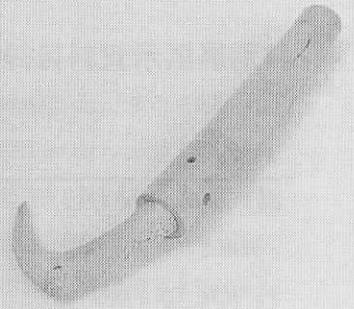
日本は周囲を海に囲まれた島国であるため、人々は古代いらい海と深くかかわりながら生活してきました。神戸市内でも縄文時代になると、海とのかかわりを直接的に示す数多くの資料が残されています。

海は、食料を得るための生活の場であると同時に、様々な情報や文物が行き交う文化の道としての機能も備わっていました。弥生時代から古墳時代には、船も発達し大陸から最先端の文化や技術がもたらされるようになります。その結果、この海の道の重要性はますます増加していくことになります。

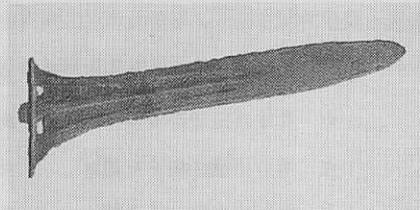
本展では、このようなくらしや交流の場としての海にスポットをあて、海での暮らしの道具や海を通じての交流でもたらされた考古資料から、古代人の海への想いを紹介していきます。



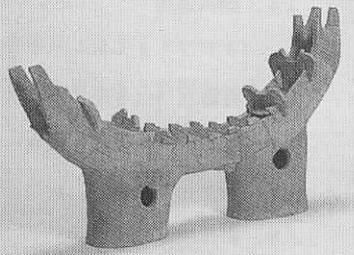
海辺の縄文遺跡の土器（東浦町佃遺跡）  
（兵庫県教育委員会埋蔵文化財調査事務所蔵）



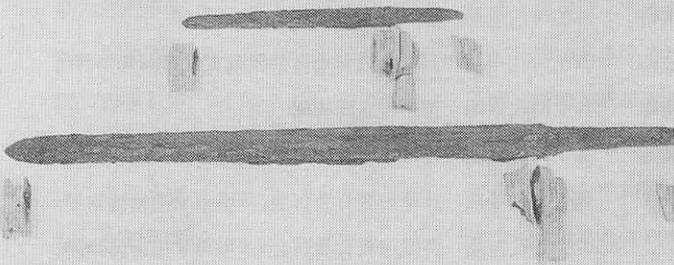
古墳時代の鹿角製の釣針（田辺市磯間岩陰遺跡・重要文化財）（文化庁蔵）



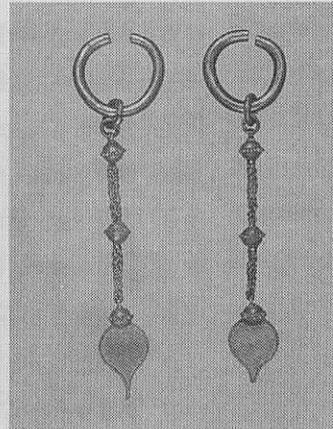
大阪湾沿岸に分布する銅戈（神戸市保久良神社遺跡・重要美術品）（保久良神社蔵）



古墳時代の船の埴輪（大阪市長原高廻り1号古墳・重要文化財）（文化庁蔵）



海人の副葬品・鹿角装鉄剣（田辺市磯間岩陰遺跡・重要文化財）



大陸からもたらされた装飾品  
（姫路市宮山古墳・重要文化財）  
（姫路市教育委員会蔵）



浜辺の埴輪棺（神戸市舞子浜遺跡）  
（神戸市教育委員会蔵）

### ■入館料

	当日	団体
一般	600	450
高・大生	400	300
小・中生	250	150

※ 団体は30名以上です。

※ 神戸市のすこやか福祉手帳（老人福祉手帳）をお持ちの方は、シルバー料金（半額）でご利用になれます（手帳が必要です）。

### 記念講演会

●5月6日(土) 間壁霞子氏  
（神戸女子大学教授）

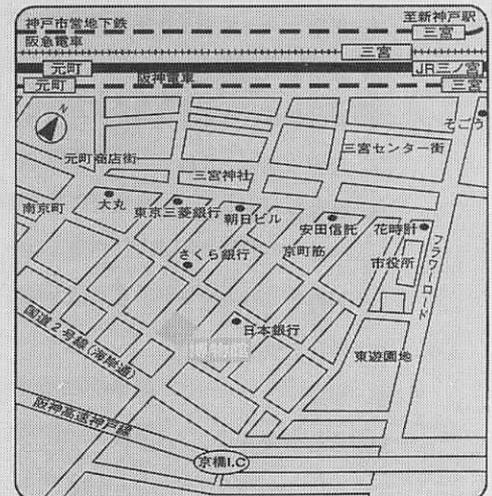
『塩つくりや海のまつり』

●5月20日(土) 櫃本誠一氏

（兵庫県立歴史博物館館長補佐）

『前方後円（方）墳の発生から消滅まで  
—六甲山南麓を中心にして』

いずれも午後2時から 於：当館地下講堂（開場午後1時30分）



表紙写真：神戸市五色塚古墳・大阪市長原高廻り2号墳出土船形埴輪（重要文化財・文化庁蔵）

## 特別展展示資料目録

資料名	員数	出土地	時代	所蔵機関（保管機関）
<b>第1章 海とくらし</b>				
・発掘された古代の海				
1. 足跡（はぎ取り）	1点	神戸市垂水区垂水日向遺跡	縄文時代早期	神戸市教育委員会
2. さぎ波跡（はぎ取り）	1点	神戸市垂水区垂水日向遺跡	縄文時代前期	神戸市教育委員会
・海辺のムラと海をのぞむムラ				
3. 縄文土器（深鉢・浅鉢・注口土器）	10点	兵庫県東浦町佃遺跡	縄文時代後期	兵庫県教育委員会埋蔵文化財調査事務所
4. 動物遺体 （クジラ・イルカ・イノシシ・シカ）	10点	兵庫県東浦町佃遺跡	縄文時代後期	兵庫県教育委員会埋蔵文化財調査事務所
5. 貯蔵穴（はぎ取り）	1点	兵庫県東浦町佃遺跡	縄文時代後期	兵庫県教育委員会埋蔵文化財調査事務所
6. 貯蔵穴断面（はぎ取り）	1点	兵庫県東浦町佃遺跡	縄文時代後期	兵庫県教育委員会埋蔵文化財調査事務所
7. 桜ヶ丘5号銅鐸（複製品）	1点	神戸市灘区桜ヶ丘遺跡	弥生時代中期	神戸市立博物館
8. 銅鐸鋳型（複製品）	1点	福岡市赤穂ノ浦遺跡	弥生時代中期	神戸市立博物館
9. 軽石製浮子	2点	神戸市須磨区戎町遺跡	弥生時代前期	神戸市教育委員会
10. 木製浮子	1点	神戸市東灘区本山遺跡	弥生時代中期	神戸市教育委員会
11. 木製浮子	1点	東大阪市西岩田遺跡	弥生時代後期	（財）大阪府文化財調査研究センター
12. 木製浮子（複製品）	4点	和歌山県串本町笠島遺跡	弥生時代後期	大阪市立博物館
13. 木製ヤス（複製品）	4点	和歌山県串本町笠島遺跡	弥生時代後期	大阪市立博物館
14. 土錘	4点	神戸市東灘区北青木遺跡	弥生時代後期	神戸市教育委員会
15. 蛸壺	10点	神戸市西区玉津田中遺跡	弥生時代中期	兵庫県教育委員会埋蔵文化財調査事務所
16. 石錘	2点	神戸市灘区伯母野山遺跡	弥生時代中期	神戸市立博物館
17. 蛸壺	6点	神戸市灘区伯母野山遺跡	弥生時代中期	神戸市立博物館
18. 鉄製釣針	1点	芦屋市会下山遺跡	弥生時代後期	芦屋市教育委員会（芦屋市立美術博物館）
19. 石錘	2点	芦屋市会下山遺跡	弥生時代後期	芦屋市教育委員会（芦屋市立美術博物館）
20. 鉄鏃	3点	兵庫県淡路町塩壺西遺跡	弥生時代後期	兵庫県教育委員会埋蔵文化財調査事務所
21. 鹿角製釣針（重要文化財）	8点	田辺市磯間岩陰遺跡	古墳時代中期	文化庁（田辺市教育委員会）
22. 鹿角ヤス（重要文化財）	1点	田辺市磯間岩陰遺跡	古墳時代中期	文化庁（田辺市教育委員会）
23. 鹿角未製品（重要文化財）	8点	田辺市磯間岩陰遺跡	古墳時代中期	文化庁（田辺市教育委員会）
24. 鉄製ヤス（重要文化財）	1点	田辺市磯間岩陰遺跡	古墳時代中期	文化庁（田辺市教育委員会）
25. 鉄製銚（重要文化財）	1点	田辺市磯間岩陰遺跡	古墳時代中期	文化庁（田辺市教育委員会）
26. 鉄製釣針（重要文化財）	4点	田辺市磯間岩陰遺跡	古墳時代中期	文化庁（田辺市教育委員会）
27. 貝錐（重要文化財）	1点	田辺市磯間岩陰遺跡	古墳時代中期	文化庁（田辺市教育委員会）
28. 魚骨錐（重要文化財）	1点	田辺市磯間岩陰遺跡	古墳時代中期	文化庁（田辺市教育委員会）
29. 土錘	2点	兵庫県北淡町貴船神社遺跡	古墳時代後期	兵庫県教育委員会埋蔵文化財調査事務所
30. 石錘	1点	兵庫県北淡町貴船神社遺跡	古墳時代後期	兵庫県教育委員会埋蔵文化財調査事務所
31. 棒状石製品	2点	兵庫県北淡町貴船神社遺跡	古墳時代後期	兵庫県教育委員会埋蔵文化財調査事務所
32. 蛸壺	4点	兵庫県北淡町貴船神社遺跡	古墳時代後期	兵庫県教育委員会埋蔵文化財調査事務所
33. 鉄製ヤス	1点	神戸市垂水区高塚山古墳群	古墳時代後期	神戸市教育委員会

・貝塚のあるムラ

34. マガキ	一括	大阪市中央区森の宮遺跡	縄文時代後期	大阪市教育委員会((財)大阪市文化財協会)
35. セタシジミ	一括	大阪市中央区森の宮遺跡	縄文時代晩期	大阪市教育委員会((財)大阪市文化財協会)
36. 釣針・ヤス	8点	大阪市中央区森の宮遺跡	縄文時代後期	大阪市教育委員会((財)大阪市文化財協会)
37. 石錘	2点	大阪市中央区森の宮遺跡	縄文時代後期	大阪市教育委員会((財)大阪市文化財協会)
38. 装飾品	5点	大阪市中央区森の宮遺跡	縄文時代後期	大阪市教育委員会((財)大阪市文化財協会)
39. 碇石	1点	大阪市中央区森の宮遺跡	縄文時代晩期	大阪市教育委員会((財)大阪市文化財協会)
40. 縄文土器(深鉢・浅鉢)	2点	大阪市中央区森の宮遺跡	縄文時代晩期	大阪市教育委員会((財)大阪市文化財協会)
41. ハイガイ	一括	岡山県邑久町門田遺跡	弥生時代前期	邑久町教育委員会

・塩づくりのムラ

42. 製塩土器	3点	岡山市百間川原尾島遺跡	弥生時代後期	岡山県古代吉備文化財センター
43. 製塩土器	5点	兵庫県北淡町貴船神社遺跡	古墳時代後期	兵庫県教育委員会埋蔵文化財調査事務所

第2章 文化の交流と船の発達

・瀬戸内の文化交流

①土器

44. 紀伊型甕	1点	和歌山市太田黒田遺跡	弥生時代中期	同志社大学歴史資料館
45. 紀伊型甕	1点	神戸市西区新方遺跡	弥生時代中期	神戸市教育委員会
46. 紀伊型甕	1点	神戸市兵庫区楠・荒田町遺跡	弥生時代中期	神戸市教育委員会
47. 河内産壺	1点	大阪市平野区長原遺跡	弥生時代中期	大阪市教育委員会((財)大阪市文化財協会)
48. 河内産壺	1点	洲本市下内膳遺跡	弥生時代中期	兵庫県教育委員会埋蔵文化財調査事務所
49. 吉備系甕	3点	岡山市津寺遺跡	古墳時代前期	岡山県古代吉備文化財センター
50. 吉備系甕	1点	姫路市長越遺跡	古墳時代前期	兵庫県教育委員会埋蔵文化財調査事務所
51. 吉備系甕	1点	豊中市島田遺跡	古墳時代前期	豊中市教育委員会
52. 吉備系甕	1点	東大阪市西岩田遺跡	古墳時代前期	(財)大阪府文化財調査研究センター
53. 吉備系甕	1点	八尾市亀井北遺跡	古墳時代前期	(財)大阪府文化財調査研究センター

②土製品

54. 分銅形土製品(複製品)	1点	山口県田布施町明地遺跡	弥生時代中期	大阪府立弥生文化博物館
55. 分銅形土製品	1点	倉敷市上東遺跡	弥生時代後期	岡山県古代吉備文化財センター
56. 分銅形土製品	1点	倉敷市足守川矢部南向遺跡	弥生時代後期	岡山県古代吉備文化財センター
57. 分銅形土製品	1点	岡山市政所遺跡	弥生時代中期	岡山県古代吉備文化財センター
58. 分銅形土製品	1点	兵庫県太子町小丸山遺跡	弥生時代中期	個人蔵
59. 分銅形土製品	1点	神戸市西区玉津田中遺跡	弥生時代中期	兵庫県教育委員会埋蔵文化財調査事務所
60. 分銅形土製品	1点	神戸市西区新方遺跡	弥生時代中期	神戸市教育委員会
61. 分銅形土製品	1点	豊中市新免遺跡	弥生時代後期	豊中市教育委員会
62. 分銅形土製品	1点	八尾市亀井遺跡	弥生時代中期	(財)大阪府文化財調査研究センター
63. 分銅形土製品	1点	八尾市亀井遺跡	弥生時代後期	(財)大阪府文化財調査研究センター

③青銅器

64. 細形銅戈(複製品)	1点	福岡市早良区吉武高木遺跡	弥生時代中期	神戸市立博物館
65. 中細形銅戈	1点	出土地不明	弥生時代中期	神戸市立博物館

66. 広形銅戈	1点	伝福岡県浮羽郡	弥生時代後期	神戸市立博物館
67. 大阪湾型銅戈（複製品）	4点	神戸市東灘区桜ヶ丘遺跡	弥生時代中期	神戸市立博物館
68. 大阪湾型銅戈（重要美術品）	1点	神戸市東灘区保久良神社遺跡	弥生時代中期	保久良神社（京都国立博物館）
69. 大阪湾型銅戈	1点	東大阪市瓜生堂遺跡	弥生時代中期	（財）大阪府文化財調査研究センター
70. 大阪湾型銅戈（複製品）	3点	兵庫県三原町行當地遺跡	弥生時代中期	三原町教育委員会
71. 大阪湾型銅戈鋳型（重要文化財）	1点	茨木市東奈良遺跡	弥生時代中期	文化庁（茨木市立文化財資料館）
・ 割り船から準構造船へ				
72. 丸木船・櫂（複製品）	2点	千葉県八日市場市米倉遺跡	縄文時代晩期	岡山県立博物館 （原品：早稲田大学考古学研究室）
73. 船線刻土器	1点	倉敷市城遺跡	弥生時代中期	岡山県古代吉備文化財センター
74. 船線刻土器（複製品）	1点	岡山市加茂遺跡	弥生時代後期	岡山県古代吉備文化財センター
75. 船形埴輪（重要文化財）	1点	大阪市長原高廻り1号墳	古墳時代中期	文化庁（大阪市立博物館）
76. 船形埴輪（重要文化財）	1点	大阪市長原高廻り2号墳	古墳時代中期	文化庁（大阪市立博物館）
77. 準構造船（複製品）	1点	八尾市久宝寺遺跡	古墳時代前期	（財）大阪府文化財調査研究センター
78. 準構造船（復元品）	1点			（財）大阪府文化財調査研究センター
・ 大陸文化へのあこがれ				
79. 松菊里型無文土器	1点	尼崎市東武庫遺跡	弥生時代前期	兵庫県教育委員会埋蔵文化財調査事務所
80. 貨銭（重要文化財）	1点	大阪市平野区瓜破遺跡	弥生時代中期	大阪市立博物館
81. 蓋台付鉢（重要文化財）	2点	大阪市平野区瓜破遺跡	弥生時代中期	大阪市立博物館
82. 小型鉢（重要文化財）	1点	大阪市平野区瓜破遺跡	弥生時代中期	大阪市立博物館
83. 漢式三翼鋏	1点	芦屋市会下山遺跡	弥生時代後期	芦屋市教育委員会（芦屋市立美術博物館）
84. 金垂飾付耳飾（重要文化財）	4点	姫路市宮山古墳	古墳時代中期	姫路市教育委員会（兵庫県立歴史博物館）
85. 金銅製帯金具（重要文化財）	6点	姫路市宮山古墳	古墳時代中期	姫路市教育委員会（兵庫県立歴史博物館）
86. 銀象嵌大刀柄（重要文化財）	1点	姫路市宮山古墳	古墳時代中期	姫路市教育委員会（兵庫県立歴史博物館）
銀象嵌大刀刀身（複製品）	1点	姫路市宮山古墳	古墳時代前期	兵庫県立歴史博物館
87. 鉄鏝（重要文化財）	1点	姫路市宮山古墳	古墳時代中期	姫路市教育委員会（兵庫県立歴史博物館）
88. 画文帯神獸鏡（重要文化財）	1点	姫路市宮山古墳	古墳時代中期	姫路市教育委員会（兵庫県立歴史博物館）
89. 須恵器（重要文化財）	8点	姫路市宮山古墳	古墳時代中期	姫路市教育委員会（兵庫県立歴史博物館）
90. 馬冑（複製品）	1点	和歌山市大谷古墳	古墳時代中期	和歌山県立紀伊風土記の丘
91. 金銅龍文透彫雲珠（重要文化財）	1点	和歌山市大谷古墳	古墳時代中期	文化庁（和歌山市立博物館）
92. 金銅鈴杏葉（複製品）	1点	和歌山市大谷古墳	古墳時代中期	和歌山市立博物館
93. 金銅鈴鏡板付轡（複製品）	1組	和歌山市大谷古墳	古墳時代中期	和歌山市立博物館

### 第3章 海をのぞむ古墳

#### ・ 大阪湾をのぞむ古墳

94. 土師器壺	1点	神戸市東灘区処女塚古墳	古墳時代前期	神戸市教育委員会
95. 土師器鼓形器台・小型壺	7点	神戸市灘区西求女塚古墳	古墳時代前期	神戸市教育委員会
96. 土師器壺	3点	神戸市灘区西求女塚古墳	古墳時代前期	神戸市教育委員会
97. 三角縁神獸鏡（複製品）	1点	神戸市東灘区東求女塚古墳	古墳時代前期	神戸市立博物館
98. 車輪石（複製品）	1点	神戸市東灘区東求女塚古墳	古墳時代前期	神戸市立博物館

99. 石釧 (複製品)	1点	神戸市東灘区へボソ塚古墳	古墳時代前期	神戸市立博物館
100. 銅鏃	1点	神戸市兵庫区夢野丸山古墳	古墳時代前期	兵庫県立歴史博物館
101. 素文鏡	1点	神戸市垂水区大歳山古墳	古墳時代前期	神戸市立博物館
102. 硬玉製勾玉	1点	神戸市垂水区大歳山古墳	古墳時代前期	神戸市立博物館
103. ガラス小玉	42点	神戸市垂水区大歳山古墳	古墳時代前期	神戸市立博物館
104. 石釧	1点	神戸市垂水区大歳山古墳	古墳時代前期	神戸市立博物館
105. 三角縁神獸鏡	1点	尼崎市水堂古墳	古墳時代前期	尼崎市教育委員会
106. 鉄刀	2点	尼崎市水堂古墳	古墳時代前期	尼崎市教育委員会
107. 鉄劍	3点	尼崎市水堂古墳	古墳時代前期	尼崎市教育委員会
108. 鉄斧	2点	尼崎市水堂古墳	古墳時代前期	尼崎市教育委員会
110. 鉄製ヤリガンナ	1点	尼崎市水堂古墳	古墳時代前期	尼崎市教育委員会
111. 胡録	1点	尼崎市水堂古墳	古墳時代前期	尼崎市教育委員会
112. 朱	一括	尼崎市水堂古墳	古墳時代前期	尼崎市教育委員会
113. 鞍金具 (複製品)	1組	尼崎市園田大塚山古墳	古墳時代後期	尼崎市教育委員会歴史博物館準備室
114. 轡 (複製品)	1組	尼崎市園田大塚山古墳	古墳時代後期	尼崎市教育委員会歴史博物館準備室
115. 杏葉 (複製品)	5点	尼崎市園田大塚山古墳	古墳時代後期	尼崎市教育委員会歴史博物館準備室
116. 鈎金具 (複製品)	4点	尼崎市園田大塚山古墳	古墳時代後期	尼崎市教育委員会歴史博物館準備室
117. 雲珠 (複製品)	1点	尼崎市園田大塚山古墳	古墳時代後期	尼崎市教育委員会歴史博物館準備室
118. 辻金具 (複製品)	1点	尼崎市園田大塚山古墳	古墳時代後期	尼崎市教育委員会歴史博物館準備室
119. 鉸金具 (複製品)	2点	尼崎市園田大塚山古墳	古墳時代後期	尼崎市教育委員会歴史博物館準備室
120. 鐙 (複製品)	1組	尼崎市園田大塚山古墳	古墳時代後期	尼崎市教育委員会歴史博物館準備室
121. 鐙 (復元品)	1点	尼崎市園田大塚山古墳	古墳時代後期	尼崎市教育委員会歴史博物館準備室
122. 鉄製鋸片 (複製品)	3点	尼崎市園田大塚山古墳	古墳時代後期	尼崎市教育委員会歴史博物館準備室
123. 鉄製鋸 (復元品)	1点	尼崎市園田大塚山古墳	古墳時代後期	尼崎市教育委員会歴史博物館準備室
124. 鉄鋤 (複製品)	1点	尼崎市園田大塚山古墳	古墳時代後期	尼崎市教育委員会歴史博物館準備室
125. 鉄斧 (複製品)	1点	尼崎市園田大塚山古墳	古墳時代後期	尼崎市教育委員会歴史博物館準備室
126. 鉄鎌 (複製品)	1点	尼崎市園田大塚山古墳	古墳時代後期	尼崎市教育委員会歴史博物館準備室
127. 鉄鏃 (複製品)	4点	尼崎市園田大塚山古墳	古墳時代後期	尼崎市教育委員会歴史博物館準備室
128. 鉄鏃束 (複製品)	2点	尼崎市園田大塚山古墳	古墳時代後期	尼崎市教育委員会歴史博物館準備室
129. 鉄鉾 (複製品)	1点	尼崎市園田大塚山古墳	古墳時代後期	尼崎市教育委員会歴史博物館準備室
130. 須恵器 (複製品)	10点	尼崎市園田大塚山古墳	古墳時代後期	尼崎市教育委員会歴史博物館準備室
131. 管玉・トンボ玉 (複製品)	2点	尼崎市園田大塚山古墳	古墳時代後期	尼崎市教育委員会歴史博物館準備室
<b>・海の支配者</b>				
132. 鱈付円筒埴輪 (複製品)	1点	神戸市垂水区五色塚古墳	古墳時代前期末	神戸市立博物館
133. 鱈付朝顔形埴輪 (複製品)	1点	神戸市垂水区五色塚古墳	古墳時代前期末	神戸市立博物館
134. 鱈付円筒埴輪	7点	神戸市長田区念仏山古墳	古墳時代前期末	兵庫県立歴史博物館
135. 土師器壺	1点	神戸市長田区念仏山古墳	古墳時代前期末	兵庫県立歴史博物館
136. 鱈付円筒埴輪	2点	神戸市垂水区五色塚古墳	古墳時代前期末	神戸市教育委員会
137. 子持勾玉 (複製品)	2点	神戸市垂水区五色塚古墳	古墳時代前期末	神戸市教育委員会
138. 金銅装花形鏡板付轡馬具	1組	神戸市狩口きつね塚古墳	古墳時代後期	神戸市教育委員会

139. 金銅装花形杵葉	2点	神戸市狩口台きつね塚古墳	古墳時代後期	神戸市教育委員会
140. 金銅装雲珠	3点	神戸市狩口台きつね塚古墳	古墳時代後期	神戸市教育委員会
141. 黄金具・辻金具	8点	神戸市狩口台きつね塚古墳	古墳時代後期	神戸市教育委員会
142. 素環頭鏡板付轡	1組	神戸市狩口台きつね塚古墳	古墳時代後期	神戸市教育委員会
143. 須恵器	12点	神戸市狩口台きつね塚古墳	古墳時代後期	神戸市教育委員会
・海人の墳墓				
144. 盾形埴輪	1点	神戸市垂水区舞子浜遺跡	古墳時代前期末	神戸市教育委員会
145. 鱗付円筒埴輪	1点	神戸市垂水区舞子浜遺跡	古墳時代前期末	神戸市教育委員会
146. 円筒埴輪	1点	神戸市垂水区舞子浜遺跡	古墳時代前期末	神戸市教育委員会
147. 壺形埴輪	1点	神戸市垂水区舞子浜遺跡	古墳時代前期末	神戸市教育委員会
148. 鹿角装鉄剣（重要文化財）	2点	田辺市磯間岩陰遺跡	古墳時代後期	文化庁（田辺市教育委員会）
149. 鉄鉾（重要文化財）	1点	田辺市磯間岩陰遺跡	古墳時代後期	文化庁（田辺市教育委員会）
150. 鉄鏃（重要文化財）	3点	田辺市磯間岩陰遺跡	古墳時代後期	文化庁（田辺市教育委員会）
151. 鹿角鳴鏑（重要文化財）	1点	田辺市磯間岩陰遺跡	古墳時代後期	文化庁（田辺市教育委員会）
152. 鹿角把（重要文化財）	3点	田辺市磯間岩陰遺跡	古墳時代後期	文化庁（田辺市教育委員会）
153. 須恵器壺（重要文化財）	1点	田辺市磯間岩陰遺跡	古墳時代後期	文化庁（田辺市教育委員会）
154. 土師器埴（重要文化財）	1点	田辺市磯間岩陰遺跡	古墳時代後期	文化庁（田辺市教育委員会）

#### 第4章 海へのいのり

##### ・船形模造品

155. 船形土製品	1点	茨木市東奈良遺跡	弥生時代中期	（財）大阪府文化財調査研究センター
156. 船形土製品	1点	岡山市百間川原尾島遺跡	弥生時代後期	岡山県古代吉備文化財センター
157. 船型土製品	1点	堺市大庭寺遺跡	古墳時代中期	（財）大阪府文化財調査研究センター
158. 船形土製品	2点	兵庫県北淡町貴船神社遺跡	古墳時代後期	兵庫県教育委員会埋蔵文化財調査事務所
159. 船形木製品	1点	東大阪市西岩田遺跡	弥生時代中期	（財）大阪府文化財調査研究センター
160. 船形木製品	1点	東大阪市新家遺跡	弥生時代中期	（財）大阪府文化財調査研究センター
161. 船形木製品（複製品）	2点	和歌山県串本町笠島遺跡	弥生時代終末	大阪市立博物館
162. 船形木製品	1点	八尾市久宝寺遺跡	古墳時代前期	（財）大阪府文化財調査研究センター
163. 船形木製品	1点	堺市下田遺跡	古墳時代中期	（財）大阪府文化財調査研究センター
164. 船形木製品	1点	神戸市西区玉津田中遺跡	古墳時代中期	兵庫県教育委員会埋蔵文化財調査事務所

##### ・海辺の祀り

165. 絵画土器（複製品）	2点	倉敷市上東遺跡	弥生時代後期	岡山県古代吉備文化財センター
166. 小型鏡	1点	岡山市高島遺跡	古墳時代中期	（岡山理科大学人類学教室）
167. 鉄鏃	1点	岡山市高島遺跡	古墳時代中期	（岡山理科大学人類学教室）
168. 鉄製釣針	2点	岡山市高島遺跡	古墳時代中期	（岡山理科大学人類学教室）
169. 石錘	2点	岡山市高島遺跡	古墳時代中期	（岡山理科大学人類学教室）
170. 滑石製模造品	18点	岡山市高島遺跡	古墳時代中期	（岡山理科大学人類学教室）
171. 管玉	1点	岡山市高島遺跡	古墳時代中期	（岡山理科大学人類学教室）
172. ミニチュア土器	3点	岡山市高島遺跡	古墳時代中期	（岡山理科大学人類学教室）
173. 土錘	2点	岡山市高島遺跡	古墳時代中期	（岡山理科大学人類学教室）

## (2) 第72回特別展

### びいどろ・ぎやまん・ガラス —江戸時代から明治・大正へ—

#### ・内 容／

江戸時代には「ビイドロ」は、ポルトガル語のヴィードロに由来するガラス一般をさすことばでした。「硝子」という文字は、明治時代前期以降、オランダ語・英語に由来する「ガラス」の音をあてていますが、江戸時代には「びいどろ」と読まれていました。

輸入されたヨーロッパ製カットガラスの影響を受けて、文化・文政期には、大坂・江戸でも厚みのある素地に切子（カット）を施すことが行われ、こうした作例は、和製ぎやまんと呼ばれました。

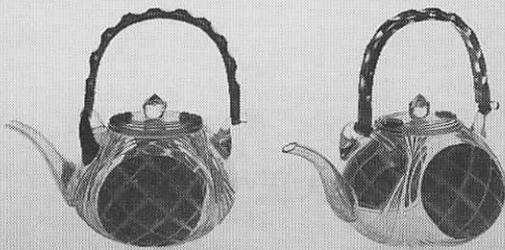
「ぎやまん」の呼称は、ポルトガル語のダイヤモンド（ディアマン）に由来し、本来は輸入のヨーロッパ製ガラスをさすものでしたが、文化・文政期以降は、日本製であってもグラヴェールが施されたものや、上質の和製ガラスも「ぎやまん」と呼ばれたのです。

工部省が東京・品川に設立された興業社を買い上げ、品川硝子製造所と称するようになった明治9年（1876）頃から、「ガラス」という新奇な言葉が一般に用いられるようになっていきます。それとともにガラスの製法や材質は次第に近代的な方向に進み、現在のガラス工業の基盤を築きました。

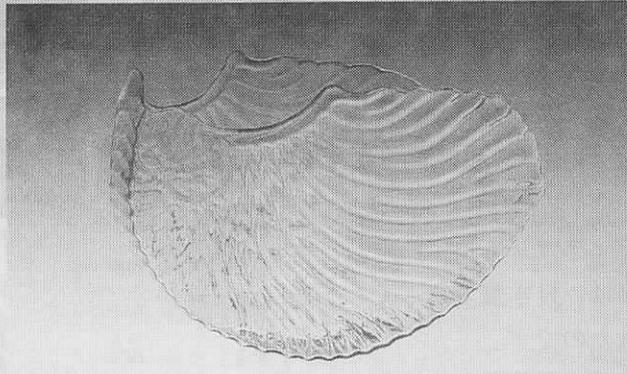
本展は、江戸・明治期にガラス素材が、どのように人々の生活に浸透していったのかを、びいどろ史料庫の所蔵になる初公開作品によって紹介しようとする試みでした。本展によって日本のガラスの歴史にひとつの基準線が引かれたと言えるでしょう。

- ・会 期／平成12年7月20日（木）～9月10日（日）
- ・会 場／南蛮美術館室、特別展示室2
- ・主 催／神戸市立博物館・読売新聞大阪本社・読売テレビ
- ・協 力／びいどろ史料庫
- ・協 賛／財団法人伊藤文財団・財団法人みなと銀行文化振興財団
- ・特別協賛／(株)ドリームアンドモア
- ・入 館 料／（当日・一般）800円
- ・開館日数／46日
- ・入館者数／28,605人
- ・出品点数／252件
- ・記念講演会／会場 当館地階講堂 午後2時～  
8月12日（土）「びいどろ・ぎやまんの基礎知識」  
岡 泰正（当館学芸員）
- ・公開対談／8月26日（土）「長崎びいどろ復元をめぐる」  
御厨 正敏氏（ガラス工芸作家）
- ・切子実演／会場 当館1階ホール 午前11時～・午後2時～  
7月26日（水）・28日（金）8月2日（水）・4日（金）  
高橋 太久美氏（ガラス工芸作家）

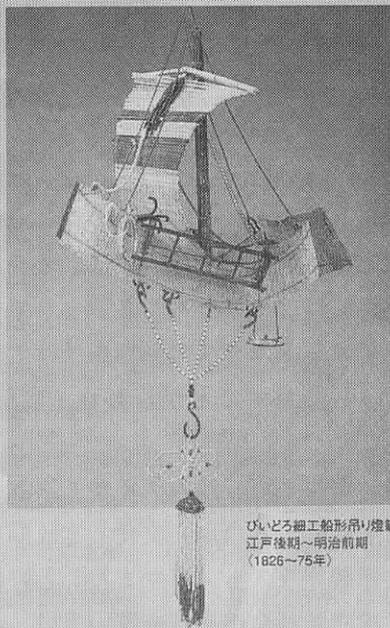
# びいどろ ぎやまん ガラス



切り窓被せガラスちり 江戸後期～明治前期(1850～80年)



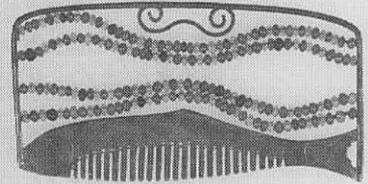
型吹きあおい貝形ガラス吊り花生 江戸時代(1725～75年)



びいどろ細工船形吊り燈籠 江戸後期～明治前期(1826～75年)



切り籠目文ウラン黄色栓付ガラス瓶 昭和初期

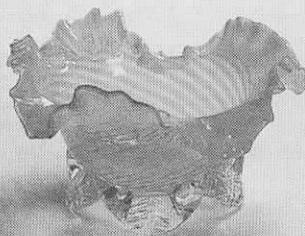


ビーズ飾り魚文銀製櫛 江戸後期～明治前期(1826～75年)

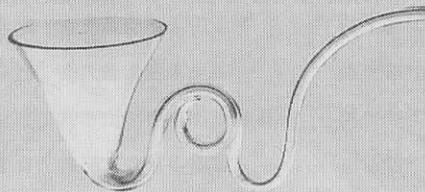
江戸時代の日本製ガラスはポルトガル語のガラスを意味するヴィードロに語源を持つ「びいどろ」という語で呼ばれ、並のガラスを指す言葉で「硝子」という文字は、明治時代前期以降、オランダ語・英語に由来する「ガラス」の音をあてていますが、江戸時代には「びいどろ」と呼ばれていました。輸入されたヨーロッパ製カットガラスの影響をうけて、文化・文政期には、大坂・江戸でも厚みのある素地に切り(カット)を施すことが行われ、こうした作例は、和製ぎやまんと呼ばれました。ぎやまんの呼称は、ポルトガル語のダイヤモンド(ティアマント)に由来し、本来は輸入のヨーロッパ製ガラスを指すものでしたが、文化・文政期頃以降は、日本製であってもグラヴェールが施されたものや、上質の和製ガラスもぎやまんと呼ばれたのです。

工部省が東京・品川に設立された興業社を買上げ、品川硝子製造所と称するようになった明治9年(1876)頃から、ガラスという新奇な言葉が一般に用いられるようになっていきます。それとともにガラスの製法や材質はしだいに近代的な方向に進み、現在のガラス工業の基盤を築いたので。

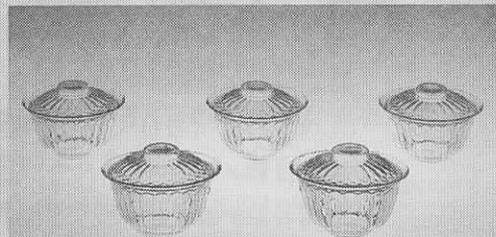
本展は「びいどろ・ぎやまん展」(昭和58年)「明治のガラス」(昭和62年)「二市びいどろ展」(平成2年)に続く、当館の4度目の和製ガラスの特別展です。今回は多くの初公開作品で、江戸・明治期にガラス素材がどのように人々の生活に浸透していったのかを紹介するとともに、当時の多彩なガラス器がたたえる美意識を感じていただくとする試みです。I ガラスの製造 II びいどろ III 和製ぎやまん IV 明治・大正・昭和初期のガラス、の4章に分け、江戸から昭和初期まで、およそ200年の和製ガラスの歩みを概観できるように構成しています。ガラス素材と日本人とのかわりを知るまたない機会と言えるでしょう。



金赤乳白の花型ガラス鉢 明治後期～大正



つる朝顔形ガラス壺 江戸時代・18世紀後半期



型吹き菊形ガラス蓋碗 安永6年(1777)頃

## 〈展覧会の構成〉

### I. ガラスの製造

- (1) びいどろを造る
- (2) ガラスを造る

### II. びいどろ

- (1) びいどろの飲食器
- (2) 暮らしの中のびいどろ

### III. 和製ぎやまん

- (1) 和製ぎやまんの飲食器
- (2) 暮らしの中の和製ぎやまん

### IV. 明治・大正・昭和初期のガラス

- (1) ガラスの飲食器
- (2) 暮らしの中のガラス

## 入館料

※団体は30名以上

	当日券	前売券	団体券
一般	800円	700円	600円
高・大生	550円	450円	400円
小・中生	300円	200円	150円
シルバー	400円		

※シルバーは、65歳以上で、神戸市すこやか手帳持参の方  
●前売券は、チケットぴあ・大丸神戸店・神戸市総合インフォメーションセンター、当館券売所等で、8月20日より発売しています。

テレホンサービス ☎ (078) 332-7810  
当館で開催中の展覧会に関する情報をお伝えしています。

重要文化財指定 同時開催  
聖フランシスコ・ザヴィエル像出品

南蛮美術名品展



スライドレクチャー／7月29日(土) 午後2時30分から

出品作品について 当館学芸員

講演会／8月12日(土) 午後2時から

びいどろ・ぎやまんの基礎知識 岡 泰正(神戸市立博物館主査・学芸員)

公開対談／8月26日(土) 午後2時から

長崎びいどろ復元をめぐる 御厨 正敏氏(ガラス工芸作家)  
聞き手 当館学芸員

於：当館地階講堂(開場はそれぞれ30分前)

以上は事前申し込み不要 当日先着180名(聴講料無料、ただし入館券が必要です)

切子実演／7月26日(水)・7月28日(金)・8月2日(水)・8月4日(金)

各午前11時・午後2時から 高橋 太久美氏(ガラス工芸作家)  
於：当館1階ホール

## 出品目録

とくに記載のないものはびいどろ史料庫蔵

- 
- 1 和漢三才図会 卷第二十六・六十 2冊  
正徳3年(1713) 寺島良安著  
26.1×18.7cm 紙本木版
- 
- 2 萬金産業袋 三之巻 1冊  
享保17年(1732) 三宅也来著  
22.6×16.3cm 紙本木版
- 
- 3 萬金産業袋 三之巻 1冊 (別版を展示)  
享保17年(1732) 三宅也来著  
22.6×16.3cm 紙本木版
- 
- 4 菊形銅製吹き型 1点  
江戸時代(1725~1868)  
高7.4cm 口径12.9cm
- 
- 5 信楽焼埴塼 1口  
明治20年(1887)頃  
高30.5cm 口径10.8cm
- 
- 6 吹き散らした状態の藍色ガラス碗(研究用) 1口  
現代 薩摩ガラス工芸(株)  
製高6.2cm 口径6.4cm
- 
- 7 ニッキ水瓶鉄製割型 1個  
大正~昭和初期  
総高13.6cm 底径13.9cm
- 
- 8 型吹き淡青色草花文六角ガラス四段重 1式  
正徳4年(1714)  
総高25.5cm 最大径12.7cm
- 
- 9 型吹きぎやまん彫り唐人孔雀雨龍文ガラス鉢 1口  
江戸中期(1725~75)  
高13.0cm 口径20.9cm
- 
- 10 型吹き唐草文ガラス蓋物 1合  
江戸中期(1725~75)  
総高14.4cm 胴径14.0cm
- 
- 11 型吹き八重菊文ガラス蓋物 1合  
江戸中期(1725~75)  
総高13.7cm 口径16.2cm
- 
- 12 型吹き黄色菊形ガラス蓋物 1合  
江戸中期(1725~75)  
総高12.0cm 口径13.7cm
- 
- 13 型吹き黄色竹文ガラス筒向付 5客  
宝暦元年(1751)  
高9.4cm 口径6.5×6.4cm
- 
- 14 型吹き緑色桔梗形ガラス鉢 5口  
江戸中期(1725~75)  
高5.6cm 口径15.0cm
- 
- 15 型吹き菊形ガラス蓋碗 5客  
安永6年(1777)  
総高9.2cm 口径11.9cm
- 
- 16 型吹き乳緑色菊形ガラス皿 1枚  
江戸中期(1725~75)  
高3.1cm 口径16.3cm
- 
- 17 型吹き緑色小菊文ガラス向付 1口  
江戸中期(1725~75)  
高8.3cm 口径8.5cm
- 
- 18 紫色鶴首ガラス徳利 1本  
江戸中期(1725~75)  
高29.7cm 胴径13.2cm
- 
- 19 型吹き緑色蒔絵御所車文ガラス角瓶 1本  
江戸後期(1776~1825)  
高12.8cm
- 
- 20 型吹き紫色寿文ガラス角徳利 1対  
江戸後期(1776~1825)  
高17.8, 18.2cm 胴7.9×7.9, 7.3×7.8cm
- 
- 21 型吹き黄色算木文角型ガラス徳利 1本  
江戸後期(1776~1825)  
高18.2cm 胴7.8×7.9cm
- 
- 22 ガラス棒入り透し絵提重、グラヴェール鷲文ガラス瓶子 1式  
江戸後期(1776~1825)  
(提重)高33.4cm (瓶子)高22.8cm
- 
- 23 型吹き彩絵桃文ガラス盃 1口  
江戸後期(1776~1825)  
高2.1cm 口径9.4cm
- 
- 24 片口ガラス徳利 1本  
寛政11年(1799)  
高16.1cm 胴径8.2cm
- 
- 26 緑色フラスコ形ガラス徳利 1本  
江戸後期(1776~1825)  
高17.3cm 底径10.0cm
- 
- 27 つる朝顔形ガラス盃 1点  
江戸後期(1776~1825)  
口径6.3cm 長17.0cm
- 
- 28 つる朝顔形ガラス盃 1点  
江戸後期(1776~1825)  
口径5.6cm 長17.7cm
- 
- 29 型吹き紫色十角ガラス鉢 1口  
江戸後期(1776~1825)  
高7.8cm 口径13.1cm
-

30 型吹き色替り八角ガラス皿揃 1 式 9 枚

江戸後期 (1776~1825)  
総高2.3cm 最大径39.0cm

30 (参考) 染付山水文小皿揃 1 式 9 枚

18世紀中~後期 中国・景德鎮窯  
最大径40.0cm 神戸市立博物館蔵

31 藍色蓋付ガラス茶壺 1 合

江戸後期 (1776~1825)  
高15.9cm 胴径11.5cm

32 紫色蒔絵山水文ガラス徳利 1 本

江戸後期 (1776~1825)  
高21.1cm 胴径8.2cm

33 乳青色脚付ガラス杯 1 口

江戸後期 (1776~1825)  
高9.1cm 口径5.4cm

34 薄藍色焼き付け鼠に枇杷文脚付ガラス盃 1 口

江戸後期 (1776~1825)  
高8.5cm 口径5.8cm

35 ぎやまん彫り鴛鴦文台付ガラス杯 1 口

江戸後期 (1776~1825)  
高5.1cm 口径4.9cm

36 ぎやまん彫り梅花文脚付ガラス杯 1 口

江戸後期 (1776~1825)  
高11.2cm 口径5.1cm

37 花縁淡青色玉高台ガラス盃 1 口

江戸後期 (1776~1825)  
高5.5cm 口径4.9cm

38 花縁藍ぼかし玉高台ガラス盃 1 口

江戸後期 (1776~1825)  
高4.1cm 口径5.7cm

39 練り上げ手ガラス脚付盃 1 口

江戸後期 (1826~50)  
高7.4cm 口径6.6cm

40 練り上げ手ガラス燗瓶 1 本

江戸後期 (1826~50)  
高9.9cm 胴径8.4cm

41 弁柄色ガラス徳利 1 本

江戸後期 (1826~50)  
高26.8cm 胴径15.2cm

41 (参考) ヘマチノン化した銅赤生地 (研究用) 1 点

現代 薩摩ガラス工芸(株)製  
高5.0cm

42 青筋巻きねじり脚付ガラス杯 1 口

江戸後期 (1776~1825)  
高10.0cm 口径3.9cm

43 カラーツイスト脚付ガラス杯 1 口

江戸後期 (1826~50)  
高13.4cm 口径6.6cm

44 蒔絵鶴亀文高足硯蓋・ガラス簾 1 式

江戸後期 (1776~1825)  
(簾)縦27.4cm, 横30.9cm (台)高22.8cm, 天板29.0×33.4cm

45-1 乳青色蒔絵草花文ガラス徳利・手付盃・盃台 3 点

天保11年 (1840)  
(徳利)高19.7cm, 胴径8.7cm (手付盃)口径4.4cm, 高4.5cm (盃台)高5.2cm, 胴径7.5cm

45-2 乳青色蒔絵草花文ガラス徳利・盃台 2 点

天保11年 (1840)  
(徳利)高18.2cm, 胴径8.3cm (盃台)高5.5cm, 胴径7.3cm

46 瓢形ガラス大徳利 1 本

弘化2年 (1845)  
高35.1cm 胴径19.0cm

47 五色目鏡 (水晶使用) 1 枚

江戸中期 (18世紀初期)  
長32.1cm 幅15.5cm

48 型吹き葵貝形ガラス吊り花生 1 点

江戸中期 (1725~75)  
高16.9cm 長23.6cm

48 (参考) あおい貝 1 点

幅25.6cm

49 つらら形ガラス花生 1 点

江戸後期 (1776~1825)  
長32.8cm

50-1 指南鍼附属のガラス板 1 点

江戸中期 (1762~93)  
(板ガラス)15.8×9.5cm

50-2 指南鍼 1 点

江戸中期 (1762~93)  
高4.7cm, 17.8×11.3cm 木製

51 ねじりガラス棒手拭掛け 1 本

江戸中期 (1751~1800)  
管径1.9cm 長43.3cm

52 ねじりガラス手拭掛け 1 式 3 点

江戸中期 (1751~1800)  
(輪)径16.4cm (鉤)長17.3cm, 13.5cm

53 御拳指人形・ねじりガラス棒付き 1 点

江戸中~後期 (1725~1825)  
総高28.0cm

54-1 型吹き色替り菊形ガラス小皿 (無色) 1 枚

江戸中~後期 (1750~1825)  
径4.8cm

---

54-2 型吹き色替り菊形ガラス小皿（黄色）1枚

江戸中～後期（1750～1825）  
径4.9cm

---

54-3 型吹き色替り菊形ガラス小皿（緑色）2枚

江戸中～後期（1750～1825）  
径4.9, 4.8cm

---

54-4 型吹き色替り菊形ガラス小皿（緑色）1枚

江戸中～後期（1750～1825）  
径4.6cm

---

54-5 型吹き色替り菊形ガラス小皿（紫色）1枚

江戸中～後期（1750～1825）  
径4.9cm

---

54-6 型吹き色替り菊形ガラス小皿（黄色）1枚

江戸中～後期（1750～1825）  
径5.5cm

---

54-7 型吹き色替り菊形ガラス小皿（緑色）1枚

江戸中～後期（1750～1825）  
径5.6cm

---

54-8 型吹き色替り菊形ガラス小皿（紫色）2枚

江戸中～後期（1750～1825）  
径5.6, 5.5cm

---

55 火取り玉1点

江戸中期（18世紀）  
径15.3cm レンズ径12.0cm

---

56 ビーズ飾り煙草盆1点

江戸後期～明治前期（1826～82）  
高18.0cm 縦横9.8×12.5cm

---

57 びいどろ筒花生屏風1隻

江戸後期（1776～1825）  
（筒）口径3.6cm, 長27.5cm（屏風片隻）高24.1cm, 幅42.4cm

---

58 ぎやまん彫り緑色梅枝文ガラス手付水注1合

江戸後期（1776～1825）  
総高5.5cm 胴径7.8cm

---

59 ぎやまん彫り金魚藻文青色ガラス卦算1本

江戸後期（1776～1825）  
高1.0cm 長24.9cm

---

60 色ガラス棒入り虫籠1点

江戸後期～明治前期（1826～82）  
高19.6cm

---

61 藍色ガラス煙管1本

江戸後期（1801～50）  
長39.6cm

---

62 ガラス舎利器1点

江戸後期（1776～1825）  
高6.6cm 底径3.1cm

---

---

63 ガラス水燭1点

江戸後期（1826～68）  
（台）総高46.2cm, 口径4.4cm（漆台）径19.8cm（後補燭）総高44.0cm, 口径14.6cm

---

64 蒔絵井桁文緑色ガラス風鈴1点

江戸後期（1826～68）  
高11.3cm 胴径6.1cm

---

65 ガラス板入り人物図風鎮1対

江戸後期（1776～1800）  
（錫枠）径3.4 厚さ0.9cm

---

66 中空斑入り黄色ガラス筭1本

江戸後期（1776～1850）  
長33.3cm 幅1.3cm 厚さ0.4cm

---

67 乳黄色ガラス突通し1本

江戸後期～明治前期（1826～82）  
長21.5cm 厚さ5.0cm

---

68 象嵌斑入り乳黄色ガラス筭1本

江戸後期～明治前期（1826～82）  
長21.3cm

---

69 プレス切子形乳黄色ガラス簪1本

江戸後期～明治前期（1826～82）  
長17.7cm

---

70 プレス桜文乳黄色斑入りガラス簪1本

江戸後期～明治前期（1826～82）  
長16.8cm

---

71 プレス七宝文黄色ガラス簪1本

江戸後期（1826～50）  
長18.1cm

---

72 プレス牡丹文黄色ガラス簪1本

江戸後期（1826～50）  
長18.4cm

---

73 プレス霞文黄色ガラス簪1本

江戸後期（1826～50）  
長18.5cm

---

74 プレス桜文黄色ガラス簪1本

江戸後期（1826～50）  
長18.8cm

---

75 プレス菊文黄色ガラス簪1本

江戸後期（1826～50）  
長19.9cm 厚さ7.0cm

---

76 ビーズ飾り魚形銀製櫛1枚

江戸後期～明治前期（1826～82）  
長12.1cm

---

77 うぬぼれ手鏡（錫鍍金）1面

江戸後期～明治前期（1826～82）  
鏡面9.3×7.9cm

---

- 78 うぬぼれ鏡（金縁錫鍍金）1面  
江戸後期～明治前期（1862～82）  
外寸35.8×26.1cm 鏡面28.6×18.8cm
- 79 串珠形ガラス盃・寄せ書画帖共1点・4冊  
文化2年（1805）  
以降 口径5.5cm 長14.1cm
- 80 つる朝顔ガラス杯1点  
江戸後期（1826～50）  
口径4.4cm 長16.6cm
- 81 彩絵高砂文ガラス徳利・彩絵柝の葉文ガラス盃2点  
江戸後期～明治前期（1826～82）  
（徳利）高17.2cm, 胴径6.7cm （盃）高3.5cm, 口径5.5cm
- 82 切子亀甲文ガラス盃1口  
文政元年（1818）  
高2.8cm 径4.8cm
- 83 ガラス簾（加賀屋久兵衛販売）1枚  
江戸後期（1826～50）  
ガラス棒長24.0cm
- 84 切子籠目文ガラス鉢1口  
江戸後期～明治前期（1826～82）  
高7.7cm 口径15.6cm
- 85 切子籠目文脚付ガラス大杯1点  
江戸後期～明治前期（1826～82）  
高16.1cm 口径8.1cm
- 86 切子霰文ガラス振り出し1合  
江戸後期～明治前期（1826～82）  
総高8.1cm 胴径11.3cm
- 87 切子菊文ガラス皿（薩摩系）1枚  
江戸後期～明治前期（1850～82）  
高2.7cm 口径13.8cm
- 88 切子銅赤被せ格子に小菊文ガラス小段重（薩摩系）の一部1点  
江戸後期（1850～68）  
高3.9cm 口径10.2cm
- 89 切子銅赤被せ魚子文ガラス小皿（薩摩系）1枚  
江戸後期（1850～68）  
高2.8cm 口径8.9cm
- 90 切子藍被せ輪結び霰文ガラス蓋物（薩摩系）1合  
江戸後期～明治前期（1850～82）  
総高15.2cm 胴径11.7cm
- 91 切子紫被せ格子文ガラスちろり（薩摩系）1対  
江戸後期～明治前期（1850～82）  
（左）総高16.0cm, 長16.2cm （右）総高16.4cm, 長16.0cm
- 92 切子紫被せ格子文脚付ガラス杯（薩摩系）1点  
江戸後期～明治前期（1850～82）  
高12.5cm 口径6.0cm
- 93 切子銅赤被せ菊文長円形ガラス小皿（薩摩系）1枚  
明治前期（1868～82）  
高1.9cm 最大径11.0 最小径9.9cm
- 94 切子熔着木の葉文蓋付ガラス壺（薩摩系）1合  
明治前期（1868～82）  
総高13.6cm 胴径9.6cm
- 95 切子藍色筋文ガラス瓶（薩摩系）1本  
江戸後期～明治前期（1850～82）  
総高12.3cm 胴径5.2cm
- 96 切子格子に魚子文角形ガラス三段重1式  
江戸後期～明治前期（1826～82）  
総高21.0cm 縦横13.5×13.5cm
- 97 切子籠目文ガラス鉢1口  
江戸後期～明治前期（1826～82）  
高8.5cm 口径18.4cm
- 98 切子霰文脚付ガラス大杯1口  
江戸後期～明治前期（1826～82）  
高17.2cm 口径10.7cm
- 99 切子霰文ガラス鉢1枚  
江戸後期～明治前期（1826～82）  
高4.8cm 口径19.4cm
- 100 切子籠目文ガラス食籠1合  
江戸後期～明治前期（1826～82）  
総高11.5cm 径20.0cm
- 101-1 切子格子文ガラス蓋碗（霰文）4合  
江戸後期～明治前期（1826～82）  
総高8.2cm 口径11.3cm
- 101-2 切子格子文ガラス蓋碗1合  
江戸後期～明治前期（1826～82）  
総高8.9cm 口径11.5cm
- 102 切子ガラス散蓮華2本  
江戸後期～明治前期（1826～82）  
長12.5cm, 12.2cm
- 103-1 切子霰文ガラス三ツ盃（中）1口  
江戸後期～明治前期（1826～82）  
高2.8cm 口径8.3cm
- 103-2 切子霰文ガラス三ツ盃（小）1口  
江戸後期～明治前期（1826～82）  
高2.6cm 口径6.9cm
- 103-3 切子霰文ガラス三ツ盃（大）1口  
江戸後期～明治前期（1826～82）  
高3.7cm 口径9.5cm
- 104 切子斜格子に魚子文ガラス蓋物1合  
江戸後期～明治前期（1826～82）  
総高13.0cm 口径11.4cm

105 第1・2回 内国勸業博覧会出品記録写真集1冊 明治14年(1881)頃 40.5×40.7cm	118-3 切子ガラス雑道具 横筋文瓶1点 明治中～後期(1883～1912) 総高5.9cm
106 型吹き菊形ガラス食籠1合 江戸後期～明治前期(1826～82) 総高10.4cm 口径17.7cm	118-4 切子ガラス雑道具 霰文深鉢1点 明治中期(1883～97) 口径4.5cm
107 型吹きビーズ象嵌菊形ガラス杯洗1口 江戸後期～明治前期(1826～82) 高12.0cm 口径11.8cm	118-5 切子ガラス雑道具 霰文平鉢1点 明治中期(1883～97) 口径3.6cm
108 ガラス吸玉1点 江戸後期～明治前期(1826～82) 高4.8cm 胴径6.4cm	118-6 切子ガラス雑道具 菊・霰文角皿1点 明治中期(1883～97) 4.4×6.4cm
109 ガラス吸毒管1本 江戸後期～明治前期(1826～82) 長34.3cm	118-7 切子ガラス雑道具 菊・霰文皿5枚 明治中期(1883～97) 径4.2cm
110 スランガ(冷却管)1本 江戸後期～明治前期(1826～82) 長31.0cm 口径3.3cm	118-8 切子ガラス雑道具 捻じり箸1対 明治中期(1883～97) 長9.0cm
111 板ガラス入り磁石(逆回り型磁石)1点 江戸後期～明治前期(1826～82) 高2.8cm 径6.5cm	119 切子霰文ガラス印籠1点 江戸後期～明治前期(1826～82) 高7.5cm 幅4.5cm 厚さ1.8cm
112 数眼鏡1点 江戸後期(1826～68) 長27.4cm 幅8.7cm	120 切子霰文ガラス簪1本 江戸後期～明治前期(1826～82) 長14.9cm
113 切子斜格子に魚子文羊頭形ガラス筆洗(薩摩系)1点 江戸後期(1850～68) 高7.4cm 長径10.7cm 短径8.5cm	121 切子斜線文ガラス突通し1本 江戸後期～明治前期(1826～82) 長27.4cm
114 切子籠目文ガラス筆筒1点 江戸後期～明治前期(1826～82) 高9.9cm 縦横5.4×5.4cm	122 切子麻の葉文筴1本 江戸後期～明治前期(1826～82) 長24.1cm
115 切子ガラス軸大筆1本 江戸後期～明治前期(1826～82) 長18.5cm 軸径4.5cm	123 プレス菱牡丹文ガラス簪1本 江戸後期～明治前期(1826～82) 長19.3cm
116 切子亀形ガラス文鎮1点 江戸後期～明治前期(1826～82) 高2.2cm 縦横5.3×3.7cm	124 プレス菱菊文ガラス簪1本 江戸後期～明治前期(1826～82) 長17.4cm
117 切子霰文西洋館形筆架1点 明治前期(1868～82) 高4.1cm 幅12.4cm	125 プレス菊文ガラス簪1本 江戸後期～明治前期(1826～82) 長20.9cm
118-1 切子ガラス雑道具 霰文六角三段重1式 江戸後期～明治前期(1826～82) 高3.5cm 径3.1cm	126 プレス牡丹文ガラス簪1本 江戸後期～明治前期(1826～82) 長18.2cm
118-2 切子ガラス雑道具 霰文三足花生1点 明治中期(1883～97) 高6.7cm	127 中空錫鍍金ガラス簪1本 江戸後期～明治前期(1826～82) 長20.3cm

128 水に箔入りガラス筭 1 本 明治中～後期 (1883～1912) 長19.2cm	140 硝子簪卸看板 1 枚 江戸後期～明治前期 (1826～82) 113.6×32.0cm 紙本着色
129 油入りガラス簪 1 本 江戸後期～明治前期 (1826～82) 長15.5cm	141 唐物店河内屋清助引札版木 1 枚 明治前期 (1868～82) 23.4×33.9cm 厚さ1.8cm
130 砂金石ガラス付き黒柿筭 1 本 明治前期 (1868～82) 長13.5cm	142 大坂びいどろ細工処大和屋幸四郎引札版木 1 枚 江戸後期 (1826～68) 23.5×8.1cm 厚さ2.0cm
131 中空赤色水入り髪差し 1 本 江戸後期～明治前期 (1826～82) 長7.1cm	143 加賀屋久兵衛引札 (初版) 1 枚 文政11年 (1828) 24.1×34.2cm 紙本木版墨摺
132-1 中空顔料入りガラス髪差し (瓢形・朱) 1 本 江戸後期～明治前期 (1826～82) 長4.5cm	144 加賀屋久兵衛引札 (再版) 1 枚 江戸後期 (1826～50) 24.8×34.3cm 紙本木版墨摺
132-2 中空顔料入りガラス髪差し (瓢形・緑) 1 本 江戸後期～明治前期 (1826～82) 長5.0cm	145 大隅源助引札 1 枚 江戸後期 (1826～68) 24.5×34.5cm 紙本木版墨摺
132-3 中空顔料入りガラス髪差し (緑) 1 江戸後期～明治前期 (1826～82) 長4.9cm	146 大隅源助引札 (袋付) 1 枚 江戸後期 (1826～68) 34.5×49.1cm 紙本木版墨摺 両面刷り 袋共
132-4 中空顔料入りガラス髪差し (黄) 1 本 江戸後期～明治前期 (1826～82) 長5.1cm	147 伝佐久間象山書簡 1 卷 弘化元年 (1844) 17.1×176.5cm 塚田源吾宛
133 切子霞文ガラス付き蒔絵花台 1 点 江戸後期～明治前期 (1826～82) 高17.4cm 天板25.9×34.3cm	148 ガラス大簾 1 枚 江戸後期～明治前期 (1826～82) 49.0×60.9cm
134 ねじりガラス棒入り鶉籠 1 点 江戸後期～明治前期 (1826～82) 高33.4cm 縦横24.1×24.1cm	149 脚付ガラス盃洗 1 口 明治前期 (1868～82) 高14.3cm 口径15.7cm
135 びいどろ棒細工船形吊り灯籠 1 点 江戸後期～明治前期 (1826～82) 全体高97.0cm 全体長47.0cm 瑠璃灯の高3.6cm 口径6.1cm	150 グラヴェール金赤被せ蘭・菊文ガラス徳利 1 対 明治前期 (1868～82) 高16.0, 16.3cm 胴径6.1, 6.0cm
136 ガラス守り玉 1 個 明治前期 (1868～82) 径4.4cm	151 グラヴェール金赤被せ小菊文脚付ガラス杯 1 対 明治前期 (1868～82) 高12.9cm 口径6.1cm
137 切子七宝文ガラス玉付き唐獅子木彫 1 体 明治前期 (1868～82) 総高17.5cm (ガラス玉)径4.9cm	151 (参考) クランベリー・ワイングラス (金赤被せ脚付ガラス杯) 2 点 1880年代イギリス製 高12.2cm 口径5.8cm
138 帆船のある異国風景図ガラス絵 1 面 江戸後期 (1826～68) 額33.0×69.7cm ガラス23.8×60.0cm	152 切子グラヴェール菊御紋脚付ガラス杯 1 口 明治中期 (1883～97) 高13.6cm 口径6.6cm
139 花鳥図ガラス絵 1 面 江戸後期～明治前期 (1826～82) 額36.1×77.3cm ガラス28.4×69.6cm	153 切子霞文菊御紋脚付ガラス杯 1 対 大正元年 (1912) 下賜高11.8cm 口径6.5cm

154 プレス擬宝珠文ガラス皿10枚

明治中期 (1883~97)  
高2.5cm 径14.7cm

155 グラヴェール金赤内被せ瓢箪文ガラス大鉢1枚

明治中~後期 (1883~1912)  
高8.5cm 径31.2cm

156 栓付ガラス瓶1本

明治中期 (1883~97)  
総高23.2cm 胴径6.8cm

157 グラヴェール蔦唐草文手付ガラスコップ6点

明治中期 (1883~97) 日本硝子会社製  
高10.4cm 口径7.2cm

158 切子筋文三ツ組みガラス盃・盃台4点

明治中期 (1883~97)  
盃(大) 高4.6cm, 口径10.2 盃台 高9.5cm, 口径13.6cm

159 切子霞文菱形ガラス向付5口

明治中~後期 (1883~1912)  
高4.5cm 16.2×19.0cm

160 ガラス水筒1点

明治後期 (1898~1912)  
高16.8cm 幅11.2cm 厚さ6.0cm

161 香竈葡萄酒褐色ガラス瓶1本

明治中~後期 (1883~1912)  
高29.1cm 胴径7.9cm

162 香竈葡萄酒褐色ガラス瓶(ラベル無し)1本

明治中~後期 (1883~1912)  
高29.3cm 胴径7.9cm

163 金山葡萄酒褐色ガラス瓶1本

明治中~後期 (1883~1912)  
高24.8cm 胴径6.9cm

164 福田次吉醸造緑色ガラス醤油瓶1本

明治中~後期 (1883~1912)  
高29.1cm 胴径8.4cm

165-1 赤色ガラス蓋付ジョッキ1点

明治後期 (1898~1912)  
総高11.4cm ガラス口径6.6cm

165-2 藍色ガラス蓋付ジョッキ1点

明治後期 (1898~1912)  
総高11.4cm ガラス口径6.3cm

166 プレス四ツ目市松文青色ガラス皿1枚

明治後期 (1898~1912)  
高3.3cm 径17.9cm

167 プレス四ツ目市松文ウラン黄色ガラス皿1枚

明治後期 (1898~1912)  
高3.7cm 径21.2cm

169 プレス東郷元帥文ガラス皿(青)1枚

明治後期 (1898~1912)  
高2.3cm 径14.3cm

170 プレス東郷元帥文ガラス皿(青)1枚

明治後期 (1898~1912)  
高2.3cm 径14.3cm

171 プレス東郷元帥文ガラス皿(青)1枚

明治後期 (1898~1912)  
高2.3cm 径14.3cm

168 プレス東郷元帥ガラス皿(緑)1枚

明治後期 (1898~1912)  
高2.3cm 径14.3cm

172 雪見灯籠形ガラス酒器揃1式9点

明治後期 (1898~1912)  
(灯籠)高20.7cm (盃・大)高3.5cm, 口径6.4cm

173 プレスガラス市松文ガラス四段重1式

大正~昭和初期 (1912~35)  
総高20.0cm 径11.4cm

174 焼き付け桜に雀図ガラスコップ1口

明治中期 (1883~97) 松浦玉圃作  
高9.0cm 口径7.1cm

175 焼き付け流水に鮎図ガラスコップ1口

明治後期 (1898~1912) 松浦玉圃作  
高10.6cm 口径6.6cm

176 焼き付け芙蓉図ガラスコップ1口

明治後期 (1898~1912) 松浦玉圃作  
高9.2cm 口径6.7cm

177 焼き付け梅樹図ガラスコップ3個

明治後期 (1898~1912) 松浦玉圃作  
高10.9cm 口径7.2cm

178 グラヴェール桜・紅葉・牡丹文金縁ガラスコップ6個

明治後期 (1898~1912)  
高8.7cm 口径6.0cm

179 グラヴェール羊歯文乳白縁ガラスコップ1口

明治後期 (1898~1912)  
高9.4cm 口径6.8cm

180 グラヴェール羊歯文金赤内被せ脚付ガラスコップ1口

明治後期 (1898~1912)  
高13.5cm 口径7.7cm

181 グラヴェール羊歯文淡緑乳白縁脚付ガラスコップ1口

明治後期 (1898~1912)  
高13.0cm 口径8.0cm

182 サンドブラスト葡萄文脚付ガラスコップ1口

明治後期 (1898~1912)  
高13.7cm 口径7.3cm

183 切子縞文ウラン黄色脚付ガラスコップ1口  
明治後期(1898~1912)  
高13.6cm 口径6.4cm

184 金赤縁脚付ガラスコップ(サファリンガラス)1口  
大正(1912~26)  
高12.5cm 口径8.5cm

185 型吹き玉簾文金赤縁脚付ガラスコップ1口  
大正~昭和初期(1912~35)  
高12.3cm 口径7.5cm

186 乳白透かし桜文蕾形脚付ガラスコップ1口  
大正~昭和初期(1912~35)  
高12.6cm 口径6.3cm

187 プレス花文青縁脚付ガラスコップ1口  
大正~昭和初期(1912~35)  
高10.6cm 口径7.4cm

188 乳白透かし松竹梅文ガラス鉢1口  
大正~昭和初期(1912~35)  
高6.5cm 口径16.0cm

189 乳白透かし菖蒲に蝶文青縁ガラス鉢1口  
大正~昭和初期(1912~35)  
高8.2cm 口径18.3cm

190 乳白透かし菖蒲に蝶文青縁隅入り角鉢1口  
大正~昭和初期(1912~35)  
高5.9cm 縦横12.5×12.5cm

191 乳白透かし古代文青縁ガラス小鉢1口  
大正~昭和初期(1912~35)  
高5.3cm 口径11.7cm

192 乳白透かし桜文金赤縁角形ガラス鉢1口  
大正~昭和初期(1912~35)  
高7.0cm 縦横13.0×13.0cm

193 乳白巻き金赤縁ガラス鉢1口  
大正~昭和初期(1912~35)  
高9.6cm 口径17.5cm

194 乳白透かし桜文金赤縁ガラス鉢1口  
大正~昭和初期(1912~35)  
高6.5cm 口径16.2cm

195 乳白透かし桜文金赤縁脚付ガラス広口コップ1口  
大正~昭和初期(1912~35)  
高8.3cm 口径12.3cm

196 乳白透かし鉤形文青縁脚付ガラス広口コップ1口  
大正~昭和初期(1912~35)  
高8.8cm 口径11.1cm

197 乳白透かし糸巻き文黒脚付ガラス広口コップ1口  
昭和初期(1926~35)  
高8.0cm 口径10.2

198 乳白透かし亀甲文黒脚付ガラス広口コップ1口  
昭和初期(1926~35)  
高8.3cm 口径9.8cm

199 乳白筋文金赤縁ガラス鉢1口  
大正~昭和初期(1912~35)  
高6.0cm 口径15.2cm

200 乳白透かし網文花縁ガラス鉢1口  
大正~昭和初期(1912~35)  
高6.6cm 口径16.6cm

201 乳白に緑被せ金赤縁ガラス鉢1口  
大正~昭和初期(1912~35)  
高7.6cm 口径15.6cm

202 乳白に青被せ金赤渦巻文ガラスコンポート1口  
大正~昭和初期(1912~35)  
高15.7cm 口径16.0cm

203 桃形吹雪文金赤縁ガラス鉢1口  
大正(1912~26)  
高5.8cm 長径15.2短径13.3cm

204 アラバスター乳白秋草文緑色ぼかしガラス徳利1本  
明治後期~大正(1898~1926)  
高16.1cm 底径6.2cm

205 アラバスター乳白秋草文青色ぼかしガラス徳利1本  
明治後期~大正(1898~1926)  
高15.7cm 底径5.8cm

206 象嵌梅花文ガラス氷入れ1口  
大正(1912~26)  
高13.7cm 口径12.0cm

207 グラヴェール羊歯文ガラス小皿5枚  
明治中期(1883~97)  
高2.6cm 径11.9cm

208 切子乳白被せ菊文ガラス小皿5枚  
大正~昭和初期(1912~35)  
高2.4cm 径12.4cm

208 (参考) 切子藍色被せ花卉文ガラス皿1枚  
昭和初期(1926~35)  
高2.7cm 口径25.0cm 個人蔵

209 切子銅赤被せ花枝文角形ガラス小皿5枚  
昭和初期(1926~35)  
高2.8cm 縦横12.5×12.5cm

210 切子籠目文ウラン黄色栓付ガラス瓶1点  
昭和初期(1926~35)  
総高28.2cm 胴径11.4cm

211 アイスクラックガラス氷入れ1口  
大正~昭和初期(1912~35)  
高11.8cm 口径11.8cm

---

212 結霜ガラス蓋物 1 合

昭和初期 (1926~35)  
総高9.2cm 口径15.2cm

---

213 セレン赤霜降りガラス蓋物 1 合

昭和初期 (1926~35)  
総高11.5cm 口径16.5cm

---

214 練り上げ手ガラス碗 5 個

昭和初期 (1926~35)  
高6.1cm 口径9.1cm

---

215 紫色丸彫り桃形ガラス硯 1 点

明治前期 (1868~82)  
高4.2cm 長16.9cm 幅14.8cm

---

216 山水文ガラス絵入り枕 1 点

江戸後期~明治前期 (1850~82)  
総高21.5cm 底面13.3×22.8cm

---

217 金赤内被せ罌縁ガラス花瓶 1 点

明治前期 (1868~82)  
高17.0cm 口径18.2cm

---

218 美人図ガラス絵入り扇子 1 本

明治前期 (1868~82)  
長31.8cm ガラス絵4.1×1.5cm

---

219 ガラス煙管 1 本

明治中期 (1883~97)  
長49.5cm

---

220 金魚形銅板入りガラス玉 1 点

明治中~後期 (1883~1912)  
径1.2cm

---

221 金魚形銅板入りガラス玉 1 点

明治中~後期 (1883~1912)  
径1.1cm

---

222 金赤内被せガラス信号燈 (部品) 1 点

明治中期 (1883~97)  
9.0×9.0cm

---

223 金赤毒薬用ガラス乳鉢 1 点

明治後期 (1898~1912)  
高4.6cm 口径9.0cm

---

224 ホクトメートル (比重計) 1 点

明治前期 (1868~82) 加賀屋熊崎安太郎製  
長17.8cm

---

225 寒暖計 1 点

明治中~後期 (1883~1912)  
総長45.6cm

---

226 シケーガラス (分液漏斗) 1 点

明治中期 (1883~97)  
長24.0cm 口径7.7cm

---

---

227 ガイスラー管 (真空放電管) 6 種

大正 6 年 (1917)  
(脚なし)最大長26.3cm (脚付)総高23.0cm

---

228 金赤縁水燭形ガラス金魚鉢 1 口

明治後期 (1898~1912)  
高14.7cm 口径17.0cm

---

229 グラヴェール松鶴文ランプ火舎 金赤油壺台ランプ 1 点

明治中~後期 (1883~1912)  
(火舎)高16.7cm, 胴径17.8cm (台)高47.9cm

---

230 グラヴェール草花に蝶文ランプ火舎 1 点

明治中~後期 (1883~1912)  
高16.8cm 胴径17.6cm

---

231 グラヴェール花卉に糸瓜文ランプ火舎 1 点

明治後期 (1898~1912)  
高16.9cm 胴径17.2cm

---

232 切子矢来文金赤縁吊りランプ笠 1 点

明治後期~大正 (1898~1926)  
高6.5cm 口径24.6cm

---

233 グラヴェール薔薇文金赤縁電気笠 1 点

明治後期~大正 (1898~1926)  
高8.5cm 口径20.0cm

---

234 乳白に金赤千筋文電気笠 1 点

明治後期~大正 (1898~1926)  
高9.9cm 口径19.1cm

---

235 腐食桜文金赤縁電気笠 1 点

大正 (1912~26)  
高12.0cm 口径19.4cm

---

236 ガラス粉融着朝顔文電気笠 1 点

大正~昭和初期 (1912~35)  
高10.5cm 口径19.6cm

---

237 切子乳白被せ文字入り電気笠 1 点

大正~昭和初期 (1912~35)  
高10.5cm 口径19.2cm

---

238 切子乳白に藍被せ花卉文ガラス花瓶 1 点

大正~昭和初期 (1912~35)  
高20.6cm 胴径20.5cm

---

239 多色吹雪文茸形ガラス電気スタンド 1 点

昭和初期 (1926~35)  
高28.3cm 傘胴径12.2cm

---

240 型吹き招き猫形ガラス瓶 1 点

昭和初期 (1926~35)  
高28.5cm 横幅17.6cm

---

241 葉鶏頭に蝶遊図ガラス絵 1 面

明治前期 (1868~82)  
外寸78.5×11.7cm ガラス絵74.0×7.4cm

---

242 滝に山中家屋図ガラス絵 1面  
明治前～中期 (1868～97)  
外寸58.4×25.5cm ガラス絵54.0×20.9cm

243 猫に鼠図石版画入り糸ガラス額 1面  
明治後期 (1898～1912)  
37.6×50.6cm

244 グラヴェール二見が浦文鏡 1面  
大正 (1912～26)  
額35.7×65.7cm 鏡29.2×59.8cm

245 グラヴェール旭日松鶴文鏡 1面  
大正 (1912～26)  
額35.5×65.8cm 鏡29.2×59.5cm

246 帆船に鷗文ステンドグラス 1面  
昭和初期 (1926～35)  
額32.8×134.3cm ガラス26.4×127.6cm

247 サンドブラスト鳥樹文ガラス窓 1面  
昭和初期 (1926～35)  
外寸46.0×123.2cm ガラス34.8×117.7cm

248 プレスウラン緑色ガラスナブキン立て 1点  
昭和10年 (1935)  
高14.4cm 口径最大23.1cm 口径最小9.4cm

249 加賀屋安太郎引札 1枚  
明治前期 (1868～82)  
24.8×33.9cm 紙本木版墨摺

250 熊崎安太郎 (加賀屋) 引札 1枚  
明治中期 (1883～97)  
24.7×33.2cm 紙本銅版墨摺

251 大隅源助引札 1枚  
明治前～中期 (1868～97)  
24.8×34.4cm 紙本木版墨摺

252 大阪硝子商工連合会出品図 1面  
明治後期 (1898～1912) 筆者不詳  
62.3×88.4cm 絹本著色



B2ポスター



図録

(3) 第73回特別展

平戸・松浦家名宝展 ―はるかなる千年の歴史―

・内 容／

松浦家は、平安時代の末に長崎県平戸市周辺の領主として記録に登場し、それから今日まで連綿と続いてきた旧家である。有名な松浦水軍を率いて源平合戦、元寇、南北朝の動乱を戦いぬき、桃山～江戸時代初期にかけては南蛮・オランダ貿易をおこない、平戸の黄金時代を築きあげた。また、江戸時代にはいっても学芸大名として知られる松浦清（静山）など、ユニークな人材を輩出し、明治にいたるまで平戸六万石の領地を守りぬいたことは特筆される。

同家に秘蔵されてきた文化財は、昭和三十年（1955）、平戸に設立された財団法人・松浦史料博物館において一般に公開され、現在にいたっている。

本展は、同館所蔵品中の名品125件に平戸市所蔵品などを加えた147件を紹介し、平戸以外の地ではじめて、平戸・松浦の悠久の歴史と文化を体系的に紹介したものであった。

・会 期／平成12年10月7日（土）～11月26日（日）

・会 場／特別展示室1・南蛮美術館室・特別展示室2

・主 催／神戸市立博物館・松浦史料博物館・朝日新聞社

・入 館 料／（当日・一般）800円

・開催日数／44日

・入館者数／16,985人

・出品点数／約190点

・記念講演会／会場 当館地階講堂

11月5日（日） 午後2時～

松浦家第41代・松浦章氏「平戸・松浦家の人と文化」

・関連事業（スライドレクチャー）／

会場 当館地階講堂

10月21日（土） 午後2時～

成澤勝嗣（当館学芸員）「松浦コレクションの異国趣味絵画を中心に」

11月11日（土） 午後2時～

川野憲一（当館学芸員）「松浦静山のコレクションと『甲子夜話』の世界」

・同時開催／ギャラリー 別車博資水彩画展 10月7日（土）～12月7日（木）



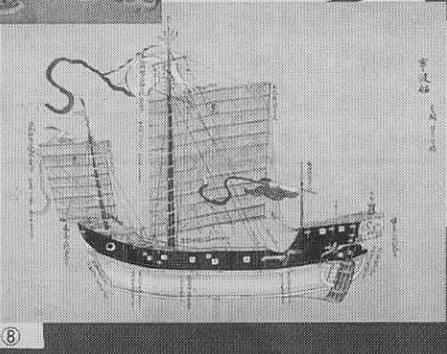
B2ポスター



図 録

松浦家名宝展

年々の歴史



- ①天球儀 1700年
- ②地球儀 1700年
- ③外国人之図 江戸時代前期
- ④桐葉紋敷唐草蒔絵十二手箱 江戸時代
- ⑤文殊菩薩絵像 鎌倉時代 (長崎県指定有形文化財)

- ⑥孔雀之図 江戸時代後期
- ⑦染付葎文水指 江戸時代前期
- ⑧唐船之図 江戸時代中期 (長崎県指定有形文化財)

九州の西北端に位置する平戸は、古くから海外交通の要地として栄えたところ。そして、この地には、長い歴史とともに歩んだパートナーが存在しました。それが、この展覧会の主役・松浦家の人々です。

松浦家の先祖は、かの有名な「源氏物語」の主人公・光源氏のモデルと言われる源融と伝えられます。また、大江山の酒吞童子退治で知られる渡辺綱も5代目の先祖とされます。

松浦家の人達が、その後、長い関係を築くことになる平戸の地にやってくるのは、約九百年前の松浦久の頃です。その後、彼らは平戸の地の利を生かした海外貿易を展開しました。また、国内では源平合戦、元寇、南北朝の動乱などに水軍を率いて参戦し、勇名をとどろかせました。

近世にはいと、それまでに培われた国際感覚を生かして、南蛮・オランダ貿易をおこない、平戸を国際的なミナト町としました。また、平戸六万石余の大名となった江戸時代には、優れた当主が多数、出現しました。29代・鎮信は武家茶として鎮信流茶道をつくりあげ、親交のあった山鹿素行の兵学を藩に導入しました。文武両道の家風をここにみることが出来ます。その他にも34代・静山は、大麥、広い方面に才能を発揮した人物として特に有名です。彼が20年間書き続けた『甲子夜話』は、江戸時代随筆の傑作と言われ、当時を知る上で欠かせない書物となっています。

本展覧会では(財)松浦史料博物館に秘蔵されてきたものを中心に、松浦家ゆかりの作品147件が、平戸以外の地ではじめて公開されます。このまたとない機会に、平戸からやってきた「モノ」にしかにふれて下さい。そして、平戸の「地」と松浦家の「人」が育んできた豊かな時間をそこから感じとっていただければ幸いです。

- 〈展覧会の構成〉
- I. 悠久千年
  - II. 海外交易
  - III. 文武典雅
    - a: 鎮信流の茶道
    - b: 山鹿流の軍学
    - c: 名画と銘品
    - d: 婚礼調度
  - IV. 松浦静山

記念講演会 於地階講堂  
11月5日(日) 午後2時から  
「平戸松浦家の人と文化」  
松浦家第41代・松浦章氏

関連講座(スライド・レクチャー)  
於地階講堂 午後2時から  
10/21(土)「松浦コレクションの異国趣味絵画を中心に」  
当館学芸員 成澤勝嗣  
11/11(土)「松浦静山のコレクションと『甲子夜話』の世界」  
当館学芸員 川野憲一

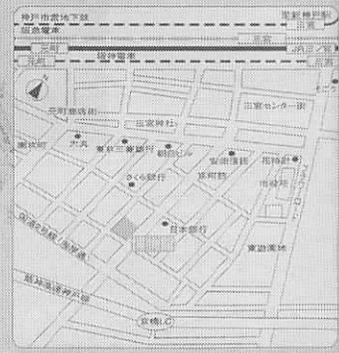
入館料

※団体は30名以上

	当日券	前売券	団体券
一般	800円	700円	600円
高・大生	550円	450円	400円
小・中生	300円	200円	150円

※65歳以上で神戸市または平戸市在住の方は400円  
●前売券発売所  
チケットぴあ・神戸市総合インフォメーションセンター・大丸神戸店・三宮ビブレMYCAL21・阪急プライカド・当館券売所など

テレホンサービス  
☎(078)332-7810  
当館で開催中の展覧会に関する情報をお伝えしています。



## 特別展 平戸・松浦家名宝展出品目録

◎は国指定重要文化財  
○は長崎県指定有形文化財

No.	資料名	時代	所蔵
I 悠久千年			
1	源氏松浦系図	江戸時代前期	松浦史料博物館
2	神系（大神宮並源氏系図）	天保三年（1832）	個人蔵
3	源融肖像	江戸時代後期	松浦史料博物館
4	○松浦家家紋入古旗	16世紀	松浦史料博物館
5	渡辺綱甲冑肖像	江戸時代後期	松浦史料博物館
6	蒙古襲来絵詞	江戸時代後期	松浦史料博物館
7	後醍醐天皇直垂		松浦史料博物館
8	足利尊氏下文	貞和元年（1345）	松浦史料博物館
9	松浦党一黨契諾状	江戸時代	松浦史料博物館
10	松浦義翁肖像	室町時代 [享保年間（1716～36）写]	松浦史料博物館
11	素懸紅糸威腹当	室町時代	松浦史料博物館
12	飾り梶葉紋	江戸時代	個人蔵
13	○船幟（伝八幡船の旗）	16世紀	松浦史料博物館
14	船幟	安土桃山時代	個人蔵
15	松浦隆信（道可）肖像	江戸時代後期	松浦史料博物館
16	団扇	室町時代	個人蔵
17	大内義隆書状	天文十一年（1542）	個人蔵
18	◎紺糸威肩白赤胴丸	室町時代	松浦史料博物館
19	織田信長書状	安土桃山時代	個人蔵
20	松浦鎮信（法印）肖像	安土桃山時代	松浦史料博物館
21	シャム国王宛松浦鎮信（法印）書状案	天正五年（1577）	松浦史料博物館
22	豊臣秀吉画像	享和元年（1801）	松浦史料博物館
23	○豊臣秀吉キリシタン禁制定書	天正十五年（1587）	松浦史料博物館
24	豊臣秀吉朱印状	天正十五年（1587）	松浦史料博物館
25	豊臣秀吉朱印状	天正十七年（1589）	松浦史料博物館
26	徳川家康出陣之図	江戸時代後期	松浦史料博物館
27	明軍兵器 兜	16世紀	松浦史料博物館
28	明軍兵器 唐太鼓	16世紀	松浦史料博物館
29	明軍兵器 喇叭	16世紀	松浦史料博物館
30	徳川家康朱印状	慶長五年（1600）	松浦史料博物館
31	領地之目録	寛文四年（1664）	松浦史料博物館
32	伊能図・平戸島図	文政五年（1822）	松浦史料博物館
33	伊能図・九州全図	文政五年（1822）	松浦史料博物館
34	平戸城分間図	延享三年（1746）	松浦史料博物館
35	平戸六町図（複製）	1978年 [原本寛政四年（1792）]	松浦史料博物館
36	東海道並船路図	江戸時代	松浦史料博物館
37	関船模型	江戸時代	松浦史料博物館
38	清水寺画扁大名行列図	江戸時代	松浦史料博物館
39	英国王（ジェームズ一世）銅版肖像画	江戸時代	個人蔵
40	刀盛吉	室町時代	平戸市振興公社（平戸城）
41	太刀 土肥真了	宝暦三年（1753）	平戸市振興公社（平戸城）
42	欠番		
43	脇差 土肥真了	貞享二年（1685）	平戸市振興公社（平戸城）
44	太刀 廣次	江戸時代	亀岡神社
45	脇差 廣次	江戸時代	亀岡神社
46	刀 七代土肥真了	天保三年（1832）	個人蔵
47	金象嵌心字文鐔	江戸時代	平戸市振興公社（平戸城）
48	金象嵌雲龍文鐔	江戸時代	平戸市振興公社（平戸城）
49	方形鐔	江戸時代	平戸市振興公社（平戸城）

50	唐獅子図二所物	江戸時代	平戸市振興公社（平戸城）
51	雲龍図縁・頭	江戸時代	平戸市振興公社（平戸城）
<b>II 海外交易</b>			
52	伝 オランダ船舶首飾木像	慶長十四年(1609)～寛永十七年(1640)	松浦史料博物館
53	外国人之図	江戸時代前期	松浦史料博物館
54	○原城攻囲陣營並城中図	江戸時代前期	松浦史料博物館
55	長崎図	寛政三年（1791）	松浦史料博物館
56	○在長崎日蘭貿易絵巻	江戸時代後期	松浦史料博物館
57	地球儀	1700年	松浦史料博物館
58	天球儀	1700年	松浦史料博物館
59	○蛮錨図並関係文書	天明二年（1782）	松浦史料博物館
60	『新增書目』 外篇蛮国	江戸時代後期	松浦史料博物館
61	楽歳堂旧蔵洋書挿絵銅版画	1645・1646年	個人蔵
62	『外科全書』	1627年	松浦史料博物館
63	『デザルグ氏の透視図法及び測量技術』	1664年	松浦史料博物館
64	『日本誌』	1733年	松浦史料博物館
65	『顕花植物図譜』	1736年	松浦史料博物館
66	『字義的・実践の聖書釈義』	1741年	松浦史料博物館
67	オランダ焼鉢	17世紀	松浦史料博物館
68	ギヤマン	江戸時代	松浦史料博物館
69	○在長崎日清貿易絵巻	江戸時代後期	松浦史料博物館
70	○唐船之図	江戸時代	松浦史料博物館
71	外国船具	江戸時代	松浦史料博物館
<b>III a 鎮信流</b>			
72	松浦鎮信（天祥）肖像	江戸時代後期	松浦史料博物館
73	蝸牛七不思議	江戸時代前期	松浦史料博物館
74	『茶湯由来記』	江戸時代	松浦史料博物館
75	二重切懸花入	江戸時代前期	松浦史料博物館
76	茶杓 共筒	江戸時代	松浦史料博物館
77	松浦茶入	江戸時代前期	松浦史料博物館
78	如猿水滴茶入	江戸時代前期	松浦史料博物館
79	伊良保茶碗	江戸時代前期	松浦史料博物館
80	山吹井戸茶碗	李朝時代	松浦史料博物館
81	染付葦文水指	江戸時代前期	松浦史料博物館
82	鎮信流真台子飾	江戸時代	松浦史料博物館
<b>III b 山鹿流</b>			
83	山鹿素行肖像	江戸時代後期	松浦史料博物館
84	『帥鑑抄』	江戸時代	松浦史料博物館
85	白地幾何学鋸歯文更紗陣羽織（伝山鹿素行着用）	江戸時代	松浦史料博物館
86	山鹿流陣太鼓	江戸時代	松浦史料博物館
87	山鹿流備立図	寛政十年（1798）	松浦史料博物館
88	鳴門茶碗	江戸時代	松浦史料博物館
<b>III c 名画銘品</b>			
89	御所人形（十二支人形）	天保七年（1836）	松浦史料博物館
90	○文殊菩薩絵像	鎌倉時代	松浦史料博物館
91	狂獅子図屏風	江戸時代前期	松浦史料博物館
92	杭州四季風俗図	江戸時代後期	松浦史料博物館
93	孔雀之図	江戸時代後期	松浦史料博物館
94	簾燕散蒔絵源氏筆筥	江戸時代	松浦史料博物館
95	源氏物語絵図屏風	江戸時代	松浦史料博物館
96	海老香炉	江戸時代	松浦史料博物館
97	山水螺鈿中央卓	江戸時代	松浦史料博物館
98	三味線	江戸時代後期	松浦史料博物館

99	尺八	江戸時代	松浦史料博物館
100	一重切竹筒形龜花入	江戸時代前期	松浦史料博物館
101	染付秋草文徳利	江戸時代	松浦史料博物館
102	白磁広口花瓶	江戸時代	松浦史料博物館
103	染付松樹長形広口花瓶	江戸時代	松浦史料博物館
<b>III d 婚礼調度</b>			
104	梶葉三星紋菊唐草蒔絵貝桶・貝合	江戸時代	松浦史料博物館
105	梶波紋散菊唐草蒔絵十二手箱	江戸時代	松浦史料博物館
106	姿見、梅鉢紋散蒔絵鏡建・鏡箱	江戸時代後期	松浦史料博物館
107	梅鉢紋散牡丹唐草蒔絵鬘台	江戸時代後期	松浦史料博物館
108	梅鉢紋散牡丹唐草蒔絵耳盥・輪台 (付属渡金・菌黒次・童子)	江戸時代後期	松浦史料博物館
109	花鳥山水蒔絵煙草盆	江戸時代	松浦史料博物館
110	三星梶葉紋散桐唐草蒔絵本膳	江戸時代	松浦史料博物館
111	梶葉紋蒔絵食籠	江戸時代	個人蔵
112	葉菊青山銭紋散花亀甲蒔絵女乗物	江戸時代後期	松浦史料博物館
113	雲文散蒔絵鞘大小拵	江戸時代	松浦史料博物館
114	火事装束	江戸時代後期	松浦史料博物館
<b>IV 松浦静山</b>			
115	三勇像	天保十一年 (1840)	松浦史料博物館
116	『甲子夜話』	文政四年 (1821) ~ 天保十二年 (1841)	松浦史料博物館
117	久昌夫人十一条教訓	安永四年 (1775)	松浦史料博物館
118	丸系図	江戸時代後期	松浦史料博物館
119	○資始具足	江戸時代前期	松浦史料博物館
120	○大哉具足	江戸時代前期	松浦史料博物館
121	心形刀流免状	文化二年 (1805)	松浦史料博物館
122	伊庭八郎治呈書	文化八年 (1811)	松浦史料博物館
123	青貝地三星紋鞍	天文九年 (1540)	松浦史料博物館
124	栗鶉文蒔絵鞍	応永初年 (1390年代)	松浦史料博物館
125	青貝地梶葉紋馬柄杓	江戸時代後期	松浦史料博物館
126	節竹鞭	江戸時代後期	松浦史料博物館
127	黄表紙	江戸時代後期	松浦史料博物館
128	『川柳応問集』	天保八年 (1837)	松浦史料博物館
129	『大小賀歳旦』	江戸時代後期	松浦史料博物館
130	竹筒袋	江戸時代後期	松浦史料博物館
131	絵ノ聯	江戸時代後期	松浦史料博物館
132	河太郎図	江戸時代後期	松浦史料博物館
133	宮本武蔵像	文政十年 (1827)	松浦史料博物館
134	禁裡荒海障子図	江戸時代後期	松浦史料博物館
135	英彦山大権現松会之図	江戸時代後期	松浦史料博物館
136	猿兔競騎之図	文政二年 (1819)	松浦史料博物館
137	長篠・小牧長久手合戦図屏風	江戸時代後期	松浦史料博物館
138	蝦夷図像	江戸時代後期	松浦史料博物館
139	蝦夷弓	江戸時代後期	松浦史料博物館
140	蝦夷矢	江戸時代後期	松浦史料博物館
141	太宰府旧陞瓦	江戸時代収集	松浦史料博物館
142	都府楼古瓦	江戸時代収集	松浦史料博物館
143	清洲城廢陞瓦	江戸時代収集	松浦史料博物館
144	尾州国分寺旧陞瓦	江戸時代収集	松浦史料博物館
145	濃州不破関旧陞瓦	江戸時代収集	松浦史料博物館
146	伏見城廢陞瓦	江戸時代収集	松浦史料博物館
147	『新古瓦譜』	江戸時代後期	松浦史料博物館

(4) 第74回特別展

大古墳展 —ヤマト王権と古墳の鏡—

・内 容／

3世紀から7世紀まで、大小さまざまな古墳が築かれた時代、ヤマト王権は鏡、石製品、甲冑、馬具などを権威のシンボルとしました。古墳に納められたそれらの品々は、当時の王権のあり方を知るための重要な手掛かりとなります。

本展では、初期ヤマト王権の実態を解明する手掛かりの一つとして注目される奈良県黒塚古墳から出土した33面の三角縁神獸鏡、ならびに大量の三角縁神獸鏡が出土した京都府椿井大塚山古墳の出土鏡合わせて60面あまりが一堂に会しました。これらの鏡はいわゆる「卑弥呼の鏡」にあたるかどうかをめぐって、議論が繰り広げられている謎の鏡です。また近年の出土で話題となった奈良県ホケノ山古墳出土鏡や島の山古墳出土の大量の石製品など、近畿の代表的な前・中・後期の古墳から出土した一級品の展示を行いました。会期中の河上邦彦氏による講演会『ホケノ山古墳で邪馬台国大和説は証明されるか』には定員の2倍近くの参加者が集まり、邪馬台国論争への関心の高さがあらためて証明されました。

また神戸会場では特に黒塚古墳や椿井大塚山古墳出土の三角縁神獸鏡と関連の深い西求女塚古墳出土鏡などヤマト王権と地理的に近い神戸の古墳資料も比較展示しました。

日本における古墳調査と研究に大きな役割を果たしてきた京都大学と橿原考古学研究所の代表的な資料が初めて同時陳列される展覧会であり、古代国家成立の過程を考古学の立場からアプローチする有意義な展覧会となりました。

- ・会 期／平成13年2月7日（水）～3月25日（日）
- ・会 場／特別展示室1、南蛮美術館室、特別展示室2
- ・主 催／神戸市立博物館・京都大学総合博物館・奈良県立橿原考古学研究所附属博物館・神戸新聞社
- ・後 援／サンテレビジョン・AM神戸
- ・協 賛／東京海上
- ・入 館 料／（当日・一般） 1,000円
- ・開館日数／41日間
- ・入場者数／16,572人（404人／日）
- ・出品点数／約900点
- ・記念講演会／2月10日（土） 当館地階講堂 午後2時～  
河上邦彦氏（奈良県立橿原考古学研究所調査研究部長）  
『ホケノ山古墳で邪馬台国大和説は証明されるか』
- ・同時開催／参考展示 『神戸の古墳展』  
平成13年2月7日（水）～3月25日（日）  
ギャラリー 神戸ゆかりの芸術家たち展Ⅱ  
平成13年2月7日（水）～3月31日（土）

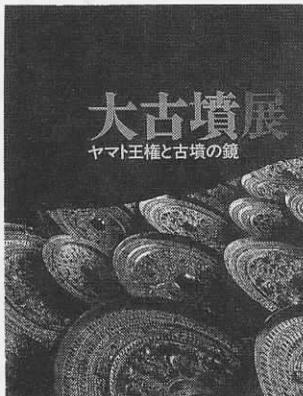


図 録



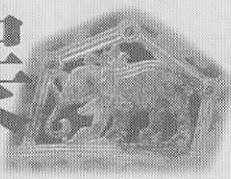
B2ポスター



神戸の古墳展リーフレット

# 大古墳展

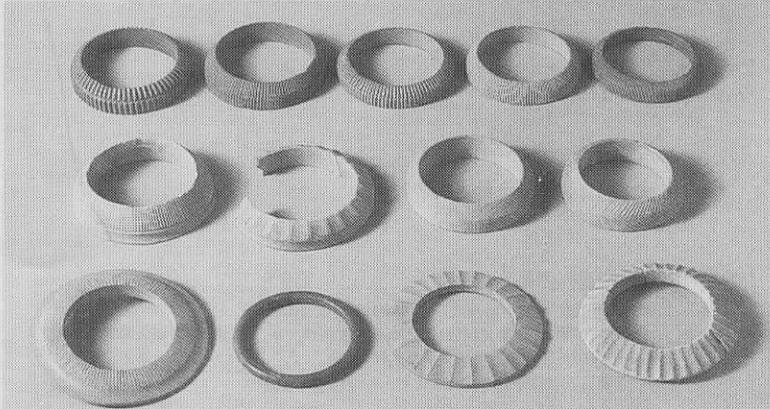
## ヤマト王権と古墳の鏡



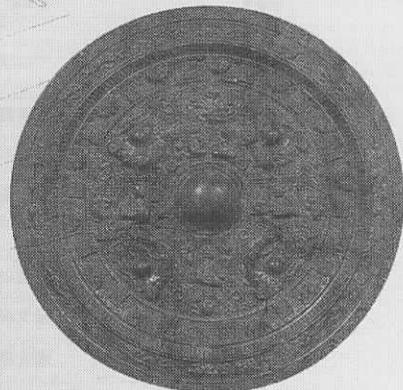
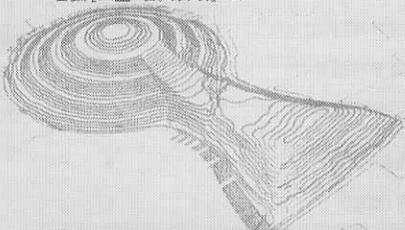
3世紀から7世紀まで、大小さまざまな古墳が築かれた時代、ヤマト王権は鏡、石製品、甲冑、馬具などの器物を権威のシンボルとしました。古墳に納められたそれらの品々は、当時の王権の在り方を知るための重要な手がかりとなります。

本展でもっとも注目されるのは、大発見として日本中の話題を集めた奈良県黒塚古墳、京都府椿井大塚山古墳出土の三角縁神獸鏡あわせて60面あまりが初めて一堂に集まることです。1つの古墳から30余面もの三角縁神獸鏡が出土した例は、他に類を見ません。また、この鏡はいわゆる「卑弥呼の鏡」にあたるかどうかをめぐって、熱い議論が繰り広げられている謎の鏡でもあります。そのほか、奈良県ホケノ山古墳の出土鏡や、奈良県島の山古墳・三重県石山古墳から出土した大量の石製品をはじめとして、金銀のきらびやかな装飾品、さまざまな埴輪、須恵器など、古墳時代各時期の一級資料を展示します。

古墳の調査と研究に大きな役割を果たしてきた、京都大学と橿原考古学研究所の代表的な資料が同時に並ぶのは初めての機会となります。ヤマト王権の主要な古墳の遺物が紹介される本展により、古墳とその時代への理解を深めていただければ幸いです。



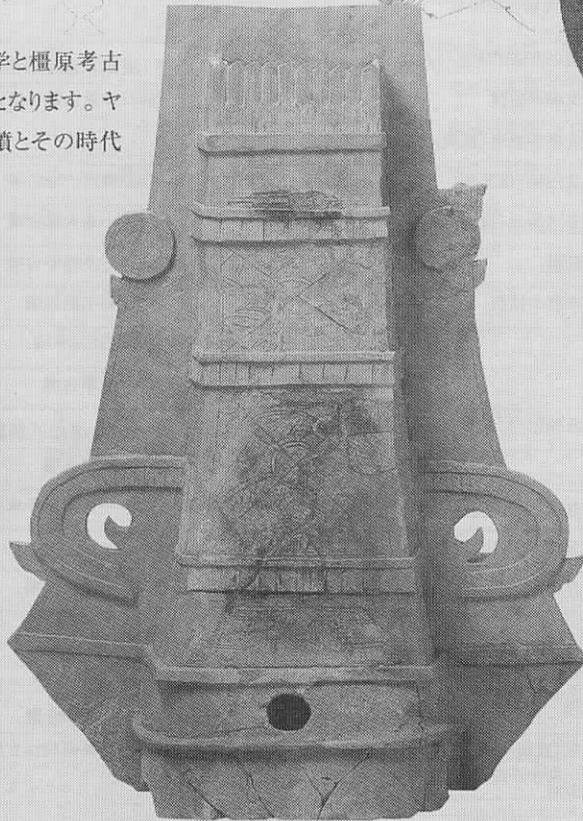
石鏡【三重・石山古墳】 A



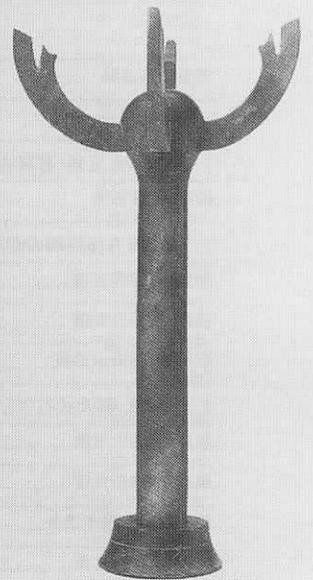
画文帯神獸鏡【奈良・ホケノ山古墳】 B



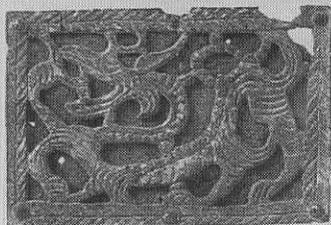
椅子にすわる男【奈良・石見遺跡】 B



靱形埴輪【三重・石山古墳】 A



玉杖形石製品【三重・石山古墳】 A



帯金具【京都・穀塚古墳】 A

所蔵先—A(京都大学総合博物館) B(奈良県立橿原考古学研究所附属博物館)



蕨葉形杏葉【奈良・藤ノ木古墳】 文化庁



勾玉【奈良・新沢500号墳】 B

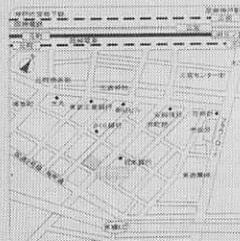
## 神戸市立博物館

併設展

神戸ゆかりの芸術家たち展Ⅱ

テレホンサービス(078)332-7810

当館で開催中の展覧会に関する  
情報をお伝えしています。



## 大古墳展展示品リスト

### 凡例

1. 展示品は、会場の都合により変更される可能性がある。
2. 所蔵・保管の「橿原」は奈良県立橿原考古学研究所、「京大」は京都大学総合博物館、「當麻町」は當麻町教育委員会の略である。
3. 遺物名の前の◎印は重要文化財をあらわす。

古墳名	遺物名	員数	所蔵・保管
<b>I ヤマト王権の成立</b>			
<b>1. 最初の都 纏向</b>			
奈良・纏向遺跡	土師器	20	橿原
	舟形木製品(複製)	1	//
	木製高杯(複製)	1	//
<b>2. 前方後円墳の出現</b>			
奈良・ホケノ山古墳	石囲い木柵の模型(1/10)	1	橿原
	画文帯神獸鏡	1	//
	画文帯神獸鏡(複製)	1	//
奈良・纏向石塚古墳	弧文円板(復元品)	1	橿原
	鶏形木製品(複製)	1	//
	土師器	5	//
参考 楽浪郡	木柵墓の模型	1	京大
<b>II 前期の王墓</b>			
<b>1. 最初の大王墓 箸墓古墳</b>			
奈良・箸墓古墳	墳丘模型(1/300)	1	橿原
<b>2. 大型前方後円墳の変遷</b>			
奈良・西殿塚古墳	墳丘模型(1/300)	1	橿原
奈良・行燈山古墳	墳丘模型(1/300)	1	橿原
奈良・渋谷向山古墳	墳丘模型(1/300)	1	橿原
<b>3. 王の棺 竪穴式石室と木棺</b>			
奈良・下池山古墳	木棺	1	橿原
奈良・天神山古墳	木棺	1	橿原
伝 奈良・天理市渋谷	石枕(複製)	1	橿原
京都・産土山古墳	埴製枕	1	京大
<b>III 王権と鏡</b>			
<b>1. 橿井大塚山古墳と黒塚古墳</b>			
京都・橿井大塚山古墳	◎三角縁神獸鏡	30	京大
	◎内行花文鏡	1	//
	◎画文帯神獸鏡	1	//
	◎方格規矩四神鏡	1	//
	◎小札冑	1	//
	◎鉄製冠(冑)	1	//
	◎鉄刀	1	//
	◎銅鏃	8	//
	◎鉄鏃	10	//

古墳名	遺物名	員数	所蔵・保管
	◎鉄鎌	2	//
	◎鉄斧	2	//
	◎刀子	2	//
	◎釣針	1	//
奈良・黒塚古墳	三角縁神獸鏡	33	文化庁
	画文帯神獸鏡	1	//
	甲冑の小札	30	//
	鉄刀	1	//
	鉄剣	1	//
	鉄鏃	10	//
<b>2. 前期古墳出土の中国鏡</b>			
福岡・一貴山銚子塚古墳	内行花文鏡	1	京大
	方格規矩四神鏡(鍍金鏡)	1	//
京都・寺戸大塚古墳	獸帯鏡	1	京大
奈良・小泉大塚古墳	内行花文鏡	1	橿原
京都・一本松塚古墳	獸帯鏡	1	京大
京都・石不動古墳	画文帯同向式神獸鏡	1	京大
京都・西山4号墳	画文帯神獸鏡	1	京大
京都・箱塚古墳	画文帯四獸鏡	1	京大
<b>3. いろいろな三角縁神獸鏡</b>			
兵庫・森尾古墳	正始元年銘三角縁神獸鏡	1	京大
福岡・一貴山銚子塚古墳	三角縁神獸鏡	2	京大
<b>4. 日本製の鏡</b>			
奈良・下池山古墳	内行花文鏡	1	橿原
奈良・行燈山古墳	銅板(復元品)	1	橿原
	銅板(拓本)	1	長岳寺
<b>IV 王権の象徴</b>			
奈良・桜井茶臼山古墳	玉杖	2	橿原
	玉葉	2	//
	欽形石	1	//
	車輪石	1	//
	石釧	1	//
	銅鏃	2	//
	鉄鏃	5	//
奈良・メスリ山古墳	玉杖	2	橿原
	椅子形石製品	1	//
	椅子形石製品(復元品)	1	//
	石釧	5	//
	大管玉	5	//
	銅鏃	40	//

古墳名	遺物名	員数	所蔵・保管
	石製鏃	10	//
	復元矢	10	//
	鉄斧	5	//
	鉈	5	//
	刀子	5	//
	手鎌	5	//
大阪・紫金山古墳	方格規矩四神鏡	1	京大
	三角縁神獸鏡	2	//
	勾玉文帯神獸鏡	1	//
	勾玉	2	//
	管玉	3	//
	筒形銅器	1	//
	鍬形石	1	//
滋賀・安土瓢箪山古墳	夔鳳鏡	1	京大
	二神二獸鏡	1	//
	鍬形石	1	//
	車輪石	1	//
	石釧	2	//
	筒形銅器	1	//
	銅鏃	6	//
	鉄鎌	2	//
	鉄斧	1	//
	鉈	1	//
	刀子	1	//
	Y字形鉄製品	1	//
奈良・新沢500号墳	三角縁神獸鏡	1	橿原
	方格規矩鏡	2	//
	内行花文鏡	2	//
	八ツ手葉形銅製品	1	//
	玉杖	3	//
	石製埴	1	//
	車輪石	2	//
	勾玉	8	//
	管玉	3連	//
	筒形銅器	2	//
	鉄槍先	3	//
	鉄斧	5	//
	鉈	5	//
	刀子	5	//
	鍬先	5	//

古墳名	遺物名	員数	所蔵・保管
	鉄鎌	5	//
	勾玉	10	//
三重・石山古墳	勾玉・管玉	一連	京大
	玉杖形石製品	1	//
	紡錘車形石製品	8	//
	琴柱形石製品	22	//
	鍬形石	10	//
	車輪石	10	//
	石釧	13	//
	刀子形石製品	20	//
	斧形石製品	20	//
	鉈形石製品	1	//
	鑿形石製品	2	//
	鎌形石製品	3	//
	石製鏃	2	//
奈良・島の山古墳	◎ 獸形鏡	3	文化庁
	◎ 鍬形石	10	//
	◎ 車輪石	10	//
	◎ 石釧	10	//
	◎ 石製合子	1	//
	◎ 首飾りの玉	一連	//

## V 巨大古墳と技術革新の時代

### 1. 海をこえた交流

京都・ニゴレ古墳	船形埴輪	1	京大
奈良・慈光院裏山古墳	船形埴輪	1	橿原
京都・敷塚古墳	金銅製龍文帯金具	一式	京大
大阪・長持山古墳	金銅製龍文帯金具	一括	京大
愛知・志段味大塚古墳	帯金具	5	京大
奈良・掖上籬子塚古墳	金銅製帯金具	3	個人
奈良・新沢109号墳	金製垂飾付耳飾り	1	橿原
	三環鈴	1	//
	画文帯神獸鏡	1	//
広島・西酒屋高塚古墳	画文帯神獸鏡	1	京大
参考 新山古墳	金銅製龍文帯金具(復元品)	一式	橿原
伝 中国出土	金銅製龍文帯金具	一式	京大

### 2. 鍛冶生産

京都・八幡大塚古墳	鉄鋌	6	京大
奈良・高山1号墳	鉄鋌	7	橿原
奈良・南郷遺跡群	鉄滓	一括	橿原
	フイゴ羽口	1	//

古墳名	遺物名	員数	所蔵・保管
	鍛造剣片	一括	//
	韓式系土器 甗	1	//
奈良・巨勢山境谷4号墳	鉄鎚・鉄鉗・鑿・鉄床	4	橿原

### 3. 鉄製の甲冑と武器

兵庫・雲部車塚古墳	冑	1	京大
	冑(模造品)	2	//
	頭甲(模造品)	1	//
大阪・長持山古墳	衝角付冑	1	京大
大阪・西小山古墳	金銅装眉庇付冑(復元品)	1	京大
愛知・志段味大塚古墳	挂甲の小札	20	京大
奈良・新沢508号墳	短甲	1	橿原
奈良・新沢115号墳	衝角付冑	1	橿原
	短甲	1	//
奈良・後出古墳群	短甲	2	橿原

### 4. 初期の騎馬文化

大阪・七観古墳	輪鍔	2	京大
	鉄製轡	1	//
	鞍金具(鉸帯)	1	//
	辻金具	1	//
	鉸具	2	//
奈良・ウワナベ5号墳	輪鍔	1	橿原
	輪鍔(復元品)	一式	//
大阪・長持山古墳	剣菱形杏葉	3	京大
奈良・石光山8号墳	鞍飾り金具	2	橿原
	花卉形杏葉	3	//
京都・穀塚古墳	鈴杏葉	1	京大
	鈴	2	//
愛知・志段味大塚古墳	鈴杏葉	3	京大
	鈴付鏡板	1	//
	三環鈴	1	//
	輪鍔	1	//
横須賀市蓼原	埴輪 飾り馬	1	京大

## VI 埴輪のまつり

### 1. 古墳の聖域をまわる

奈良・メスリ山古墳	大型円筒埴輪	1	橿原
	大型円筒埴輪(復元品)	1	//
	円筒埴輪	1	//
	高杯形埴輪	1	//
三重・石山古墳	緒付円筒埴輪	1	京大
	家形埴輪	2	//

古墳名	遺物名	員数	所蔵・保管
	団形埴輪	1	//
	靱形埴輪	1	//
	キヌガサ形埴輪	1	//
	盾形埴輪	1	//
	短甲形埴輪	1	//
	ついたて形埴輪	1	//
	鳥形埴輪	4	//
奈良・宮山古墳	靱形埴輪	1	橿原
	冑・盾形埴輪	1	//
京都・ニゴレ古墳	甲冑形埴輪	1	京大
	椅子形埴輪	1	//
奈良・歌姫1号横穴	家形埴輪	1	橿原
奈良・石光山20号墳	家形埴輪	2	橿原

### 2. 儀礼の表現

奈良・四条1号墳	盛装した男(頭部)	1	橿原
	弓を持つ男(頭部)	1	//
	力士(頭部)	1	//
	盛装した男の足	1	//
	力士の足	1	//
	飾り馬	1	//
	見返りの鹿	1	//
奈良・掖上罐子塚古墳	鶏	1	橿原
奈良・領家山古墳	鶏(頭部)	1	橿原
奈良・石見遺跡	椅子にすわる男	1	橿原
大阪・大山古墳付近	馬(頭部)	1	京大

### 3. 木の埴輪

奈良・四条1号墳	鳥形木製品	1	橿原
	儀仗形木製品	1	//
	笠形木製品	5	//
	さしば形木製品	1	//
奈良・石見遺跡	鳥形木製品(複製)	1	橿原
	笠形木製品	2	//

### 4. 集落のまつり

奈良・南郷大東遺跡	導水施設の木樋	3	橿原
-----------	---------	---	----

## VII 後期古墳の時代

### 1. 有力豪族の台頭

滋賀・鴨稻荷山古墳	切子玉	6	京大
	楕円形杏葉	6	//
	楕円形鏡板付轡	1	//
	鞍金具	2	//

古墳名	遺物名	員数	所蔵・保管
	雲珠	2	//
	辻金具	4	//
	須恵器	6	//
大阪・南塚古墳	鐘形杏葉	4	京大
	円形飾り金具	4	//
	馬鈴	3	//
	須恵器	7	//
奈良・平林古墳	画文帯仏獣鏡	1	當麻町
	楕円形鏡板付轡	1	//
	心葉形杏葉	2	橿原
	須恵器	一括	//
奈良・三里古墳	鐘形杏葉	3	橿原
	雲珠	1	//
	辻金具	2	//
奈良・藤ノ木古墳	◎画文帯神獣鏡	1	文化庁
	◎獣帯鏡	1	//
	◎仿製神獣鏡	1	//
	◎獣形鏡	1	//
	◎金銅製魚佩	3	//
	◎棘葉形杏葉	2	//
	◎步搖付飾り金具	2	//
	◎龍文飾り金具	2	//
	◎鐘形杏葉	2	//
	◎銀製鍍金空玉	30	//
	◎須恵器	10	//
	鞍金具(複製)	2	橿原
	金銅製冠(復元品)	1	//
	金銅製履(復元品)	1	//
	金銅製大帯(復元品)	1	//
	金銅製筒形品(復元品)	1	//
	織物(復元品)	一括	//
	ガラス玉(復元品)	一括	//
	飾り剣(復元品)	1	//
	円頭大刀(復元品)	1	//
参考 新羅・飾履塚	金銅製履(複製)	1	京大

#### VIII 飛鳥時代の古墳

奈良・石舞台古墳	横穴式石室の模型	1	京大
	須恵器	9	//
	土師器	2	//
	石製紡錘車	1	//

古墳名	遺物名	員数	所蔵・保管
	金具	3	//
奈良・高松塚古墳	海獣葡萄鏡(複製)	1	橿原
	銀製刀装具(複製)	一括	//
	棺飾り金具(複製)	一括	//
参考 高句麗・四神塚	壁画墓の模型	1	京大

#### IX 古墳の調査と研究のあゆみ

(ビデオ・写真パネルなどで構成)

神戸の古墳展出品目録

古墳・遺跡名	遺物名	員数	備考
灘区・西求女塚古墳	1号鏡 (半肉彫獣帯鏡)	1面	※
	2号鏡 (三角縁吾作四神四獣鏡)	1面	※
	3号鏡 (三角縁吾作三神五獣鏡)	1面	※
	4号鏡 (三角縁吾作三神四獣鏡)	1面	※
	5号鏡 (三角縁陳是作五神四獣鏡)	1面	※
	6号鏡 (画文帯環状乳神獣鏡)	1面	※
	7号鏡 (神人龍虎画像鏡)	1面	※
	8号鏡 (三角縁吾作四神四獣鏡)	1面	※
	9号鏡 (三角縁吾作徐州銘四神四獣鏡)	1面	※
	10号鏡 (三角縁吾作三神五獣鏡)	1面	※
	11号鏡 (画文帯環状乳神獣鏡)	1面	※
	12号鏡 (半肉彫獣帯鏡)	1面	※
	小札	1点	
	鉄剣	3口	
	鉄鍬	11点	
	有袋鉄斧	1口	
	板状鉄斧	2口	
	ヤス	1本	
	大型鑿状鉄器	1口	
	槍先・短剣	1本	
紡錘車形石製品	1箇		
小型丸底壺	3箇		
鼓形器台	2箇		
二重口縁スタンプ文土器	4点		
東灘区・処女塚古墳	スタンプ文壺形土器	1点	
	滑石製勾玉	1点	
東灘区・東求女塚古墳	三角縁唐草文帯四神四獣鏡 (複製)	1点	☆
	車輪石 (複製)	1点	☆
西区・天王山5号墳	箱式石棺	1点	
西区・高津橋大塚古墳	盾形埴輪	1点	
	巫女形埴輪	1点	
	振文鏡	1面	
	滑石製勾玉	2箇	
	滑石製管玉	1連	
滑石製白玉	1連		
西区・中村古墳群第5号墳	鹿角装大刀	1口	★
	鉄製帯金具	7点	
垂水区・五色塚古墳	鱗付円筒埴輪	1点	
	鱗付朝顔形埴輪	1点	
	子持勾玉 (複製)	2点	
東灘区・住吉東古墳	人物埴輪頭部	1点	
	鉄刀	1点	
	鉄鍬	1点	
東灘区・住吉宮町遺跡	鉄鍬 (第9次)	5点	
	入れ墨のある人物埴輪 (第24次)	1点	
	馬形埴輪 (第24次)	1点	
	鉄刀 (第24次)	1口	
	鉄刀 (第31次)	1口	

※西求女塚古墳出土銅鏡は劣化防止のため、会期中に複製品と入れ替えることがあります。

☆神戸市立博物館蔵 (原品：東京国立博物館蔵)

★神戸市立博物館保管 その他のものは神戸市教育委員会蔵



神戸市立博物館

〒650-0034 神戸市中央区京町24番地  
TEL (078)391-0035(代)

## 2 企画展

### (1) 南蛮紅毛美術企画展示

旧南蛮美術館、および本館収集の資料を中心に、テーマを設定した企画展示を行う。

展覧会名	会期	内容
渡辺鶴洲と長崎の御用絵師	6月10日(土)～ 7月9日(日)	江戸時代後期、長崎奉行所につかえる唐絵目利・渡辺鶴洲が残した粉本(絵手本)を中心に、歴代の唐絵目利たちの作品を展示。その系譜をたどりながら、異国を対象とする彼らの御用内容を分類して展示した。
南蛮美術名品展	7月20日(木)～ 9月10日(日)	平成12年4月21日に重要文化財指定が答申された聖フランシスコ・ザヴィエル像を平成10年度の科学的調査の報告とともに指定後初公開。その他、池長孟コレクションの名品を中心に、南蛮絵画や工芸品を展示。
西洋への憧憬 —江戸時代の洋風画と 異国趣味の工芸—	12月9日(土)～ 1月28日(日)	鎖国下に蘭船が齎した情報や貿易品は、江戸時代の人々の西洋への憧憬をかきたて、蘭学や洋風画、異国趣味の工芸品などに結実した。初出品、最新の情報を交えた関係資料127点を展示。



「渡辺鶴洲と長崎の御用絵師」展  
B2ポスター



「西洋への憧憬」展  
B2ポスター

# 渡辺鶴洲と長崎の御用絵師 出品目録

\*は渡辺鶴洲家襲蔵粉本

## □ 逸然なる明人渡来して長崎に画壇の開けしこと

- |              |                      |       |     |      |
|--------------|----------------------|-------|-----|------|
| 1. 観音・布袋・寒山図 | 隠元・木庵・即非賛 寛文2年(1662) | 逸然性融筆 | 3幅対 | 絹本著色 |
| 2. 羅漢渡水図     | 寛文7年(1667)隠元序・木庵跋    | 逸然性融筆 | 1巻  | 絹本著色 |

## □ 奉行の命ありて唐絵目利の職務はじまりし時分のこと

- |               |                  |        |    |       |
|---------------|------------------|--------|----|-------|
| 3. 渡辺秀石像*     |                  | 作者不詳   | 1幅 | 紙本著色  |
| 4. 南極老子図      |                  | 渡辺秀石筆  | 1幅 | 絹本墨画  |
| 5. 隠元隆琦像      | 享保18年(1733)宝航元濟賛 | 渡辺秀石筆  | 1幅 | 紙本著色  |
| 6. 石榴白頭翁図     | 林道栄賛             | 渡辺秀石筆  | 1幅 | 絹本著色  |
| 7. 春菴了諾・萬如衍一像 | 春菴自賛・萬如書         | 作者不詳   | 1幅 | 紙本著色★ |
| 8. 大黒天とねずみ図   | 寛保元年(1741)       | 渡辺春菴筆  | 1幅 | 紙本墨画★ |
| 9. 諸葛孔明陣中図    |                  | 小原慶山筆  | 1幅 | 絹本著色  |
| 10. 渡唐天神像     |                  | 小原慶山筆  | 1幅 | 紙本墨画  |
| 11. 鷲図*       |                  | 小原慶山筆  | 1幅 | 紙本淡彩  |
| 12. 虎図*       |                  | 小原慶山筆  | 1幅 | 紙本淡彩  |
| 13. 松に鶴図      |                  | 小原巴山筆  | 1幅 | 絹本著色  |
| 14. 小禽捕虫図*    |                  | 上杉桂翁筆  | 1枚 | 紙本墨画  |
| 15. 双雉図*      |                  | 上杉九郎次筆 | 1枚 | 紙本墨画  |

## □ 長崎にては異国をまちかに見るがごときこと

- |                |     |           |    |      |
|----------------|-----|-----------|----|------|
| 16. 蘭船図        |     | 荒木元慶筆     | 1幅 | 紙本著色 |
| 17. 蘭船図        |     | 石崎元章筆     | 1幅 | 紙本著色 |
| 18. 金銀満載図〔蘭船図〕 | 安涛題 | 広渡湖秀筆     | 1幅 | 紙本著色 |
| 19. 唐船図        |     | 広渡湖秀筆     | 1幅 | 紙本著色 |
| 20. 紅毛人図       |     | 松井元仲(初代)筆 | 1幅 | 紙本著色 |
| 21. 西洋婦人図      |     | 荒木君臈筆     | 1幅 | 紙本著色 |
| 22. 長崎唐館交易図巻   |     | 渡辺秀詮筆     | 1巻 | 絹本著色 |

## □ 異国の珍獣あまた長崎へ渡来して人目を驚かすこと

- |           |  |       |      |      |
|-----------|--|-------|------|------|
| 23. 来禽図巻  |  | 小原慶山筆 | 1巻   | 絹本著色 |
| 24. 来禽図屏風 |  | 荒木元慶筆 | 6曲1双 | 紙本著色 |

25. 鳥類写生図巻 (粉本)		渡辺鶴洲筆	2巻	紙本著色
26. 瀟湘図 [おしどり]	文政7年(1824)	石崎融思筆	1枚	紙本著色
27. 青音呼図		石崎融思筆	1枚	紙本著色
28. 海舶来禽図彙	寛政2年(1790)序	関盈文編・北尾政美画		
		渡辺秀詮原図	1帖	木版色摺
29. 象図	文化10年(1813)賛	伝石崎融思筆	1幅	絹本著色★
30. 象図		渡辺鶴洲筆	1幅	絹本著色
31. 象図*	文政2年(1819)	渡辺鶴洲筆	1幅	紙本墨画
32. 象図	文化10年(1813)刊	完斎散人編・董烈画		
		渡辺鶴洲原図	1枚	木版色摺
33. 番鬱金図	天保15年(1844)刊	野田青霞・石崎融思識		
		石崎融濟画	1枚	木版色摺
34. 拾骨考	嘉永3年(1850)刊	野田青霞編	1冊	木版色摺

### □ 長崎へ伝聞せし異国の学問知識ただちに人々を益するべきこと

35. 十二国人物図 [万国人物図]		作者不詳	1巻	紙本著色
36. 外科手術図巻	寛政2年(1790)	吉雄耕牛跋 伝荒木如元筆	1巻	紙本著色

### □ 世の移ろいにて唐絵目利の画風しだいに変質せしこと

37. 水亭囲碁図		荒木元融筆	1幅	紙本淡彩
38. 天保九如図	弘化2年(1845)自賛	石崎融思筆	1幅	紙本著色
39. 花鳥図		石崎融濟筆	1幅	紙本著色
40. 長崎芸妓図		荒木君瞻筆	1幅	絹本著色
41. 福田湖山像	天保14年(1843)湖山自賛・福田順書	荒木千洲筆	1幅	絹本著色
42. 長崎芸妓図		松井慶仲筆	1幅	絹本著色

### □ 唐絵目利は日々これ研鑽にはげみて御用に備えあるべきこと—渡辺鶴洲の場合—

43. 孔子像		渡辺鶴洲筆	1幅	紙本著色
44. 双鶴図		渡辺鶴洲筆	1幅	絹本著色
45. 天台雁塘図*	文化3年(1806)	渡辺鶴洲筆	1巻	紙本淡彩
46. 唐美人図*	文化5年(1808)	渡辺鶴洲筆	1枚	紙本淡彩
47. 群仙星祭図*	文化12年(1815)	渡辺鶴洲筆	1幅	紙本墨画
48. 三仙図*	文化15年(1818)	伝顔輝原図	1幅	紙本淡彩
49. 三聖図*	文化15年(1818)	鄭顛仙原図	1幅	紙本淡彩
50. 岩石図 [西王母]*	文化15年(1818)	姜隱原図	1幅	紙本淡彩
51. 王羲之書扇図*	文化15年(1818)	渡辺鶴洲筆	1幅	紙本淡彩

52. 王羲之換鷲図	文政元年(1818)		渡辺鶴洲筆	1幅	絹本淡彩
53. 昇龍図〔馬師皇〕*	文政2年(1819)		渡辺鶴洲筆	1幅	紙本淡彩
54. 樹下鹿図*	文政4年(1821)	沈南蘋 <small>しんなんびん</small> 原図	渡辺鶴洲筆	1幅	紙本淡彩
55. 中国故事人物図(粉本)	文政4年(1821)		渡辺鶴洲筆	8枚のうち	紙本淡彩
56. 三陽開泰図*	文政5年(1822)	沈南蘋原図	渡辺鶴洲筆	1幅	紙本淡彩
57. 双鶴図*	文政5年(1822)	沈南蘋原図	渡辺鶴洲筆	1幅	紙本淡彩
58. 稲に雀図*	文政5年(1822)	渡辺秀石原図	渡辺鶴洲筆	1幅	紙本淡彩
59. 一品朝天図*	文政6年(1823)	沈南蘋原図	渡辺鶴洲筆	1幅	紙本淡彩
60. 靈桃双鹿図*	文政6年(1823)	熊斐 <small>ゆうひ</small> 原図	渡辺鶴洲筆	1幅	紙本墨画
61. 老松図*	文政6年(1823)	沈南蘋原図	渡辺鶴洲筆	1幅	紙本淡彩
62. 菊図*	文政6年(1823)	熊斐原図	渡辺鶴洲筆	1幅	紙本墨画
63. 黄甲伝臚図*	文政7年(1824)	沈南蘋原図	渡辺鶴洲筆	1幅	紙本淡彩
64. 海鶴遐齡図*	文政11年(1828)	沈天驥原図	渡辺鶴洲筆	1幅	紙本淡彩
65. 籬に菊図〔福濟寺杉戸絵〕*			渡辺鶴洲筆	2幅	紙本淡彩
66. 羅漢図*			渡辺鶴洲筆	1幅	紙本墨画
67. 漁楽図*		月儂 <small>げっせん</small> 原図	渡辺鶴洲筆	1幅	紙本淡彩
68. 春深古棧図*	文政7年(1824)		渡辺秀乾 <small>しゅうけん</small> 筆	1幅	紙本淡彩
69. 蓮池図*	文政8年(1825)		渡辺秀乾筆	1幅	紙本淡彩
(参考) 南天に万年青図* 〔福濟寺書院次の間〕	嘉永2年(1849)		木下士光筆	1幅	紙本著色

★は個人コレクション。それ以外は当館所蔵品。



聖フランシスコ・ザヴィエル像

文化財保護審議会は平成12年4月21日に「聖フランシスコ・ザヴィエル像」を重要文化財に指定するよう答申しました。ザヴィエル像は教科書などに掲載され、一般の方にもなじみ深い資料ですが、厳しい弾圧を経て伝世した江戸時代初期の数少ない聖画として重要です。重要文化財に指定後、当館において名品展が初の公開となります。

ザヴィエル像は、キリシタン大名・高山右近の旧領、千提寺(せんだいじ、現在の茨木市)の山中の旧邸に伝わった「開けずの櫃(ひつ)」に隠されていましたが、大正9年(1920)の京都大学の調査によって「マリア十五玄義図」などとともに発見されました。その後、昭和10年(1935)に池長孟氏が入手、昭和26年(1951)に池長コレクションが神戸市に委譲され、以後、神戸市(神戸市立博物館)が所蔵しています。

# 南蛮美術名品展 出品目録

※は個人コレクション

## 南蛮のパトロン

桃山時代、南蛮ブームの火つけ役となったのは2人の天下人・織田信長（1534～1582）と豊臣秀吉（1536～1598）でした。信長は伝統文化の束縛をきらい、南蛮ものを愛好するとともに、キリスト教にも厚い保護を加えています。また秀吉は、天正15年（1587）に宣教師追放令を出し、キリスト教こそ禁止の姿勢をとりましたが、貿易の方は従来どおりという方針でした。世俗的な南蛮文化が爆発的な流行を見せるのは、まさにこの秀吉時代のことなのです。

- |                 |                  |      |   |   |
|-----------------|------------------|------|---|---|
| 1. 織田信長像(重要文化財) | 天正11年(1583)古溪宗陳賛 | 桃山時代 | 1 | 幅 |
| 2. 豊臣秀吉像        |                  | 桃山時代 | 1 | 幅 |

## 南蛮屏風と南蛮風俗画

桃山時代は、風俗画——現実の人間生活を主題とする絵画——が流行した時代ですが、中でも西洋人の渡来、交易の様子を描いた南蛮屏風は、珍奇で未知の風俗を楽しめる画題として喜ばれました。これらが発見されるのは、主に港町の豪商の家からで、水運業を営む市民層でとりわけ愛好されたことがわかります。のちに南蛮屏風は、南蛮船イコール宝船、南蛮人は福の神、というような現世利益を願う俗信仰に支えられ、縁起ものとして鎖国後も描き続けられました。

- |                |       |        |         |   |
|----------------|-------|--------|---------|---|
| 3. 都の南蛮寺図      | 狩野宗秀筆 | 桃山時代   | 1       | 面 |
| 4. 南蛮屏風(重要文化財) | 狩野内膳筆 | 桃山時代   | 6曲1双    |   |
| 5. 南蛮屏風        |       | 江戸時代初期 | 6曲1双    |   |
| 6. 花下群舞図(左隻)   |       | 桃山時代   | 6曲1双のうち |   |
| 7. 万国人物図       |       | 江戸時代初期 | 3帖のうち   |   |

## 初期洋風画

天文18年（1549）イエズス会士ザヴィエルの来日以降、日本にもセミナリオやコレジオといったカトリックの学校が作られ、油絵の技法や遠近法、陰影法のような西洋の写実的表現が、初めて日本に伝えられました。礼拝用の聖画はキリスト教弾圧の中でほとんど失われ、わずかし

か残っていませんが、信仰に直接関係のない世俗画は、大名などへの贈呈用だったと思われ、まとまって残されています。また、のちには17のように、西洋の技法で日本の伝統画題に取り組む画家も現われました。

8. 聖フランシスコ・ザヴィエル像（重要文化財）		江戸時代初期	1	面
9. イエズス会布教誌	ニコラ・トリゴ著	1615年	1	冊
10. 泰西王侯騎馬図（重要文化財）		江戸時代初期	4	曲1隻
11. 四都図・世界図（重要文化財）		江戸時代初期	8	曲1双
12. 世界都市図帳	G.ブラウン & F.ホーヘンベルフ	1572~1618年	6	巻3冊
13. 水車のある西洋風俗図※		江戸時代初期	6	曲1隻
14. 出陣図		江戸時代初期	2	曲1隻
15. 師父二童子図・西洋二武人図	伝信方筆	江戸時代初期	2	面
16. 老人読書図※	伝信方筆	江戸時代初期	1	面
17. 達磨図	元禄15年（1702）雪村道香賛	江戸時代初期	1	幅

## 南蛮意匠の工芸

南蛮屏風に散りばめられている異国の風俗は、絵画ばかりでなく、より身近に日常生活で用いる工芸品の中にも登場しました。南蛮人や洋犬、鉄砲、かるたなどの南蛮モチーフ、あるいは縞、水玉など西洋風の幾何学文様が、異国風デザインとして器物を飾ったのです。その代表的なものは馬具や文房具といった漆工芸品ですが、陶器や服飾、金工品のジャンルにも、その影響は及んでいます。

18. 蒔絵南蛮人文鞍		慶長9年（1604）	1	背
19. 象嵌南蛮人に永楽通宝銭鏡		桃山~江戸時代初期	1	対
20. 蒔絵南蛮人洋犬文硯箱		桃山~江戸時代初期	1	合
21. 蒔絵鉄砲文大鼓胴		桃山~江戸時代初期	1	個
22. 黒織部杵形茶碗		桃山時代	1	口
23. 天正かるた版木重箱		桃山~江戸時代初期	1	合
24. 南蛮人喫煙図柄鏡		江戸時代初期	1	面
25. 南蛮人散策図柄鏡		江戸時代初期	1	面
26. 南蛮人散策図八稜鏡		江戸時代	1	面

## 輸出漆器

漆器しつきは東洋独特の工芸品としてヨーロッパで人気を集めました。桃山時代には、来日した宣教師や商人らの注文によって数多くの外国向け漆器が作られ、海を渡ったのです。器形には西洋のデザインを基調とした上に、秋草など日本的な文様ほどこを施ほどこしており、東西文化の美しい融合が見られます。光り輝く螺鈿らでん（夜光貝やアワビなどの貝片を薄く磨すってはめこむ技法）の多用も、国内向けには見られない輸出用漆器の特色です。

27. 蒔絵螺鈿花樹島獣洋櫃 <small>らでん ようびつ</small>		江戸時代初期	1合
28. 貝貼り書筆笥 <small>しよたんす</small>		江戸時代初期	1点
29. 蒔絵螺鈿鮫皮貼り住吉社図鞍袋形洋箱 <small>さめがわ くらぶくろがた</small>		江戸時代初期	1合
30. 貝貼り小櫃	インド製か	17世紀頃	1合

## キリシタン関係資料

31. 教会祝日曆 <small>きょうかいしほくじつれき</small>	銅版画は船載品 <small>はくさい</small>	16世紀後半～17世紀初期	1面
32. キリスト磔刑図聖牌 <small>たつけい せいはい</small> （片面 神の仔羊図）	銅版画は船載品	16世紀後半～17世紀初期	1点
33. 十字架を担うキリスト図聖牌 <small>にま</small>	銅版画は船載品	16世紀後半～17世紀初期	1点
34. 聖者像聖牌 <small>せいしやうせいはい</small> （片面 聖フランシスコ、片面 聖ドミニクスガ）	銅版画は船載品	16世紀後半～17世紀初期	1点
35. キリスト答刑図聖牌 <small>ちがい</small>	銅版画は日本製	16世紀後半～17世紀初期	1点
36. IHS文赤地布製聖牌	江戸時代に船載	16世紀後半～17世紀初期	1点
37. 荊冠のキリスト像聖牌 <small>けいがん</small>	江戸時代に船載	16世紀後半～17世紀初期	1点
38. 象牙彫幼児キリスト像 <small>ぞうげほり</small>	江戸時代に船載	16世紀後半～17世紀初期	1点
39. ロザリオ（木製、ガラス製）各種	江戸時代に船載	16世紀後半～17世紀初期	
40. メダイ各種	江戸時代に船載	16世紀後半～17世紀初期	

No. 5 と No. 6 は 1 階ホールに展示しています。

# 西洋への憧憬 出品目録

## I 異国への窓口

### ○日本の中の西洋

1 蘭船図	文政 5 年(1822)	江芸蘭賛	石崎融思筆	1 幅	紙本著色
2 ブロンホフ家族図	文化 14 年(1817)		石崎融思筆	1 幅	紙本著色
3 長崎港図			川原慶賀筆	1 面	絹本著色
4 長崎港図・ブロンホフ家族図			川原慶賀筆	1 基	絹本著色
5 ドゥーフ像	享和 3 年(1803)銘			1 面	紙本著色
6 長崎蘭館図			伝渡辺秀石筆	1 巻	紙本著色
7 唐蘭館図巻	天保 14 年(1843)		高川文筌筆	1 巻	紙本著色
8 和蘭船中図	安政 3 年(1856)		城義隣筆	1 幅	紙本著色
9 長崎出島図				1 幅	紙本淡彩

### ○長崎の洋風画

10 花籠と蝶図・花鳥の阿蘭陀風景図			若杉五十八筆	2 面	紙本著色
11 瀬海都城図			荒木如元筆	1 面	布地油彩
12 異国風景人物図			神有隣筆	1 幅	紙本著色
13 紅毛ボンポコボン			西苔棠筆	1 幅	紙本著色

## II 洋風表現の先駆け

### ○異才の人・平賀源内

14 西洋婦人図			平賀源内筆	1 面	布地油彩
15 美人と黄金図			Gaseo 筆	1 面	紙本油彩
16 物類品臚	宝暦 13 年(1763)刊		平賀源内編	6 冊	木版
17 ドドネウス本草図譜 蘭語版	1608 年 ライデン刊		R. ドドネウス著	1 冊	挿図木版
18 ヨンストン動物図譜 蘭語版	1660 年 アムステルダム刊		J. ヨンストン著	1 冊	挿図銅版
19 アンボイナ奇品室 蘭語版	1705 年 アムステルダム刊		G. E. ルンフィウス著	1 冊	挿図銅版
20 飛た噂の評	安永 7 年(1778)序		平賀源内著	1 冊	木版
21 天狗髯 體鑑定縁起	安永 5 年(1776)		平賀源内著	1 冊	木版
22 緑釉日本地図角形皿			志度薫(源内焼)	1 枚	

### ○阿蘭陀通詞と源内

23 諸雑書集	安永～寛政年間		本木良永、正栄他	1 冊	手書
24 限象観星鏡図面記録	寛政 4 年(1792)		本木良永	6 点の内	手書筆彩
25 候象図集			本木良永	1 冊	手書
26 星学原始之書 蘭語版	1771 年 アムステルダム刊		G. アダムス著	1 冊	挿図銅版

### ○秋田蘭画

27 大画法書 蘭語版	1740 年 ハーレム刊		G. デ・ライレッセ著	1 冊	挿図銅版
28 椿に文鳥図			佐竹曙山筆	1 幅	絹本著色
29 燕子花にハサミ図			佐竹曙山筆	1 幅	絹本著色
30 蓮図			小田野直武筆	1 幅	絹本著色
31 唐美人			伝小田野直武筆	1 幅	絹本著色
32 解体新書	安永 3 年(1774)刊		杉田玄白訳・小田野直武画	5 冊	木版
33 ビドロー人体解剖書 蘭語版	1728 年 ユトレヒト刊		ビドロー著・ライレッセ原画	1 冊	挿図銅版
34 桜図			佐竹義躬筆	1 幅	絹本著色
35 紅毛童子図			田代忠国筆	1 幅	絹本著色

## III 江戸の洋風画

36 反射式のぞき眼鏡	天明 7 年(1787)頃		司馬江漢製	1 基	
37 三田景	天明 3 年(1783)		司馬江漢画	1 面	銅版筆彩
38 異国風景人物図			司馬江漢筆	双幅	絹本油彩
39 異国工場図			司馬江漢筆	1 幅	絹本淡彩
40 和蘭通船	文化 2 年(1805)刊		司馬江漢著	2 冊	木版
41 史的年代記 独語版	1743 年頃 フランクフルト刊		J. L. ゴットフリート著	1 冊	挿図銅版

42 京城画苑	文化 11 年(1814)刊	司馬江漢画	1 帖	木版
43 人間の職業の鏡		ヤン・ラウケン画	3 枚	銅版
44 相州鎌倉七里浜図 (重要文化財)	寛政 8 年(1796)	司馬江漢筆	2 曲 1 隻	紙本油彩
45 天球全図のうち 4 種	寛政 8 年(1796)序	司馬江漢画		銅版筆彩・木版
以頭微鏡観虫類図、以頭微鏡観雪花図、太陽真形図、月輪真形図				
46 地下世界 羅語版	1665 年 アムステルダム刊	キルヒャー著	2 冊	挿図銅版
47 紅毛雑話	天明 7 年(1787)刊	森島中良著	1 冊	木版墨摺
48 ヘイステル像		北山寒巖筆	1 幅	絹本著色
49 万国新話	寛政 12 年(1800)刊	森島中良編	5 冊	木版墨摺
50 紅毛婦人図		石川大浪筆	1 幅	絹本淡彩
51 獅子図	文化 2 年(1805)	石川大浪筆	1 面	絹本淡彩
52 イソップ物語 仏語版	1810 年頃刊		1 冊	挿図銅版
53 鶯録	文化 11 年(1814)	大槻玄沢著	3 冊	木版
54 蘭碗摘芳	文化 14 年(1817)刊	大槻玄沢著	3 冊	木版
55 ヒポクラテス像	文化 7 年(1810)賛	酒井抱一筆	1 幅	絹本著色
56 ファン・ロイエン筆花鳥図模写		谷文晁筆	1 幅	紙本著色
57 画図百華鳥	享保 14 年(1729)	藤原守範画	1 冊	木版
58 花鳥図			2 面	絹本油彩
59 蘭画写生図	文化 10 年(1813)	亜欧堂田善筆	1 幅	紙本墨画
60 今戸瓦焼図		亜欧堂田善筆	1 幅	絹本油彩
61 大日本金龍山之図		亜欧堂田善画	1 面	銅版筆彩
62 洋人曳馬と地球儀図・コロンブス謁見図		亜欧堂田善画	1 幅	銅版
63 トルコ馬の馬飾・馬の諸種	1752 年 アウグスブルク刊	J. E. リーディンガー	1 冊	挿図銅版
64 ナポレオン像		安田雷州筆	1 幅	絹本著色
65 日本橋図		伝安田雷州筆	1 面	絹本著色
66 三田雪景図		安田田駒筆	1 面	絹本著色
67 虫合戦図		春木南溟筆	1 幅	絹本著色

#### IV 洋風表現の浮世絵

##### ○蘭書と浮世絵

68 浮絵アルマニヤ珍薬物集之図		歌川豊春画	1 枚	木版色摺
69 阿蘭陀フランスカノ伽藍之図		歌川豊春画	1 枚	木版色摺
70 忠臣蔵十一段目夜討之景		歌川国芳画	1 枚	木版色摺
71 二十四孝童子鑑 董永		歌川国芳画	1 枚	木版色摺
72 二十四孝童子鑑 郭巨		歌川国芳画	1 枚	木版色摺
73 羅徳島湊紅毛船入津之図		歌川国虎画	1 枚	木版色摺
74 新板阿蘭陀浮画 欧羅巴洲石造供木星人形		歌川国長画	1 枚	木版色摺
75 新板阿蘭陀浮画 楽徳海嶋銅人巨像		歌川国長画	1 枚	木版色摺

##### ○阿蘭陀趣味の浮世絵

76 紅毛男女額絵		蹄齋北馬画	1 枚	木版色摺
77 三都之内 大坂正田唐物		魚屋北溪画	1 枚	木版色摺
78 おみらんだかがみ		溪齋英泉画	1 枚	木版色摺
79 紅毛油画名所盡 不忍池弁天		歌川国貞画	1 枚	木版色摺
80 風流無くてななくせ		葛飾北斎画	1 面	木版色摺
81 江戸日本橋ヨリ富士ヲ見ル図		溪齋英泉画	1 枚	木版色摺
82 六玉川の内 高野の玉川		鈴木春信画	1 面	木版色摺
83 ヨーロッパ製反射式のぞき眼鏡・ヨーロッパ製眼鏡絵			2 点	銅版筆彩

#### V 異国趣味の工芸

##### ○舶載の染織品と金唐革

84 更紗尽し掛物	インド更紗-17~18 世紀		1 幅	
85 白地草花縞文様更紗下着	ヨーロッパ更紗-19 世紀		1 領	

86	亀甲に六稜星文縫合更紗下着	ヨーロッパ更紗—19世紀		1領
87	黄地形附草花文様羅紗陣羽織	羅紗—19世紀		1領
88	装剣奇賞	天明元年(1781)	稲葉通龍著	7冊 木版
89	金唐革障泥	金唐革—18世紀		1双
90	金唐革望遠鏡	金唐革—18世紀		1本
○阿蘭陀趣味の日本製ガラス				
91	グラヴェールV.O.C.マーク入り吊り行灯		長崎製か	1点
92	グラヴェールにガラス絵望遠鏡		長崎製か	1点
○オランダ船でヨーロッパへ運ばれた漆器・磁器				
93	蒔絵楼閣山水文筆筒		京都製	1基
94	蒔絵ドガーバンク海戦図プラーク 寛政4年(1792)		長崎か京都製	1面
95	蒔絵カディス海戦図プラーク 寛政4年(1792)		長崎か京都製	1面
96	蒔絵青貝細工ヴィクトル・モロー肖像図プラーク		長崎か京都製	1点
97	青貝細工花鳥図筆筒		長崎製	1点
98	青貝細工花鳥文机		長崎製	1基
99	色絵花木に楼閣文碗皿	17世紀後期～18世紀初期	有田窯(受皿の1枚はウィーン窯の後補)	2点
○ヨーロッパから舶載されたガラス器				
100	カットガラス栓付ガラス瓶	19世紀初期	イギリス製	1点
101	金彩花卉文栓付ガラス瓶・脚付ガラス杯揃い	18～19世紀前期	オランダ製か	1式
102	グラヴェール栓付ガラス瓶	文政元年(1818)箱書	イギリス製	1合
103	カットガラス皿付蓋物	19世紀初期	イギリス製	1合
104	グラヴェール洋文字に花卉文脚付ガラス杯	弘化3年(1846)箱書	イギリス製	1点
105	カットガラス栓付瓶	19世紀中—後期	イギリス製	3点
106	金彩花卉文ガラスコップ	19世紀初期	オランダ製か	5口
107	カットガラス手付水注	19世紀初期	イギリス製	1点
108	カットガラス小皿	19世紀初期	イギリス製	8枚
109	金彩緑色葡萄文脚付ガラス杯	19世紀中—後期	イギリスかアメリカ製	4点
110	カットガラス金彩皿付蓋物	19世紀初期	イギリス製	1合
111	緑色・赤紫色ガラス碗	19世紀中期	イギリス製	4口
112	カットガラス金彩藍色鉢	19世紀中期	イギリス製	1口
113	カットガラス金彩藍色碗	19世紀中期	イギリス製	1口
114	カットガラス金赤脚付杯	19世紀中期	イギリスかフランス製	1点
115	プレスガラス各種 藍・紫・緑(大・小)	19世紀中期	イギリス製	4枚
○オランダ・イギリスの輸入陶器				
116	染付牛のいる西洋風景図大皿(PLAISANCE)	1860年頃	オランダ・マーストリヒト窯	1枚
117	色絵挿花文手付大皿(PERSIAN)	1860年頃	オランダ・マーストリヒト窯	1枚
118	染付薔薇文手付大皿(AUROREA)	1860年頃	オランダ・マーストリヒト窯	1枚
119	染付中東風景図長円形大皿(HONC)	1860年頃	オランダ・マーストリヒト窯	1枚
120	染付花瓶のある西洋風景図大皿(PALMIRE)	1860年頃	オランダ・マーストリヒト窯	1枚
121	紫絵西洋人舞踏図大皿(DANCING)	1860年頃	オランダ・マーストリヒト窯	1枚
122	染付花卉文長円形大皿	1840年頃	イギリス・ダベンポート窯	1枚
123	染付花卉文大皿	1840年頃	イギリス・ダベンポート窯	1枚
○阿蘭陀趣味の日本の陶磁器				
124	染付阿蘭陀人文皿		有田窯	5枚
125	染付阿蘭陀人文猪口		有田窯	5口
126	染付遠眼鏡に阿蘭陀人文皿		有田窯	1枚
127	色絵異国風景図段重		京都製	1点

## (2) 古地図企画展示

本館の古地図資料の中心をなす南波コレクション・秋岡コレクションに加え、本館収集の古地図をもとにテーマを設定した企画展示を行う。

展覧会名	会期	内容
館蔵古地図名品展	6月10日(土)～ 7月9日(日)	わが国屈指の質量を誇る古地図コレクションの中から、江戸時代の日本地図や世界地図を展示し、祖先が描いてきた国土や世界の姿をたどった。また、日本列島を描く西洋製地図から、ヨーロッパの人々の日本観を探った。
描かれた中国	12月9日(土)～ 1月28日(日)	日本やヨーロッパで作られた中国図を展示し、中国の姿をどのように捉えていたのかを探った。ヨーロッパ人は位置関係や地形表現の正確さに、日本人は歴史的故事や名所旧跡に重点を置いている。

## 館蔵古地図名品展 出品目録

資料名	作者等	時代	版種	寸法(cm)
〔世界図〕				
1. 天竺之図		寛延2年(1749)	手書手彩	167.0×133.2
2. うちわ型仏教系世界図		宝永年間(1704～11)頃	手書手彩	150.8×155.5
3. 坤輿万国全図屏風		江戸時代前期	手書手彩	167.5×379.1
4. 万国総図・世界人形図		(慶安5年(1652))	木版手彩	65.4×40.8(世界図) 65.3×41.3(人形図)
5. 万国総界図	石川流宣	貞享5年(1688)	木版手彩	126.9×57.7
6. 坤輿全図(8幅一組)	南 懐仁 (F.フェルビースト)	康熙13年(1674)	木版手彩	188.0×411.2
7. 地球万国山海輿地全図説	長久保赤水	18世紀末	木版手彩	104.0×153.0
8. 万国図(「新增万国地名考」付)	中山武成	安永8年(1779)	手書手彩	99.1×199.2
9. 地球図	司馬江漢	寛政4年(1792)	銅版手彩	55.4×86.4
10. 新訂万国全図	高橋景保	文化7年(1810)	銅版手彩	114.8×197.7
11. 北極中心世界地図	小佐井道豪	天保8年(1837)	手書手彩	155.3×157.0
12. 大輿地球儀	沼尻墨僊	安政2年(1855)	木版手彩	径23.0
〔日本図〕				
13. 嘉元3年日本図(原品京都仁和寺蔵)		江戸時代写図	手書手彩	38.5×134.4
14. 日本地図屏風		安土桃山時代	手書手彩	59.9×123.8
15. 行基菩薩説大日本国図		江戸時代初期	木版	80.4×42.3
16. 大日本国地震之図	さうしや九兵衛	江戸時代初期	木版	39.8×27.0
17. 扶桑国都水陸地理図(六曲一隻)		江戸時代初期	手書手彩	131.4×182.4
18. 本朝図鑑綱目	石川流宣	貞享4年(1687)	木版手彩	59.9×92.5
19. 日本海山潮陸図	石川流宣	元禄4年(1691)	木版手彩	97.0×168.1

資料名	作者等	時代	版種	寸法(cm)
20. 改正日本輿地路程全図	長久保赤水	安永8年(1779)	木版手彩	83.2×134.3
21. 日本輿地図彙	伊能忠敬	文化6年(1809)	手書手彩	120.5×204.0
〔その他地図〕				
22. 新板摂津大坂東西南北町嶋之図		寛政2年(1790)模写 原本明暦元年(1655)刊	手書手彩	122.1×78.5
23. 新改洛陽并洛外之図		明暦3年(1657)	木版	116.2×73.6
24. 新板武州江戸之図	河野道清	寛文4年(1664)	木版手彩	82.5×121.4
25. 唐船来朝図(長崎図)		江戸時代前期	木版手彩	64.0×94.0
26. 東海道分間絵図(五帖)	遠近道印	元禄16年(1703)	木版	26.5×14.9
27. 西国街道絵巻		江戸時代中期	手書手彩	33.4×845.4
28. 高野山細見絵図 上、下	橋 保春	文化10年(1813)	手書手彩	128.2×177.8(上) 128.4×177.0(下)
29. 大清広輿図	長久保赤水	天明5年(1785)	木版手彩	185.8×190.9
〔デザインとしての地図等〕				
30. 源内焼日本図皿		江戸時代中期	志度窯(讃岐)	31.5×31.5
31. 源内焼世界図皿(南北アメリカ図皿、 ユーラシア・アフリカ図皿)		江戸時代中期	志度窯(讃岐)	径37.0(アメリカ図) 径37.8(ユーラシア図)
32. 伊万里焼日本図皿		日本文政年製	有田窯(肥前)	27.3×30.3
33. 伊万里焼日本図皿(鶴に方位盤)		本朝天保年製	有田窯(肥前)	径48.3
34. 伊万里焼日本図皿		本朝天保年製	有田窯(肥前)	39.2×45.9
35. 羽子板型日本図(顕微鏡付)	松田縁山	江戸時代末期	銅版	3.8×1.3
36. 日本地図印籠		江戸時代後期		8.4×8.6×2.0
37. 無筆重宝国尽案内		江戸時代末期	木版刷彩	26.0×36.4
〔外国製地図〕				
38. シルバヌス編プロトマイオス地図帳	B. シルバヌス	1511年	木版	43.0×29.5
39. オルテリウス編『世界の舞台』	A. オルテリウス	1570年	木版手彩	41.0×28.5
40. 東インド諸島図		1570年	銅版手彩	41.0×53.3
41. タルタリア図		1570年	銅版手彩	38.4×51.0
42. 太平洋図		1589年	銅版手彩	44.5×57.3
43. テイセラ日本図	L. テイセラ	1595年	銅版手彩	47.0×55.0
44. プランシウス世界図	P. プランシウス	1594年	銅版手彩	47.5×64.0
45. ブラウ世界図	W. ブラウ	1635年	銅版手彩	51.1×60.5
46. ファルクアアジア図	G. ファルク	1695年頃	銅版手彩	102.6×125.6
47. ライオンマップ	P. カエリウス	1617年	銅版手彩	37.0×45.2
48. レランド日本帝国図	A. レランド	1715年	銅版手彩	53.5×63.5
49. ケンペル日本図	E. ケンペル & J.G. ショイヒツァー	1777年	銅版手彩	46.6×53.3
50. コーフェンス・モルティール世界図 (ジャイヨ世界図)	P. モルティエ	1720年頃	銅版手彩	61.0×100.4

# 描かれた中国 出品目録

資料名	作者等	時代	版種	寸法 (cm)	備考
<b>I. 日本人が描いた中国</b>					
1. 皇明輿地之図	臨泉堂翻刻	江戸時代前期	木版	123.2×57.1	南波
2. 中華世界図	源正信 写	元禄13年(1700)	手書手彩	114.4×114.7	南波
3. 大明九辺万国入跡路程全図	梅村弥右衛門 刊	元禄末(18世紀初)	木版	128.0×122.7	南波
4. 大明省図(四舖一組)		江戸時代中期	手書手彩	186.1×175.8(右上) 186.2×174.7(左上) 185.5×175.9(右下) 187.0×175.4(左下)	南波
5. 倭漢三才図会 卷62・63	寺島良安	正徳5年(1715)以降	木版	26.3×18.5	
6. 中国図	寺島良安	享保12年(1727)	手書手彩	166.2×260.0	
7. 大明都城図 全	須原屋茂兵衛 板	享保頃(1729年以前)	木版手彩	77.8×93.2	秋岡
8. 大明国十三省之絵図 全		享保頃(1720~30)	木版手彩	79.0×95.0	南波
9. 歴代事跡図 完	桂川甫三	寛延3年(1750)	木版手彩	182.5×157.2	南波
10. 中国正統図・春秋地図(内題)	小池恒 識	明和頃(1764~72)	木版	30.7×75.6	秋岡
11. 唐土図		江戸時代中~後期	手書手彩	212.9×182.9	南波
12. 大清広輿図	長久保赤水	天明5年(1785)	木版手彩	185.8×190.9	南波
13. 唐土歴代州沿革地図	長久保赤水	寛政1年(1789)	木版手彩	35.3×20.2	南波
14. 閩史約書	北村四郎兵衛 刊	寛政5年(1793)	木版一部刷彩	27.1×18.4	南波
15. 禹貢図	速水恒孝 識	江戸時代後期	木版刷彩	50.5×70.3	南波
16. 唐土歴代 大清輿地箋図	八幡屋市郎兵衛 他刊	享和3年(1803)	木版両面刷	34.4×39.7	南波
17. 唐土名勝図会(全6巻)	岡田玉山	文化3年(1806)	木版	25.8×18.2	秋岡
18. 清朝一統之図 全	青苔園 誌	天保6年(1835)	木版刷彩	68.5×64.0	南波
19. 唐土歴代州沿革地図	長久保赤水	天保6年(1835)	木版刷彩	35.4×20.4	南波
20. 中国鳥瞰図(仮)	葛飾北斎	天保11年(1840)	木版刷彩	41.0×53.2	南波
21. 唐土中興 沿革地図説 完(2冊)	南寿老人 識	嘉永1年(1848)	木版刷彩	32.8×22.4	秋岡
22. 清二京十八省輿地全図	東条信耕	嘉永3年(1850)	木版刷彩	34.3×23.8	南波
23. 支那歴代沿革図 全	二宮惺軒 識	安政2年(1855)	木版刷彩	36.4×24.4	南波
24. 唐土歴代州沿革図 全	二宮惺軒 識	安政4年(1857)	木版刷彩	37.1×24.7	南波
25. 大清歴代人物旧地全図	鈴木本栄	安政5年(1858)	木版刷彩	66.8×77.3	南波
26. 大清一統図(内題)	新発田收藏	江戸時代末期	木版刷彩	49.5×72.8	南波
参考1. 天下九辺万国入跡路程全図	王君甫 刊	康熙2年(1663)	木版	127.1×123.4	南波
参考2. 歴代分野輿図古今人物事跡	呂君翰 刊	康熙18年(1679)	木版手彩	141.1×124.9	南波
参考3. 清俗紀聞(全6巻)	中川忠英 編	寛政11年(1799)	木版	27.0×18.7	池長

## II ヨーロッパ人が描いた中国

27. アジア図	L. フリース	1522年	木版両面刷	40.8×55.8	
28. アジア図	A. オルテリウス	1570年	銅版手彩	42.8×55.5	
29. 中国図	L. ジョルジョ	1584年	銅版手彩	42.0×55.0	
30. アジア図	G. & C. デ・ヨーデ	1593年	銅版	40.3×54.0	
31. リンスホーテン東インド地域図	J. ラングレン	1596年	銅版手彩	40.3×53.2	
32. メルカトル中国及び日本図	R. メルカトル	1606年頃	銅版手彩	45.0×55.0	
33. ホンディウス中国図	ホンディウス	1616年頃	銅版手彩	13.3×19.0	
34. ブラウ中国図	W.・J. ブラウ	1650年	銅版手彩	49.0×55.0	
35. マルティニ中国・日本図	M. マルティニ	1655年	銅版手彩	51.1×63.2	
36. デ・ウイットアジア東北部図	F. デ・ウイット	1660年	銅版手彩	50.9×63.0	秋岡
37. ニイホフ中国近域図	J. ニイホフ	1688年	銅版手彩	52.1×62.3	秋岡
38. コロネリ中国近域図	V. M. コロネリ	1690年	銅版	72.7×51.9(右) 72.5×52.0(左)	秋岡
39. アー中国近域図	P. V. アー 刊	1700年	銅版	38.1×49.2	秋岡
40. ゾイッター中国図	M. ゾイッター	1730年頃	銅版手彩	54.0×62.0	
41. 中国新地図帳	J. ダンヴィル	1737年	銅版	53.2×37.4	秋岡
42. ボンヌ中国及びタルタリア図	M. ボンヌ	1771年	銅版手彩	37.3×50.0	
43. ボンヌアジア図	M. ボンヌ	1788年	銅版手彩	31.8×46.8	
44. ハインリヒ中国図	J. C. ハインリヒ	1816年	銅版手彩	34.4×43.2	秋岡

南波は南波松太郎コレクション、秋岡は秋岡武次郎コレクション、池長は池長<sup>はじめ</sup>孟コレクションの略です。

(3) ギャラリー

展 覧 会 名	会 期	内 容
昇 外 義 素 描 展	2月24日(木)～ 4月20日(木)	所蔵品の中から神戸に在住した日本画家、昇外義の本画と素描を展示し、画業を概観した。 ※出品目録は前年度の年報(No.16)に掲載。
神 戸 ゆ か り の 芸 術 家 た ち 展 I	4月22日(土)～ 7月18日(火)	金山平三、田村孝之介、林重義の油彩作品と、林のリトグラフを展示した。
山 下 摩 起 展	7月20日(木)～ 10月5日(木)	有馬出身の異色の水墨画家・山下摩起の作品25点を展示し、その画業を概観した。
生 誕 100 年 記 念 別 車 博 資 水 彩 画 展	10月7日(土)～ 12月7日(木)	兵庫生まれの別車博資(1900～76)の代表作25点を展示し、画業を回顧した。そのうち16点は、県内の所蔵家諸氏よりご出品いただいた。ご遺族はこれを機に『別車博資作品集』を刊行。
神 戸 の 書 展	12月9日(土)～ 2月4日(日)	上田桑鳩、宇野雪村、深山龍洞、安東聖空ら、神戸と深く関わりながら近代の書道界をリードした人々の作品を展示した。
神 戸 ゆ か り の 芸 術 家 た ち 展 II	2月7日(水)～ 3月31日(土)	館蔵の日本画14点を展示。とくに佐賀県に生まれ、大正末頃に神戸に移り住んだ日本画家、菖蒲大悦の作品5点が寄贈されたことを機に、特集展示した。

# 山下摩起展 出品目録

1. 薔薇		紙、グワッシュ	当館蔵
2. 夜の梅		紙本墨画	当館蔵
3. 白梅		紙本淡彩	当館蔵
4. 早春		紙本墨画	当館蔵
5. 蓮池		紙本著色	当館蔵
6. 葡萄		紙本墨画	当館蔵
7. 桃		紙本淡彩	当館蔵
8. 瀧		紙本墨画	当館蔵
9. 溪流	昭和36年(1961)	紙本墨画	当館蔵
10. 鯉	昭和41年(1966)	紙本墨画	当館蔵
11. 水鳥		紙本墨画	当館蔵
12. 瑞鳥		紙本淡彩	当館蔵
13. 鷺	昭和36年(1961)	紙本墨画	当館蔵
14. 金剛力士Ⅰ(四天王寺五重塔彫刻絵)	昭和36年(1961)	紙本墨画	当館蔵
15. 金剛力士Ⅱ(四天王寺五重塔彫刻絵)	昭和36年(1961)	紙本墨画	当館蔵
15. 金剛力士Ⅲ(四天王寺五重塔彫刻絵)	昭和36年(1961)	紙本墨画	当館蔵
17. 多聞天	昭和41年(1966)	紙本著色	当館蔵
18. 不動明王		紙本著色	当館蔵
19. 文殊菩薩		紙本著色	当館蔵
20. 菩薩		紙本著色	当館蔵
20. 菩薩座像	昭和36年(1961)	紙本墨画	当館蔵
22. 如来座像	昭和41年(1966)	紙本淡彩、裏箔	当館蔵
23. 昇竜	昭和30年(1955)頃		個人蔵
24. 青梅			個人蔵
25. 阿弥陀三尊	昭和43年(1968)頃		個人蔵

# 別車博資水彩画展 出品目録

出品目録 別冊の資料

1. 神戸山手風景	1931(昭和6)年	水彩・紙	38.6×50.5	当館蔵	
2. 坂のある風景	1931(昭和6)年	水彩・紙	38.9×50.3	個人蔵	
3. 湊川トンネル西口	1932(昭和7)年	水彩・紙	36.5×47.5	神戸地下街株式会社蔵	
4. 旧栄町風景	1932(昭和7)年	水彩・紙	44.2×58.9	当館蔵	
5. 神戸・造船所風景	1930年代後半頃	水彩・キャンパス	33.5×45.8	個人蔵	
6. 道頓堀川	1940(昭和15)年頃	水彩・紙	47.4×63.7	当館蔵	第14回 全関西洋画展
7. メリケン波止場	1940(昭和15)年	水彩・紙	22.1×31.7	当館蔵	
8. 海岸通(A)	1952(昭和27)年	水彩・紙	26.5×35.9	個人蔵	
9. 雪晴れ風景	1954(昭和29)年	水彩・紙	37.8×56.5	個人蔵	
10. 谷間の竹林	1954(昭和29)年	水彩・紙	103.8×69.0	個人蔵	
11. 神戸風景	1955(昭和30)年頃	水彩・紙	65.2×81.8	個人蔵	第11回 日展
12. 初秋・穴粟の農家	制作年不詳	水彩・紙	55.9×75.6	個人蔵	
13. 秋の鶴林寺	1960(昭和35)年	水彩・紙	37.9×53.8	個人蔵	マルセイユ現代美術展
14. 梅檀の木のある風景	1960(昭和35)年頃	水彩・紙	104.4×69.7	兵庫県立兵庫工業高等学校蔵	
15. 神戸港風景	1961(昭和36)年頃	水彩・紙	69.0×103.0	精機工業所蔵	一水会展
16. クレセントビル(神戸)	1962(昭和37)年	水彩・紙	69.4×102.2	当館蔵	第50回 日本水彩画会展
17. 神戸京橋	1963(昭和38)年	水彩・紙	69.2×102.0	当館蔵	第25回 一水会展
18. 神戸風景(県庁前)	1963(昭和38)年	水彩・紙	38.1×54.4	当館蔵	
19. 諏訪山より神戸港を望む	制作年不詳	水彩・紙	37.8×55.0	精機工業所蔵	
20. シテ・パリ	1964(昭和39)年6月	水彩・紙	34.0×45.2	個人蔵	
21. セーヌに釣る	1964-67(昭和39-42)年	水彩・紙	65.2×100.0	当館蔵	第29回 一水会展
22. 九十九里浜	1966(昭和41)年	水彩・紙	69.3×100.1	当館蔵	第28回 一水会展
23. センダンの並木道	1964(昭和39)年	水彩・紙	70.5×103.8	精機工業所蔵	第26回 一水会展
24. 箱根風景	1968(昭和43)年頃	水彩・紙	67.4×100.4	個人蔵	第30回 一水会展
25. 石の宝殿	1971(昭和46)年頃	水彩・紙	68.8×102.9	個人蔵	第35回 一水会展

## 神戸の書展 出品目録

1.	上田桑鳩	明月照積雪	昭和16年(1941)	
2.	宇野雪村	命(MYŌ)	昭和57年(1982)	毎日書道展
3.	深山龍洞	昔がたり	昭和35年(1960)	一楽書芸院展
4.	〃	つきの夜	昭和37年(1962)	一東書道会展
5.	〃	与謝野晶子うた	昭和42年(1967)	
6.	〃	若山牧水のうた	昭和50年(1975)	和様書作家協会 臨書と展開展
7.	〃	孤 独	昭和50年(1975)	日本の書展
8.	〃	芭蕉俳句二句	昭和52年(1977)	日 展
9.	安東聖空	波音(しのめの)	昭和44年(1969)	日 展
10.	〃	尾花(ひとむらの)	昭和49年(1974)	日 展
11.	〃	さゆらぎ(深山木の)	昭和50年(1975)	日 展
12.	〃	さん彩の	昭和51年(1976)	日 展
13.	〃	墨の香や	昭和54年(1979)	現代書道二十人展
14.	〃	やうやくに	昭和55年(1980)	日本の書展
15.	〃	白 梅 や	昭和55年(1980)	現代書道二十人展
16.	〃	明月や 他2首	昭和55年(1980)	日 展
17.	〃	鳴くしかの	昭和56年(1981)	現代書道二十人展

## 神戸ゆかりの芸術家たち展Ⅱ 館蔵の日本画 出品目録

1.	池田遙邨	筆	雪の神戸港	1947(昭和22)年	絹本着色	第3回日展
2.	菖蒲大悦	筆	武庫の夕陽(表六甲)	制作年不詳	紙本着色	第4回総合展
3.	〃		金仙寺湖畔の秋(山口町金仙寺)	制作年不詳	紙本着色	
4.	〃		初夏の池畔(修法ヶ原)	制作年不詳	紙本着色	
5.	〃		有馬から北摂を望む	1972(昭和47)年	紙本着色	
6.	〃		溪(箕谷溪谷)	制作年不詳	紙本着色	
7.	山本大慈	筆	晨(しん)	1984(昭和59)年頃	紙本着色	第33回春季院展
8.	山下摩起	筆	薔薇	制作年不詳	紙本着色	
9.	〃		紅梅	制作年不詳	紙本着色	
10.	〃		夜の梅	制作年不詳	紙本墨画	
11.	土肥武雄	筆	月明	1977(昭和52)年	紙本着色	サロン・ドートンヌ
12.	昇外義	筆	天の橋立	1990(平成2)年	紙・鉛筆、墨	
13.	〃		宮島	1990(平成2)年	紙本着色	
14.	西田真人	筆	暮れゆく街	1993(平成5)年	紙本着色	

(4) デュオこうべ —アートインフォメーション—

展 覧 会 名	会 期	内 容
中国の青銅器 - 1	[1月16日(木)] ~ 4月18日(火)	当館に寄贈された、故西村敦男氏蒐集の青銅器コレクション(商後期~三国)の中から、爵・缶・鼎など代表的な資料を展示した。
中国の青銅器 - 2	4月20日(木) ~ 5月16日(火)	
やきものとガラス - 1	5月18日(木) ~ 6月20日(火)	当館所蔵の陶磁器の中から中国・景德鎮の染付磁器、色絵の有田磁器などを展示。あわせて、幕末・明治の和製ガラスを展示し、19世紀の所蔵工芸品のアンソロジーを試みた。
やきものとガラス - 2	6月22日(木) ~ 7月18日(火)	
大和路の瓦 - 1	7月20日(木) ~ 8月22日(火)	故柳田義一氏が蒐集し、当館に寄贈された約70点の瓦に関する資料の中から、大和地方において出土したとされる飛鳥時代から鎌倉時代までの瓦15点の展示を行った。
大和路の瓦 - 2	8月25日(金) ~ 9月19日(火)	
マッチラベル - 1	9月21日(木) ~ 10月17日(火)	マッチ産業は近代神戸発展の礎を築いた重要産業の一つであり、そのラベルには時代背景が色濃く映し出されている。本展ではこのマッチラベルを通して神戸の歴史を紹介した。
マッチラベル - 2	10月19日(木) ~ 11月14日(火)	
地 図 皿 の 世 界	11月16日(木) ~ 1月16日(火)	伊万里焼染付の日本図皿を中心に、江戸時代中期から明治にかけて造られた地図皿を展示。工芸品の文様として表現され、デザインのひとつとして親しまれた「地図」を概観した。
神 戸 の 街 角	1月18日(木) ~ 4月3日(火)	現在の中央区に焦点をあて、神戸開港後の明治中期から昭和初期までの、約半世紀にわたる街並みや人々の風俗の移り変わりを、11枚の写真パネルで紹介した。

### 3 学習室・図書室

#### (1) 学習室

学習室は、「見る・触る・考える」という来館者の主体的な行為を導くように構成している。

常設展示で十分に展示・表現できない分野を補足するための資料を準備し、自由に手で触り、動かし、その事物の感触を味わい、楽しみながら、学習するなど工夫してあり、これにより、本館の基本テーマや神戸の歴史に親しみやすくしてある。次の3つのコーナーが設けられている。

##### ■見るコーナー

博物館で資料展示が困難な、動きのある祭りや生産物の工程を示すもの、また建築物や空からの都市景観、神戸の歴史などをビデオディスクを使って映像で紹介している。

これらは、リクエスト型のテレビで、解説も日本語・英語いずれも聴けるようにしてあり、各自が自由に見たいものを検索できるようにしている。

また、写真パネルでは、昭和初期と平成2年、13年の神戸市内15カ所の定点比較ができる。

##### ■触るコーナー

常設展示の原始・古代部分に展示されている縄文時代、弥生時代、古墳時代の土器の模型を配置し、自由に触り、土器の感触を直接体験できるようにしている。

また、国宝桜ヶ丘出土の6号銅鐸レプリカ（複製）にも触れ、銅鐸の音色を楽しむことができる。壁面に描かれた縄文・弥生時代の生活想像画のパノラマは、古代人の暮らしを身近に感じてもらうというものである。

##### ■考えるコーナー

コンピューター方式でクイズ番組4台、館蔵名品案内2台を設置している。

クイズ番組用の4台では、神戸に関するクイズを13番組から選択できるようになっている。

館蔵名品案内用の2台では本館発行の「神戸市立博物館 館蔵名品図録」掲載の100点の資料に関する写真及び解説を、「原始・古代の神戸と日本」「中・近世の神戸と日本」「近代の神戸と日本」「古い地図 描かれた日本と世界」「南蛮美術」「江戸時代の絵画」「江戸時代の工芸」の7つのジャンルから検索して見ることができる。

#### (2) 図書室

神戸、東西文化交流、考古、南蛮・紅毛美術に関する書籍の4分野を中心に、雑誌・辞典・豪華本・全集など本館の基本テーマに関するものを収集している。

館内の展示部門の基礎的理解を深めていきたい人、専門的に探求しようとする人達のために気安く利用できる約5400冊を揃えた開架式の図書室である。

#### 4 普及事業

##### 1. 博物館独自の事業

(1) 特別展「海の考古学」こどもスケッチ大会	4. 22				19人
(2) 博物館たんけん隊	5. 5				53人
(3) 縄文再発見（復元縄文土器）	8. 1			遺跡見学	33人
	8. 3～4			成形	34人
	8. 12			焼成	31人
	8. 28			展覧会展示作業	30人
	8. 29～9. 10			展覧会	
(4) ミュージアム講座					
10. 12 「平戸松浦家と海外交流の資料」			成澤学芸員		104人
11. 9 「神戸美術散歩」			岡学芸員		95人
12. 14 「阿蘭陀通詞と洋風画」			勝盛学芸員		90人
1. 11 「中国を描いた古地図」			国木田学芸員		96人
2. 8 「川西英と神戸の風景」			金井学芸員		91人
3. 8 「神戸の古墳と三角縁神獣鏡」			松林学芸員		93人
(5) ジュニア・ミュージアム講座					
第3回「古文書を読む」	10. 14	11. 11	12. 9	22人	3回連続
第4回「南蛮美術を楽しむ」	1. 13	2. 10	3. 10	6人	3回連続
(6) 講座 古地図を読むⅡ	1. 19	1. 26	2. 2	70人	3回連続
(7) 特別講演会					
○「海の考古学」		5. 6		88人	
		5. 20		84人	
○「びいどろ・ぎやまん・ガラス」		7. 29		80人	
		8. 12		100人	
		8. 26		80人	(公開対談)
○「平戸・松浦名宝展」		10. 21		60人	
		11. 5		200人	
		11. 11		80人	
○「大古墳展」		2. 10		300人	
(8) 学校団体オリエンテーション					
幼稚園	0園	0人、	小学校	51校	3,796人
中学校	46校	2,626人、	高校	12校	1,008人
大学	18校	697人、	専門学校	2校	88人
盲養護学校	1校	66人、	(計)	130校	8,281人)

##### 2. 共催事業

(1) 映画会「第2回市民ロードショー・ジェラルド・フィリップコレクション」	5. 26	5. 27	5. 28		545人
(2) こうべ歴史たんけん隊	11. 3				20人
(3) 邦楽演奏会及び講習会	12. 17			清元、長唄	180人
	1. 21			新内、常盤津	160人
	2. 17			地歌	190人
	3. 3			須磨琴（青少年のための邦楽入門）	100人
	3. 4			森田 恵	185人
(4) 午後のシャンソン	3. 11			安井慶子	236人
	3. 18			森 潔	166人
	3. 25			あべひろこ	183人

※ 複数回開催の講座等に関しては、のべ人数とした。

5 平成12年度 事業一覧

	常設展示室1~5	特別展示室 1	南蛮美術館室	特別展示室 2	ギャラリー	普及事業	
4月	日本と外国との文化交流のようすを神戸に焦点をあてながら展示	特別展「絵画と風景」3/4(土)~4/9(日)			昇外義素描展 2/24(木)~ 4/20(木)	博物館たんけん隊 (5/5)	
5月		特別展 「海の考古学」 4/22(土)~5/28(日) 32日間 7,928人			神戸ゆかりの 芸術家たち展 I		
6月		企画展「館蔵古地図名品展」 6/10(土)~ 7/9(日)	企画展 「渡辺鶴州と長崎の御用絵師」 6/10(土)~7/9(日)		4/22(土)~ 7/18(火)		
7月							
8月		企画展 「南蛮美術名品展」 7/20(木・祝)~ 9/10(日)	特別展 「びいどろ・ぎやまん・ガラス —江戸時代から明治・大正へ—」 7/20(木・祝)~9/10(日) 46日間 28,605人		山下摩起展		縄文再発見 〔復元縄文土器〕 (8/1, 3~ 4, 12, 28)
9月		薫蒸			7/20(木・祝)~ 10/5(木)		
10月		特別展 「平戸・松浦家名宝展 —はるかなる千年の歴史—」 10/7(土)~11/26(日) 44日間 16,985人			別車博資水彩画展		ミュージアム講座 (10/12, 11/9, 12/14, 1/11, 2/8, 3/8)
11月					10/7(土)~ 12/7(木)		ジュニア・ミュージアム講座 (10/14, 11/11, 12/9, 1/13, 2/10, 3/10)
12月		企画展 「描かれた中国」 12/9(土)~ 1/28(日)	企画展 「西洋への憧憬」 12/9(土)~1/28(日)		神戸の書展 12/9(土)~ 2/4(日)		こうべ歴史たんけん隊 (11/3)
1月							邦楽演奏会 (12/17, 1/21, 2/17, 3/3)
2月		特別展「大古墳展—ヤマト王権と古墳の鏡—」 2/7(水)~3/25(日) 41日間 16,572人			神戸ゆかりの 芸術家たち展 II		講座 古地図を読む II (1/19, 1/26, 2/2)
3月					2/7(水)~ 3/31(土)		午後のシャンソン (3/4, 11, 18, 25)

特別展開催日数163日、開館日数287日

## 6 刊行物

平成12年度の刊行物

特別展図録	文化財保護法50年記念 海の考古学	800円
	びいどろ・ぎやまん・ガラス—江戸時代から明治・大正—	2,000円
館藏品目録	美術の部 No17 朝田祥次郎役者絵コレクション I	100円
	歴史・考古の部 No17 古文書 V—酒造関係文書 1	200円
研究紀要	No17	500円
年報	No16 (平成11年度)	500円
博物館だより	No68 (平成12年4月) ~ No71 (平成13年1月)	

## 刊行物一覧

### 図 録

発行年	図録名	単価
57('82)	常設展示あんない	品切
57('82)	国宝 桜ヶ丘 銅鐸銅戈	品切
57('82)	南蛮美術館図録	500
57('82)	東山魁夷 中国の旅展	品切
60('85)	館蔵名品図録	品切
63('88)	博物館総合案内	800
3 ('91)	館蔵名品図録	2,300
1 ('89)	松方コレクション西洋美術総目録	—
6 ('94)	古地図セレクション	2,000
9 ('97)	源平物語絵セレクション	2,000
10('98)	南蛮美術セレクション	2,000
12('00)	国宝桜ヶ丘銅鐸・銅戈	2,000

### 年 報

No	内 容	価格	No	内 容	価格
1	57, 58年度	700	9	3 年度	500
2	59年度	500	10	4 年度	500
3	60年度	700	11	5 年度	500
4	61年度	600	12	6 年度	500
5	62年度	800	13	7, 8 年度	800
6	63年度	品切	14	9 年度	500
7	元年度	900	15	10年度	500
8	2 年度	500	16	11年度	500



平成12年度前半期カレンダー



博物館だより No68 (2000年春)

## 研究紀要

No.	発行年度	内 容
1	58('83) 500円	ポルトガル地図学史上における日本地図の変遷 ウィロウパターン起源と変遷について—18世紀輸出陶磁史の一視点— 航路図屏風考 貝貼り書筆筒
2	59('84) 600円	狩野内膳考 江戸時代初期の日本図 安田雷州筆「赤穂義士報復図」と若干の銅版画作品をめぐって
3	60('85) 品切	東播系中世須恵器生産の成立と展開—神出古窯址群を中心に— 播磨大蔵山遺跡1—縄文土器— 新収南蛮屏風について
4	61('86) 800円	ヴェテ・レーウ号積載の芙蓉手磁器について—17世紀初頭におけるV.O.C.交易— 南波コレクション中の刊行諸国図について 十六〜十七世紀初期の撰津国兵庫史料について—種井家文書の紹介—
5	62('87) 500円	一人のイギリス人の残したアルバムから—明治20年代前半の神戸外国人居留地の一側面— 渡辺鶴洲家襲蔵粉本の研究
6	63('88) 450円	市街地に消えた古墳—念仏山古墳—
7	元('89) 300円	播磨の古瓦—赤松啓介氏採集品より— 渡辺鶴洲研究資料補遺
8	2('90) 300円	「石峯寺経塚」遺物の再検討 五輪塔形曳覆曼陀羅について—中世版木資料からの考察を中心に—
9	3('91) 300円	江戸時代後期における輸出漆器の資料 神戸市立博物館所蔵頭椎太刀の保存処理 透過試験による頭椎太刀の観察
10	4('92) 300円	『伊能図』に関する若干の考察 鳩谷天愚孔平伝—司馬江漢周辺の一奇人—
11	5('93) 500円	A.H.グループ1 —在日50年に及ぶ1人のイギリス人の足跡— J. ブラウの1645/46年版世界地図について 石峯寺如法大般若経について
12	7('95) 500円	「大日本国地震之図」の資料紹介 阪神淡路大震災による被害と復旧
13	8('96) 500円	神戸市立考古館史稿 神戸市立博物館所蔵経筒の材質について 銅鑄製経筒の保存処理 P. カエリウス1609年版世界地図をめぐって 播州村上天文書について—特別展「鎖国長崎貿易の華」補遺—
14	9('97) 500円	外国人と土地所有権 怪鳥カズワル江戸を歩く—寛政元年渡来のヒクイドリ— 柳田義一氏蒐集 瓦経資料について
15	10('98) 500円	中国の西湖景と日本の浮絵—阿英「閑話西湖景」洋片」発展史略」をめぐって— 貞秀=玉蘭齋ノート—地図および地図的作品への手がかりとして— 神戸市立博物館における学校との連携事業 初代玄々堂松本保居の銅版画
16	11('99) 500円	国立歴史民俗博物館特定研究南蛮関係資料研究班による 神戸市立博物館所蔵「聖フランシスコ・ザビエル像」の調査に関する概要 大浪から国芳へ—美術にみる蘭書受容のかたち— 『岡山藩家老日置忠自筆御用勤書上』と神戸事件
17	12(2000) 500円	近代美術と地図—川上冬崖と岩橋教章— 語りかける図像—太山寺蔵「絹本着色愛染曼荼羅」をめぐって— 『御用唐木細工物雛形』について—近世後期長崎における工芸史料の紹介—

## 展覧会図録

開催年度	展覧会名	単価
57 ( '82)	海のシルクロード 南波松太郎氏収集古地図の世界	2,000 品切
58 ( '83)	神戸の文化財 びいどろ・ぎやまん展 古地図に見る世界と日本	1,200 品切 品切
59 ( '84)	眼鏡絵と東海道五拾三次展 はるばるとオランダ古地図展 更紗の世界展	品切 品切 品切
60 ( '85)	中国五千年の秘宝展—中国天津市文物展— 桃山時代の祭礼と遊楽	品切 品切
61 ( '86)	ニューヨークメトロポリタン美術館特別出品 西洋の風景 狩人の夢—オーストラリア、アポリジニの世界—	1,700 1,300
62 ( '87)	ニューヨークパブリックライブラリー所蔵 日本絵画名作展 神戸はじめ物語展 明治のガラス展—びいどろからガラスへ—	品切 品切 品切
63 ( '88)	ジャワ更紗展 中世を旅する聖たち展—遍聖人と時宗— 卑弥呼の鏡展 アイルランドフェスタービーティーコレクション日本絵画名作展 神戸ゆかりの巨匠たち展	1,500 品切 品切 1,500 品切
元 ( '89)	松方コレクション展 秋岡古地図コレクション名品展 小磯良平展	2,000 品切 品切
2 ( '90)	THE びいどろ展—江戸時代のガラス粋と美— 隠元禅師と黄檗宗の絵画展 石峯寺展	1,900 品切 品切
3 ( '91)	南蛮見聞録—桃山絵画にみる西洋との出会い—	品切
4 ( '92)	銅鐸の世界—地の神への「いのり」— 中世の摺経展	品切 400
5 ( '93)	花と鳥たちのパラダイス —江戸時代長崎派の花鳥画— 太山寺の名宝展 栄光のオランダ絵画と日本	2,000 2,000 品切
6 ( '94)	鎖国長崎貿易の華—ギヤマン更紗金唐革— 受贈記念上川庄二郎コレクション—明治鉄道錦絵展	2,000 品切
7 ( '95)	没後30年 川西英展	300
8 ( '96)	オルセー美術館展ガイドマップ 司馬江漢百科事展—生誕250年江戸時代のマルチタレント	品切 2,200
9 ( '97)	日中歴史海道2000年展 日蘭交流のかけ橋展	2,000 2,000
10 ( '98)	神戸淡路鳴門 近世の画家たち コメはじめ物語・古地図と絵解き展 有馬の名宝—蘇生と遊興の文化—	1,400 品切 2,000
11 ( '99)	居留地返還100周年記念 神戸横浜「開化物語」 絵図と風景—絵のような地図、地図のような絵—	1,800 1,800
12 (2000)	文化財保護法50周年記念 海の考古学 びいどろ ぎやまん ガラス—江戸から明治・大正—	800 2000

館 蔵 品 目 録

No	発行年	地 図 の 部	価格	美 術 の 部	価格	考 古 ・ 歴 史 の 部	価格
1	59 ('84)	南波コレクション 世界図・日本図	200	南蛮美術	100	古鏡	100
2	60 ('85)	南波コレクション 分国図・地方図・郡村図	200	黄檗美術・長崎派・長崎版画	400	引札	300
3	61 ('86)	南波コレクション 諸国図・都市図	300	江戸時代諸派	200	小学校教科書	300
4	62 ('87)	南波コレクション 江戸図・京都図・大坂図	300	浮世絵版画Ⅰ 江戸系	500	神戸市関係絵地図	300
5	63 ('88)	南波コレクション 外国関係図・北海道関係図	200	浮世絵版画Ⅱ 江戸系補遺・上方系 大坂系・雑系 石版画	400	古文書Ⅰ 深川家文書・上津上村関係 文書	400
6	1 ('89)	南波コレクション 道中関係図・寺社関係図・ その他	150	銅版画	300	写真・絵葉書Ⅰ	300
7	2 ('90)	新収外国製古地図	200	地図 文書Ⅰ 博覧会展覧会・横浜・浪速・ 神戸資料綴・開化雑絵・御国 ・外国人物図等・中華船破損 救助感謝状綴・輸出茶商標・ 駱駝図等綴・図書	200	考古資料Ⅰ	200
8	3 ('91)	秋岡コレクション 世界図・日本図・江戸図 都市図・諸国図等	200	近代絵画	200	写真・絵葉書Ⅱ	200
9	4 ('92)	秋岡コレクション 天文暦学関係図・暦	200	文書Ⅱ 川村家文書・村上家(阿蘭陀 宿)文書・川島家文書	200	引札Ⅱ	200
10	5 ('93)	秋岡コレクション 外国製地図・外国製図書	200	工芸品	200	神戸市関係絵地図Ⅱ	200
11	6 ('94)	秋岡コレクション 地理学関係書・測量関係書・ 漢籍(天文地理測量等)	200	文書Ⅲ 村上家文書・その他貿易文書	200	古文書Ⅱ 八田家文書・岡田家文書・木 村家文書・中村関係文書・山 路家文書・山口家文書	200
12	8 ('96)	秋岡コレクション 道中関係図・周辺地域図 (小笠原・漂流・航海・北海 道)・その他	200	文書Ⅳ 林子平関係文書・絵図・版画 古文書・図書原稿類・その他	200	拓本・石造品・古鏡Ⅱ	200
13	9 ('97)	新収蔵古地図	200	文書Ⅴ 本木家文書邦文資料・同欧文 資料(『諸雑書集』)	200	写真・絵葉書Ⅲ	200
14	10 ('98)	(古地図資料13号にて完結)		村上金次郎コレクション 楠正成および太平記関係資料	200	古文書Ⅲ 兼吉家文書	200
15	11 ('99)			別車博資浮世絵コレクションⅠ 江戸・東京版行の浮世絵資料	200	写真・絵葉書Ⅳ	200
16	12(2000)			別車博資浮世絵コレクションⅡ 大坂・京版行の浮世絵資料	200	古文書Ⅳ 住吉良運商社文書	300
17	13(2001)			朝田祥次郎役者絵コレクションⅠ 大坂・京版行の浮世絵資料	100	古文書Ⅴ 酒造関係文書Ⅰ	200

# 収蔵資料

## 1 新収蔵資料

### (1) 平成12年度受贈資料

資料名	数量	寄贈者
昭和11年観艦式関係資料	14件20点	石原敏男
常本村阿弥陀堂版木（前欠）	1枚	常本村自治会長 石井正裕
董烈筆 花籠に文鳥図	1幅	(有)帰雲 山田裕嗣
荒木千洲筆 福祿寿三星図	1幅	(有)帰雲 山田裕嗣
柳沢伊信筆 山水図	1幅	(有)帰雲 山田裕嗣
C.B.バーナード筆 神戸海岸通り風景	1面	Otto Ritter
C.B.バーナード筆 三宮神社付近風景	1面	Otto Ritter
C.B.バーナード筆 神戸居留地北端風景	1面	Otto Ritter
川西英筆 神戸風景	1面	小路菊三
川西英筆 ダリア	1面	小路菊三
川西英筆 金魚	1面	小路菊三
絹サテン写真	7点	Fumiko Sanzio née Uchida, 内田満利子
川西英作 神戸百景（別車博資旧蔵）	一括	伊勢上久子
神戸百景展目録	1点	伊勢上久子
武者絵役者絵（小判浮世絵）	1点	伊勢上久子

### (2) 平成12年度購入資料

#### ア. 書画作品

雪機定然筆	岩蘭図	1幅
独吼性獅書	輓范道生偈	1幅
上野若元筆	太公望図	1幅
斎藤雀亭筆	福祿寿三星図	1幅
董九如筆	枇杷金鳩図	1幅
渡辺玄対筆	白梅白頭翁図	1幅
歌川国芳画	近江の国の勇婦於兼	1枚
中井芳瀧画	源氏須磨之浦 四季之内春之図	1枚
歌川芳虎画	源義経蝦夷渡ノ図	3枚続
神原浩画	雨の新開地	1点
神原浩画	メリケン波止場	1点

#### イ. 工芸品

	蒔絵蝶に牡丹文青色ガラス徳利	1点
	切子金赤被せ鯛形ガラス皿	1枚
	切子菊文ガラス蓋物	1合
マーストリヒト (P.レグー窯)	色絵静物に花卉文大皿	1枚
イギリス・ドーソン窯	染付イギリス風景図大皿	1枚
中国・景德鎮窯	染付楼閣山水文深皿	2枚
中国・景德鎮窯	染付楼閣山水文菊形深皿	2枚
中国・景德鎮窯	染付楼閣山水文深皿	1枚
神戸薩摩	色絵菊花文大壺	1点
神戸薩摩	色絵山水文壺	1点

長崎か京都製	青貝細工ヴィーナスにキューピッド文煙草入れ	1点
	桃色地花鳥虫文様形附綿天鷲絨鏡入れ	1点
ウ. 古地図資料		
鉄道省	鉄道旅行案内	1冊
志都酒屋蔵梓	豆州下田港図	1舗
G. ファルク	ヨーロッパ図	1枚
	下山口村絵図	1舗
エ. 歴史資料		
藤井忠弘図、玄々堂鐫	引札 海産物依托問屋 小笠原商店	1枚
	兵庫港遊歩規定図	1枚
	神戸在留外国人関係写真	一括
	神戸博覧会場案内図	1枚
	海岸通突堤・神戸税関所属繫船浮標用・等青写真	26枚
	船名額「長久丸」	1点
オ. 書籍資料		
杉田立脚訳述	眼科新書	6冊
石川大浪画	曹全碑	1帖
楽山跋	昆虫誌	1冊
スワンメルダム著	墨香画譜	4冊
森琴石編	明治名家倣古画譜第二集	2帖
木原梅屋編輯	温泉紀遊	1冊
	垂水町勢要覧	1冊
	川崎造船所営業案内	1冊
	摂津国兔原郡山論裁許状(写)	1通
	神戸名所写真帳	1冊24枚
カ. 複製資料		
	桜ヶ丘第5号銅戈複製品	1口
	桜ヶ丘第6号銅戈複製品	1口
	桜ヶ丘第7号銅戈複製品	1口

## 2 指定文化財等一覧

指定区分	指定年月日	指定番号	資料名称	員数	時代
国宝	昭和45.5.25	考第34号	桜ヶ丘銅鐸・銅戈群	21口	弥生時代中期
重要文化財	昭和28.3.31	絵第1257号	泰西王侯騎馬図	4曲1隻	江戸時代
重要文化財	昭和32.2.19	絵第1390号	織田信長像（古溪宗陳賛）	1幅	桃山時代 天正11年（1583）
重要文化財	昭和43.4.25	絵第1625号	四都図・世界図	8曲1双	江戸時代初期
重要文化財 （附指定）	昭和45.6.17 （昭和56.6.5）	建第1771号	旧小寺家厩舎設計図他	68点	明治43年（1910） ※旧小寺家厩舎の附属指定
重要文化財	平成7.6.15	絵第1938号	南蛮屏風（狩野内膳筆）	6曲1双	桃山時代
重要文化財	平成9.6.30	絵第1957号	相州鎌倉七里ヶ浜図 （司馬江漢筆）	2曲1隻	寛政8年（1796）
重要文化財	平成12.6.27	絵第1974号	聖フランシスコ・ザヴィエル像	1面	江戸時代初期
重要美術品	昭和9.9.1		西洋二武人図・師父二童子図	2面	江戸時代初期
重要美術品	昭和23.4.27		伝福岡県内経塚出土遺物	10点	平安時代 永久5年（1117）
登録文化財	平成10.9.2	第28-0026号	神戸市立博物館 （旧横浜正金銀行神戸支店）	1棟	昭和10年（1935）

## 3 12年度資料補修

資料名	数量	備考
渡辺鶴洲筆 梅に鶴図（渡辺鶴洲家襲蔵粉本）	1枚	本紙補修 軸装
真村蘆江筆 双鶴図（渡辺鶴洲家襲蔵粉本）	1枚	本紙補修 軸装
渡辺秀乾筆 雪梅鴛鴦図（渡辺鶴洲家襲蔵粉本）	1枚	本紙補修 軸装
渡辺秀乾筆 菊石図巻（渡辺鶴洲家襲蔵粉本）	1枚	本紙補修 卷子装
渡辺鶴洲筆 双鶴図（渡辺鶴洲家襲蔵粉本）	1枚	本紙補修 軸装
伝石崎元徳筆 雪中鷺図（渡辺鶴洲家襲蔵粉本）	1枚	本紙補修 軸装
伝石崎元徳筆 流汀群鶴図（渡辺鶴洲家襲蔵粉本）	1枚	本紙補修 軸装
渡辺秀之筆 漁父図（渡辺鶴洲家襲蔵粉本）	1枚	本紙補修 軸装
伊能忠敬筆 日本国地理測量之図	1枚	裏打補修
橋 保春筆 高野山細見絵図（上・下）	2枚	裏打補修
A.ロダン作 ジャンヌ・ド・フィエンス像	1体	洗浄・保護剤塗布
青貝細工花鳥図筆筒	1棹	本体補修
バルサンコップパイハ入り薬瓶	1式	付属木箱・文書に付着した 薬剤の溶解・脱色
近代史資料（神戸経済日報付録他）	31枚	真空プロテック
C.B.バーナード筆 水彩画（神戸海岸通り風景他）	3枚	マット装
神原 浩作 銅版画（メリケン波止場他）	2枚	マット装 額装
別車博資筆 水彩画	127枚	マット装

## 4 資料の特別利用

### (1) 館外貸出

貸出先(会場)	展覧会名	開催期間	点数	資料名
倉敷市立美術館	池田遥邨回顧展	12. 4. 1- 5. 7	1	雪の神戸港(池田遥邨)
倉吉博物館	遺跡が語る伯耆国	12. 4. 1- 5. 7	3	大日寺瓦経塚出土瓦経(般若心経、法華経)
神戸港振興協会(神戸海洋博物館)	常設展示	12. 4. 1-13. 3.31	1	ブロンズ製平清盛像(西村公朝)
長崎市立博物館	大出島展	12. 4.19- 6.15	105	蘭船図(石崎融思) 和蘭陀船中図(城義隣) 阿蘭陀船入津之図 阿蘭陀人貨物試量図(以上大和屋版) V.O.C.マーク入り小型艦載砲 染付樓閣山水文大皿(マーストリヒト窯) オランダ色絵皿各種(デルフト) 染付西洋風景図長円形大皿(イギリス製) LEY-DTSE POORT/MUYDER POORT(長崎版画) 長崎蘭館図巻(伝渡辺秀石) 長崎唐蘭館図巻(高川文笠) ドゥーフ像 プロンホフ家族図(石崎融思) 紅毛男女図(松井慶伸) 阿蘭陀人之図(針屋版) 御用書留日記 西洋婦人図(石川大浪) 史的年代記(ゴットフリート) 狩猟家と鷹匠(リーディングー) 蘭崎摘芳 蔦録 形影夜話 大画法書(ライレッセ) 人体解剖図(ビドロ) 草木誌(ドドネウス) 万国新話(森島中良) 忠臣蔵十一段日夜討之図(歌川国芳) アンボイナ島珍奇物産集成(ルンフィウス) 浮絵アルマニア珍薬物集之図(歌川豊春) 紅毛ボンボコボン(西苔楽) 異国風景人物図(榎有隣) 色絵象にインド風俗図壺 色絵阿蘭陀人立像大皿 色絵阿蘭陀人文蓋付碗(以上有田窯) 金彩花卉文楡付瓶・脚付ガラス杯揃 金彩ぶどう文脚付ガラス杯(以上オランダ製か) 彩絵阿蘭陀人文緑色ガラス角瓶 グラヴェール西洋紋章文蓋付ガラス大杯 緑地天使文様更紗 更紗縫合せ下着 赤色文ビロード紙入れ 和製金具花模様金唐草紙入れ ディアナ模様金唐草煙草入れ 象牙彫西洋人文小箱(稲辺天工) 染付蒸気船に日本地図図皿 染付出島風景図角形皿 染付象に阿蘭陀人文鉢 染付籠に阿蘭陀人文十角向附 染付帆船に阿蘭陀人文鉢 染付遠眼鏡に阿蘭陀人文皿 色絵駱駝に阿蘭陀人文鉢(以上有田窯) 染付帆船図皿(伊賀焼) 染付西洋風景図大皿 染付洋文字紋章に唐草文茶入(以上京焼系) 染付蘭字文江戸町皿(亀山焼か) 染付長崎港図碗 染付洋文字文鉢(以上亀山焼) 染付阿蘭陀人に西洋風景図水指(京焼系) 染付イギリス城郭図皿(イギリス製) 駱駝図(窪田雪鷹) グラヴェールオランダ船文ガラス入り鼈甲揃 青貝細工出島家屋図煙草入れ 青貝細工花鳥図煙草入れ グラヴェールV.O.C.マーク入り吊り行灯 つる朝顔形ガラス盃 色絵芙蓉手V.O.C.マーク入り大皿(有田窯) 蒔絵西洋人物肖像ブラス 蒔絵ネロ宮殿図ブラス 二十四孝童子鑑・大舜(歌川国芳)
福岡市美術館・島根県立美術館	日本の美 笑い	12. 4.21- 6.25	7	蜆子和尚図(司馬江漢) ヒボクラテス像(酒井抱一) 虫合戦図(春木南溟) 生人形浅草奥山(歌川国芳) 関羽像(オオタチュウゾウ) 群仙星祭図(河村若芝) 象の戯遊(惺々周磨)
たばこと塩の博物館	異国の風—江戸時代京都が見たヨーロッパ	12. 4.22- 5.28	60	洛中洛外図 観能図 都の南蛮寺図レプリカ 駱駝図(窪田雪鷹・池長コレクション) 紅毛人風俗図屏風 阿蘭陀風俗図額(以上松尾秀山) 反射式のぞき眼鏡 直視式のぞき眼鏡 オランダ城郭図眼鏡絵 京洛中国眼鏡絵図巻(伝円山応挙) 八坂図眼鏡絵 円山座敷図眼鏡絵 五條橋より大仏殿を望む図眼鏡絵(以上伝円山応挙) 阿蘭陀学科図 阿蘭陀ヘイリコンノ名城図(以上不韻斎) 西洋国大船の図 外国船図 市街戦闘図 西洋王侯図 西洋人支那紀行之図 机山(以上松本保居) 肥前長崎丸山(岡田春燈斎) バルサンコッパイハ入り薬瓶 阿蘭陀人京着諸勤向記 蒔絵南蛮人文箱 織部瓢形させる 金唐草障泥 姫路草阿蘭陀婦人文枕 阿蘭陀毛氈 亀甲に六稜星文縫合更紗下着 色絵うんすんカルタ香合(「仁清」印) 色絵阿蘭陀写し火入れ(「乾山」銘) 染付花卉文角形向付 染付花卉文角形皿(以上「乾山」印) 染付唐草文茶入(「乾亭」銘) 鉄絵西洋風景図盃洗(「乾山」銘) 鉄絵阿蘭陀風俗図皿 鉄絵寿老人図皿(以上尾形周平画) 染付イギリス風景図皿付蓋物(イギリス)

貸出先(会場)	展覧会名	開催期間	点数	資料名
朝日新聞社文化企画局 大阪企画部(福岡県立 美術館・岐阜市歴史博 物館・大丸ミュージア ム KOBE・大丸ミュージ アム KYOTO)	大妖怪展	12. 4.29- 8.29	6	猫石の変化 白縫大臣実ハ若菜姫 お岩の亡霊 鎌田 又八の亡霊 累幽魂(以上三代歌川豊国) 宗吾妻の 亡霊(豊原国周)
衆議院憲政記念館	維新の三傑	12. 5.25- 6.18	3	幕末風俗図巻・神奈川地方実景 神戸海軍操練所の鬼 瓦 神戸海軍操練所絵図
静岡県立美術館・台北 市立美術館	東アジア・絵画の近代—油 画の誕生とその展開	12. 6. 3- 8.27	1	瀬海都城図(荒木如元)
角館町平福記念美術館	花と鳥—秋田蘭画の背景—	12. 6.15- 7.16	25	ファン・ロイエン花鳥図模写(谷文晁) ファン・ロ イエン花鳥図部分模写 画図百花鳥(藤原守範) 燕 子花にハサミ図(佐竹曙山) 蓮図(小田野直武) 桜花図(佐竹義躬) 花籠と蝶・花鳥の阿蘭陀風景図 (若杉五十八) 雑画図巻(亜欧堂田善) 風牡丹図 (鄭培) 一路功名図(熊斐) 墨牡丹図(森蘭齋) 牡丹蝶図(岩井江雲) 牡丹に猫図(千葉龍卜) 牡 丹に白頭翁図(山田宮常) 芭蕉太湖石白鷗図 牡丹 綬帯鳥図(以上鶴亭) 海棠白頭翁図(松井慶徳) 長春富貴図(梁基) 聯珠争光図(宋紫石) 翠柳芙 蓉白鷺小禽図(諸葛監) 風牡丹図(岸駒)
文化庁(ライデン国立 民族学博物館)	オランダと日本の出会い —日蘭修好400年記念—	12. 6.16- 9.17	3	駝鳥・火喰鳥図(清躬) 老師父図
鳥取市教育委員会 (鳥取市歴史博物館)	涼を求めて	12. 7. 1- 7.30	17	藍色ねじり脚付ガラス杯 型吹き藍色亀甲文ガラス深 皿 型吹き青緑色ガラス鉢 つる朝顔形ガラス杯 切 子藍被せ栓付ガラス瓶 グラヴェール阿蘭陀船文ガラ ス入り鼈甲櫛 型吹き渦巻文ガラス深鉢 切子格子文 丸型ガラス三段重 ガラス簾 婦人職人分類・びろど ろ師(喜多川歌麿)
富山市科学文化センター	宇宙展—星空を探る—	12. 7.18- 8.31	1	視天鏡(松田東英)
さいたま川の博物館	天の川に願いを	12. 7.20- 9. 3	1	朱塗り一閑張四段望遠鏡
神戸市教育委員会文化 財課(神戸市埋蔵文化 財センター)	神戸の古墳	12. 7.20- 9. 3	9	三角緑神獸鏡レプリカ 車輪石レプリカ(以上東求女 塚古墳) 金銅装鏡板 杏葉 ガラス玉 碧玉製管玉 ・ガラス玉・水晶製切子玉・瑪瑙製勾玉(以上鬼神山 古墳)
鳥取県立博物館	むきばんだ—弥生の王国—	12. 7.25- 8.23	13	桜ヶ丘1号・5号銅鐸 桜ヶ丘3号・4号・6号銅鐸 レプリカ 桜ヶ丘5号~7号銅戈 桜ヶ丘1号~4号 銅戈レプリカ 泊銅鐸レプリカ
和歌山市立博物館	紀州徳川家と葵三代	12. 7.29- 8.27	3	尾張国絵図 参河国絵図(以上大日本全図の内) 朝 鮮通信使来朝図(羽川藤永)
田原町博物館	谷文晁展—若き日の憧憬—	12. 9. 9-10.11	1	ファン・ロイエン花鳥図模写(谷文晁)
シーボルト記念館	シーボルトの江戸参府展 ~シーボルト日本調査旅行	12. 9.12-10.22	5	再版新改御江戸絵図 自文政十一年四月至天保十二年 七月阿蘭陀人参府并献上物通詞其外之者持越町年寄拜 礼関東往返諸件 世界周航記(クルーゼンシュテルン)
兵庫県立歴史博物館・ 洲本市立淡路文化史料 館	豪商 高田屋嘉兵衛	12. 9.15-12.10	46	東西蝦夷山川地理取調図 伊能小図(エゾ地) 西蝦 夷地巡見日記 蝦夷草紙 蝦夷草紙全図 蝦夷全図 蝦夷接壤之図 辺要分界図考(近藤守重) 高田屋嘉 兵衛話 アイヌ男女図聯(高田屋嘉兵衛寄進) 日本 幽囚記(独語版) 高田屋嘉兵衛書状(嘉蔵・金兵衛 あて) 文化九年蝦夷地魯西亜人一件書
神戸市立小磯記念美術 館	田村孝之介と神戸	12. 9.23-12. 3	13	婦人像(黒いドレス) 黄衣婦人像 湯殿 カーニユ の丘 青い敷物の裸婦(以上田村孝之介) 薔薇ノ図 きもの ドン・キホーテ 踊る 隅田川 能(B) アンダルシアの踊子B アンダルシアの踊子 バカ ンスと太陽 女三態 ゴンドラと船頭 朝陽 夢三容 (以上田村孝之介・寄託品)
宇治市歴史資料館	よみがえる鉄道黄金時代	12. 9.30-11.12	9	汐留ヨリ横浜迄鉄道開業御乗初諸人拜礼之図 横浜海 岸鉄道蒸気車図 西京神戸之間鉄道開業式諸民拜見之 図 東京開化三十六景・高輪大木戸 東京名勝図会・ 金杉橋より芝浦の鉄道 東京名所・芝浦鹿島神社景 新開名所・しほ留鉄道館 東海道上り列車鉄道寿語六 汽車時刻京都発(34年11月改)引札
江戸東京博物館	秘蔵カピタンの江戸コレク ション—オランダ人の日本 趣味—	12.10. 3-12. 3	50	V.O.C.マーク入り小型艦載砲 色絵芙蓉手 V.O.C.マ ーク入り大皿(有田窯) 青貝細工出島家屋図煙草入 青貝細工花鳥図煙草入 蒔絵西洋人物肖像ブランク

貸出先(会場)	展覧会名	開催期間	点数	資料名
				染付楼閣山水文大皿(マーストリヒト窯) オランダ・色絵皿各種(デルフト窯) 染付西洋風景図長円形大皿 染付イギリス城郭図皿(以上イギリス製) 御用書留日記(文化7年~文政7年) ヒポクラテス像(石川大浪) 色絵象にインド風俗図壺 色絵阿蘭陀人立像大皿 色絵阿蘭陀人文蓋付碗 色絵駱駝に阿蘭陀人文鉢 染付蒸気船に日本地図大皿 染付島風景図角形皿 染付象に阿蘭陀人文鉢 染付龍に阿蘭陀人文十角向附 染付帆船に阿蘭陀人文鉢 染付遠眼鏡に阿蘭陀人文皿(以上有田窯) 染付蘭字文江戸町皿 染付長崎港図碗 染付洋文字文鉢(以上亀山焼) 染付帆船図皿(伊賀焼) 染付西洋風景図大皿 染付洋文字紋章に唐草文茶入 染付阿蘭陀人に西洋風景図水差(以上京焼系) 和製金唐革脇差 花模様金唐革煙草入れ・一つ提げ象金具 花模様金唐革紙入 ディアナ模様金唐革煙草入 象牙彫西洋人文小箱(稲辺天工) 赤色文ビロード紙入れ
大阪府立弥生文化博物館	卑弥呼の音楽会—まつりのひびき—	12.10. 7-12. 3	5	桜ヶ丘2号・3号・5号・13号銅鐸 桜ヶ丘4号銅鐸レプリカ
伊丹市立博物館	荒木村重とその時代~伊丹城から有岡城へ~	12.10. 7-11.19	1	応永難波古図
安城市歴史博物館	江戸時代の測量術	12.10. 7-11.26	1	伊能小図(西日本)
津山洋学資料館	それぞれの日蘭交流—武士・町人・オランダ人—	12.10. 8-10.29	43	南蛮船鐔脇差 洋剣型脇差 十字架入脇差 洋文字入龍図十字鐔 異国人・洋犬図小柄 阿蘭陀船持渡牝象(長崎版画) KAMEEL Kaswaars(以上文錦堂版) 全象活眼 羽子板型日本図・付顕微鏡(二代玄々堂) 阿蘭陀にほひ簪 撰津名所図会(秋里籬島) 江戸金龍山浅草寺観世音境内図 芙蓉不及美人粧(以上溪斎英泉) むら野めかね細工所(窪俊満) 蘭船図ガラス絵金具付煙草入 異国人根付 横文字入布地札入・紅毛女金具 花模様金唐革煙草入・象金具 横文字草模様煙草入・異国船金具煙管筒付 反射式のぞき眼鏡 反射式のぞき眼鏡絵 噴水器 和製望遠鏡 白地草花縞文様更紗下着 文政十年亥紅毛毛織見本帳 蒔絵ビーズ飾りたばこ盆 カットガラス格子文角形皿 彩絵緑色阿蘭陀人角型ガラス瓶 染付芙蓉手V.O.C.マーク入り大皿 蒔絵西洋人物肖像プラーク 蒔絵西洋人物肖像プラーク(大・小)
大宮市立博物館	文明開化の意匠~旅と交通~	12.10.14-11.26	8	染付横浜新理地高嶋町揚屋三階造海岸遠景之図大皿 染付開化乗物之図大皿 染付絵入新聞に鉄橋之図大皿 染付東京ホテル館之図大皿 引札「海陸運搬處海岸山本庄太郎」 引札「履物商吉田商店」 引札「畳製造販売所小田辰蔵」 引札「萬履物諸金物一式他清原重吉」
埼玉県立博物館	将軍吉宗と宮廷 雅~象の来た時代	12.10.28-12.10	4	象志 象のみつき 宝仙寺発行象引札 染付洋文字に獅子図水指(万古窯)
東京大聖書展実行委員会(東京オペラシティ)	キリスト降誕2000年 大聖書展	12.11. 2-11.19	1	聖フランシスコ・ザヴィエル像レプリカ
西日本新聞社(福岡三越ギャラリー・三越日本橋本店・ひろしま美術館)	古伊万里のすべて	12.12.30-13. 4. 8	14	色絵鶴丸形瓶 色絵帆船阿蘭陀人文蓋付碗 色絵阿蘭陀人文八角皿 染付阿蘭陀人文八角小鉢 染付阿蘭陀人文八角鉢 染付蒸気船日本地図文大皿
世界文藝社(神戸朝日クォーター59)	2nd 1.17 EARTH展	13. 1.13- 1.16	1	いささかの(安東聖空)
安城市歴史博物館	弥生の絵画 倭人の顔—描かれた2000年前の世界—	13. 2. 3- 3.25	5	桜ヶ丘1号・2号・4号銅鐸 桜ヶ丘5号銅鐸レプリカ 伝香川県出土銅鐸レプリカ
熊本県立美術館	蒙古襲来絵詞展	13. 3. 3- 4. 8	1	中華歴代帝王図(鶴洲靈瀾)
石川県立歴史博物館	能楽—加賀宝生の世界—	13. 3.31- 5. 6	1	観能図屏風

(2) 特別利用

1. 館外貸出

年度	件数	貸出先	貸出点数
3	45	52	542
4	44	58	318
5	54	71	392
6	49	55	278
7	28	36	291

年度	件数	貸出先	貸出点数
8	36	47	421
9	53	59	311
10	45	55	1,136
11	47	58	494
12	35	39	473

2. 特別利用

		昭和57～平成元年度		2年度		3年度		4年度		
許可件数		2,292※		448		598		592		
資料 内 訳		件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	
	熟覧	280	2,124	46	378	21	262	35	295	
	模造	20	39	3	5	7	10	5	5	
	撮影	映画テレビ	150	637	34	119	56	198	59	237
		写真	319	1,945	40	257	31	299	53	462
	掲載許可	1,725	4,521	289	746	427	1,228	411	1,194	
	原版使用	1,183	4,021	240	853	361	973	334	927	
	紙焼付与	188	795	31	92	29	151	48	373	
	その他	80	304	36	90	39	263	54	320	
	合計	3,945	14,386	719	2,540	971	3,384	999	3,813	

		5年度		6年度		7年度		8年度		
許可件数		574		410		366		479		
資料 内 訳		件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	
	熟覧	42	277	24	232	11	169	33	182	
	模造	4	5	2	4	2	2	1	1	
	撮影	映画テレビ	51	229	27	148	4	9	13	31
		写真	44	198	25	169	11	109	30	155
	掲載許可	367	747	272	560	314	701	368	1,040	
	原版使用	312	879	181	496	195	480	229	807	
	紙焼付与	27	83	21	265	8	15	9	101	
	その他	74	265	47	101	21	86	56	147	
合計	921	2,683	599	1,975	566	1,571	739	2,464		

		9年度		10年度		11年度		12年度		
許可件数		486		525		651		616		
資料 内 訳		件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	
	熟覧	41	304	44	254	41	963	48	512	
	模造	0	0	2	3	2	2	3	8	
	撮影	映画テレビ	14	45	10	70	10	42	13	126
		写真	23	110	30	229	39	383	41	374
	掲載許可	380	987	517	921	470	1,205	475	1,028	
	原版使用	276	831	288	814	326	968	338	817	
	紙焼付与	12	75	17	195	14	45	17	48	
	その他	52	226	42	151	71	1,429	52	241	
合計	798	2,578	950	2,637	973	5,037	987	3,157		

※の件数は昭和60年以降

# 入館者数

1 経 年

(単位：人)

	昭和 63年まで	平成 元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
開館日数	特別展	217	128	177	149	185	123	—	222	193	201	208	163
	常設展	69	157	108	135	180	99	64	62	87	89	84	124
	計	286	285	285	284	365	222	64	284	280	290	292	287
入館者数	特別展	278,962	104,831	155,037	165,150	619,896	85,429	—	581,931	147,368	206,298	914,949	70,090
	常設展	13,944	40,321	25,335	35,016	49,622	22,587	13,483	9,858	9,729	13,052	12,104	14,941
	普及事業	8,427	10,891	10,856	9,244	8,081	6,059	1,821	4,009	3,592	4,570	3,603	3,554
	計	301,333	156,043	191,228	209,410	677,599	144,075	15,304	595,798	160,689	223,920	930,656	88,585
1 日平均	特別展	1,285	819	876	1,108	3,351	695	—	2,621	764	1,026	4,399	430
	常設展	202	257	235	259	276	228	211	159	112	147	144	120
	計 (普及事業を含む)	1,054	548	671	737	2,394	514	239	2,098	574	772	3,187	309

## 2 年齢・階層別

(単位：人)

区分	開館日数 (特別展)	11年度まで												12年度計	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
常設展	一般	4,677 (2,459)	17 (8)	26 (24)	145	1,893	1,065	715	174	357	2,770	2,546	162	291	10,531
	高大生			24	15	251	126	66	9	29	615	244	26	40	1,445
	小中生			69	64	762	474	242	159	139	155	313	39	39	2,416
	シルバーク			23	6	76	40	33	6	33	115	107	96	14	549
	小計			529	230	2,982	1,705	1,056	348	419	3,655	3,036	597	384	14,941
特別展	一般	3,197,975	1,219	3,898	4,522	13,002	7,422	4,973	8,574				6,133	7,115	56,858
	高大生			119	1,023	243	824	250	188	771			276	388	4,082
	小中生			293	1,152	192	745	422	612	1,092			974	943	6,425
	シルバーク			51	173	224	550	209	379	396			430	313	2,725
	小計			3,861,002	1,682	6,246	5,181	8,303	6,152	10,833			7,813	8,759	70,090
普及事業			118,546	19	770	67	31	112	402	277	304	608	964	3,554	
合計	4,420,874	2,230	7,246	2,982	6,953	15,152	9,359	6,612	11,654	3,932	3,340	9,018	10,107	88,585	

入館者数/日	945	131	279	115	278	561	425	264	448	179	152	410	374	309
--------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

3 特別展

展覧会名	海の考古学		びいどろ・ぎやまん・ガラス展		平戸・松浦家名宝展		大古墳展		計		
	会期	(日数)	入館料	(32)	入館料	(46)	入館料	(44)		入館料	(41)
一般	4/22~5/28		600	2,368	800	11,518	800	4,205	800	5,692	23,783
			450	171	600	638	600	773	600	686	2,268
				0	700	709	700	174	700	599	1,482
高大生				2,539		12,865		5,152		6,977	27,533
			400	432	550	1,179	550	471	550	550	2,632
			300	708	400	73	400	292	400	35	1,108
小中生				0	450	65	450	163	450	77	305
				1,140		1,317		926		662	4,045
			250	290	300	649	300	238	300	320	1,497
シルバー			150	447	150	24	150	614	150	227	1,312
				0	200	19	200	1	200	14	34
				737		692		853		561	2,843
料			300	224	400	983	400	775	400	743	2,725
				4,640		15,857		7,706		8,943	37,146
				678		1,183		864		857	3,582
ミュージアム・カード											
免除・無料				2,610		11,565		8,415		6,772	29,362
合計				7,928		28,605		16,985		16,572	70,090
入館者数 / 日				248		622		386		404	430

## 日誌

- 平成12年 4月9日・特別展「絵図と風景」終了  
20日・ギャラリー「昇外義素描展」終了  
22日・特別展「海の考古学」開催（～5/28）  
22日・特別展「海の考古学」こどもスケッチ大会開催・展示（～5/28）  
22日・ギャラリー「神戸ゆかりの芸術家たち展Ⅰ」開催（～7/18）
- 5月5日・博物館たんけん隊開催 参加者53人  
26日・映画会「第2回市民ロードショー・ジュエル・フィリップコレクション」(～5/28) 参加者545人  
30日・トライやるウィーク 西代中学 5人（～6/2）
- 6月6日・トライやるウィーク 御影中学 12人（～6/9）  
10日・企画展「館蔵古地図名品展」開催（～7/9）  
10日・企画展「渡辺鶴洲と長崎の御用絵師」開催（～7/9）
- 7月20日・特別展「びいどろ・ぎやまん・ガラス」開催（～9/10）  
20日・企画展「南蛮美術名品展」開催（～9/10）  
20日・ギャラリー「山下摩起展」開催（～10/5）  
25日・開館時間延長、午後7時まで（神戸まつり、～7/30）  
25日・博物館実習生受入 [①7/25～29 (17人)、②8/8～12 (16人)、③8/22～26 (16人)]  
計27校49名  
31日・「文部省親しむ博物館づくり事業」委嘱（～3月末）  
8/1遺跡調査ツアー 参加者33人、8/3・4土器成形 参加者34人、8/12土器焼成  
参加者31人、8/28展示作業 参加者 30人  
8/29～9/10 展覧会 10月末から市内小中学校へ出張展示
- 10月7日・特別展「平戸・松浦家名宝展」開催（～11/26）  
7日・ギャラリー「別荘博資水彩画展」開催（～12/7）  
12日・第5回ミュージアム講座①「平戸松浦家と海外交流の資料」参加者104人  
14日・第3回ジュニアミュージアム講座「古文書を読む」参加者22人（10/14、11/11、12/9）
- 11月3日・こうべ歴史たんけん隊 参加者20人  
7日・神戸市立博物館協議会開催（12年度第1回）  
7日・トライやるウィーク 桃山台中学・丸山中学 3人（～11/10）  
9日・第5回ミュージアム講座②「神戸美術散歩」参加者95人  
14日・トライやるウィーク 湊川中学・高取台中学 5人（～11/17）
- 12月9日・企画展「描かれた中国」開催（～1/28）  
9日・企画展「西洋への憧憬」開催（～1/28）  
9日・ギャラリー「神戸の書展」開催（～2/4）  
12日・開館時間延長、午後7時まで（ルミナリエ、～12/24）  
14日・第5回ミュージアム講座③「阿蘭陀通詞と洋風画」参加者90人  
17日・邦楽演奏会及び講習会 参加者630人（12/17、1/21、2/17、3/3）
- 平成13年 1月11日・第5回ミュージアム講座④「中国を描いた古地図」参加者96人  
13日・第4回ジュニアミュージアム講座「南蛮美術を楽しむ」参加者6人（1/13、2/10、3/10）  
19日・講座「古地図を読むⅡ」参加者70人（1/19、1/26、2/2）
- 2月7日・特別展「大古墳展—ヤマト王権と古墳の鏡」開催（～3/25）  
7日・ギャラリー「神戸ゆかりの芸術家たち展Ⅱ」開催（～3/31）  
8日・第5回ミュージアム講座⑤「川西英と神戸の風景」参加者91人
- 3月1日・神戸市立博物館協議会開催（12年度第2回）  
4日・午後のシャンソン（3/4、3/11、3/18、3/25）  
8日・第5回ミュージアム講座⑥「神戸の古墳と三角縁神獣鏡」参加者93人

# 予 算

(単位 千円)

年度 項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12
資料購入費	80,000	80,000	80,000	0	10,000	10,000	10,000	9,000	9,000
資料整理費等	23,087	24,317	22,456	13,369	22,221	19,712	18,303	18,719	17,027
特別展等開催費	110,400	295,390	108,085	23,666	168,146	112,520	89,313	165,106	81,228
普及事業費	22,635	21,486	21,014	16,916	19,203	19,280	21,722	20,889	22,556
光熱水費	36,000	34,920	32,854	26,663	29,623	28,447	28,447	28,447	27,737
施設管理費等	83,594	83,578	85,459	77,770	86,411	87,531	88,605	89,585	89,585
事務費等	17,939	26,979	23,391	22,060	14,898	14,094	13,805	13,169	12,238
合計	373,655	566,670	373,286	180,444	350,502	291,584	270,195	344,915	259,371

## 博物館協議会

平成12年度

会 長

高尾 一彦 神戸大学文学部名誉教授 (学識経験)

副会長

吉村 元雄 大阪芸術大学大学院教授 ( )

委 員

小堀 美須津 神戸市立小学校教育研究会社会科部長 (摩耶小学校長) (学校教育)

安本 功 神戸市立中学校教育研究会社会科部長 (神出中学校長) ( )

油谷 健夫 神戸市立高等学校教育研究会地歴部会長 (葦合高等学校長) ( )

榎 智子 神戸青少年団体連絡協議会副会長 (社会教育)

土井 芳子 神戸市婦人団体協議会名誉会長 ( )

筋野 典子 神戸市PTA協議会母親専門委員長 ( )

藤原 典久 神戸労働者福祉協議会会長 ( )

神木 哲男 奈良県立大学学長 (学識経験)

金子 裕之 独立行政法人奈良文化財研究所平城宮跡発掘調査部長 ( )

田端 泰子 京都橘女子大学教授 ( )

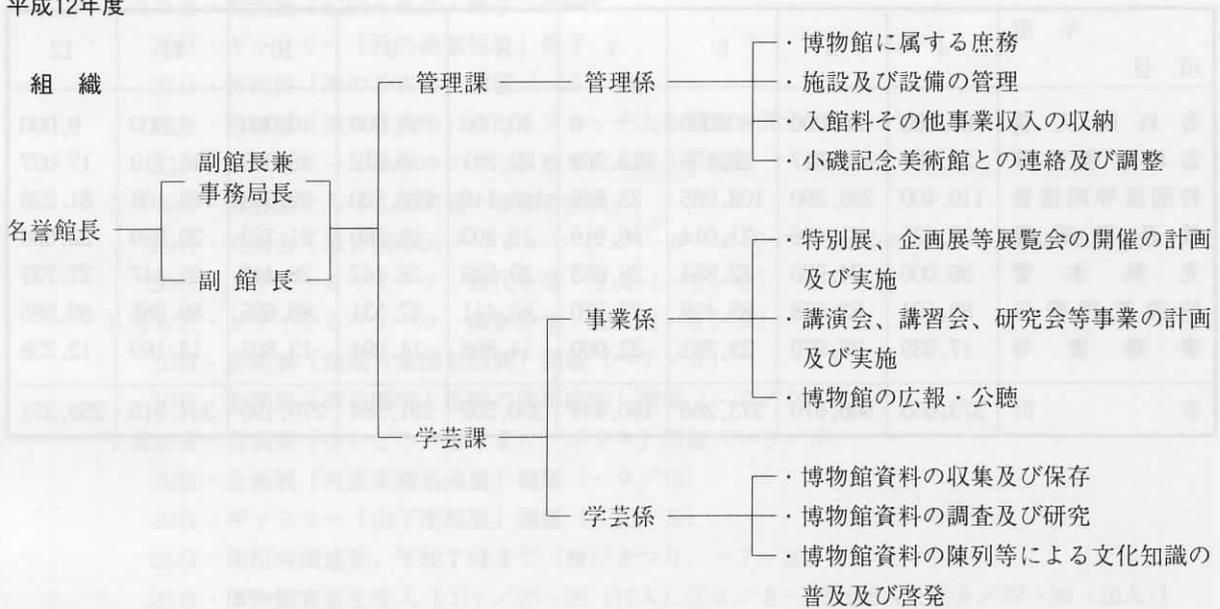
百橋 明穂 神戸大学文学部教授 ( )

奥平 俊六 大阪大学大学院教授 ( )

森田 恒之 国立民族学博物館教授 ( )

## 組織・職員

平成12年度



## 職員

名誉館長	笹山 幸俊	主査	岡 泰正
副館長兼事務局長	神内 良彦	事務職員	前田 佳世
副館長	崎山 昌廣	学芸員	國木田 明子
		〃	松林 宏典
		〃	金井 紀子
		〃	高久 智広
管理課		学芸係長	三好 唯義
管理課長	岡部 幸雄	指導主事	山名 則男
管理係長	森本 信行	学芸員	田井 玲子
事務職員	福田 信安	〃	勝盛 典子
〃	杠 文実雄	〃	成澤 勝嗣
		〃	塚原 晃
学芸課		〃	藤井 太郎
学芸課長	中村 善則	〃	川野 憲一
事業係長	角南 金平		

[平成13年3月31日現在]

## 職員の異動

12. 4. 1 藤村 邦夫 (副館長兼事務局長) 転出	12. 4. 1 神内 良彦 (副館長兼事務局長) 神戸市下水道公社より転入
12. 4. 1 問屋 真一 (学芸係長) 転出	12. 4. 1 三好 唯義 (学芸係長) 昇格
12. 4. 19 三島 弘義 (管理課) 転出	12. 4. 1 川野 憲一 (学芸課) 新規採用
12. 4. 19 前田 佳久 (学芸課) 転出	12. 4. 19 福田 信安 (管理課) 東灘体育館より転入
12. 6. 1 楯田 和見 (指導主事) 転出	12. 4. 19 金井 紀子 (学芸課) 小磯記念美術館より転入
	12. 4. 19 藤井 太郎 (学芸課) 文化財課より転入
	12. 8. 1 笹山 幸俊 (名誉館長) 就任



## 訂正のお願い

P 7 3 の博物館協議会委員につきましては、別年度の名簿を掲載してしまいました。

平成12年度末の名簿は、下記をご参照下さいますよう、お願いいたします。

## 記

### 博物館協議会

#### 平成12年度

##### 会長

高尾 一彦 神戸大学文学部名誉教授 (学識経験)

##### 副会長

吉村 元雄 関西学院大学文学部教授 ( " )

##### 委員

梅田 元 神戸市立小学校教育研究会社会科部長 (浜山小学校長) (学校教育)

井上 光利 神戸市立中学校教育研究会社会科部長 (歌敷山中学校長) ( " )

山崎 由人 神戸市立高等学校教育研究会地歴部会長 (六甲アイランド高等学校長) ( " )

榎 智子 神戸市青少年団体連絡協議会副会長 (社会教育)

土井 芳子 神戸市婦人団体協議会名誉会長 ( " )

佐藤美津恵 神戸市PTA協議会副会長 ( " )

藤原 典久 神戸労働者福祉協議会会長 ( " )

神木 哲男 奈良県立商科大学学長 (学識経験)

田辺 征夫 奈良国立文化財研究所平城宮跡発掘調査部長 ( " )

田端 泰子 京都橘女子大学教授 ( " )

百橋 明穂 神戸大学文学部教授 ( " )

松平 進 園田学園女子大学近松研究所長 \*平成12年12月 5日死去につき欠員 ( " )

森田 恒之 国立民族学博物館教授 ( " )